

水道事業に関する市民アンケート調査

報告書

令和7年（2025年）3月

吹田市 水道部

目 次

1. 調査概要

I. 調査の目的	1
II. 調査方法	1
III. 調査票の回答結果.....	1
IV. 調査結果の表示方法.....	6
V. 標本誤差	6

2. 調査結果

I. 回答者について.....	8
問 1. 年齢	8
問 2. 性別	10
問 3. 住まいの地域.....	11
問 4. 同居家族人数.....	14
問 5. 住まいの給水方式.....	16
問 5-1. 住まいの形態.....	18
II. 水道水の安全性・信頼性や利用について	19
問 6. 水道水利用に関する安心度	19
問 6-1. 水道水利用に関する不安の理由	22
問 7. 飲用で使う水の種類.....	25
問 7-1. 水道水を飲用に使用する理由	30
問 7-2. 水道水を飲用に使用しない理由	34
問 8. 節水の取組.....	38
問 8-1. 節水の目的.....	41
III. 水道施設の老朽化について	44
問 9. 水道施設の老朽化に関する問題意識	44
問 9-1. 水道施設の老朽化を問題と感じている理由	47
問 9-2. 水道施設の老朽化を問題と感じていない理由	50

IV. 災害対策について.....	53
問 10. 水道施設の耐震化の重要性に関する意識	53
問 10-1. 水道施設の耐震化を重要と思っている理由	56
問 10-2. 水道施設の耐震化を重要とっていない理由.....	59
問 11. 「災害時給水拠点」、「災害時給水所」の認知度	61
問 12. 災害時に備えた飲料水の備蓄状況	64
問 12-1. 飲料水の備蓄をしない理由	68
問 13. 最近の地震発生による水道に関わる行動の変化	71
V. 水道料金について.....	74
問 14. 自宅の水道料金の認知度	74
問 14-1. 自宅の上水道料金.....	77
問 14-2. 自宅の下水道料金.....	78
問 15. 水道料金に関する感想.....	79
問 16. 水道料金に関する感想の比較対象	83
VI. 広報・PR について	86
問 17. 水道事業の特徴として知っていること	86
問 18. 水道に関して知りたい情報.....	89
問 19. 「すいどうにゅーす」の読書経験.....	93
問 20. 水道部ホームページの閲覧経験	96
問 21. 水道部からの情報提供の方法	98
問 21-1. 情報を受け取りやすいSNS媒体	103
問 22. 水道部の公式インスタグラムの閲覧経験	106
問 23. 断水・濁水に関する情報入手方法	108
問 24. 参加したい水道部のイベント	111

VII. 水道事業全般について.....	114
問 25. 水道事業の満足度.....	114
問 26. 水道部職員の対応の満足度.....	119
問 27. 水道事業の施策・取組に対する期待度.....	122
問 27-1. 水道事業に大いに期待すること（文章）.....	132
問 28. 意見・要望等（文章）.....	133

3. 資料編

I. 調査票.....	138
-------------	-----

I. 調査概要

I. 調査の目的

本調査は、本市水道事業が、市民の皆様に身近な「地域の水道」として信頼される健全な水道事業運営を推進していくため、市民の皆様の水道に対する考え、ニーズ並びに水道部の取組に対する満足度等を把握し、水道事業の各施策に反映させることを目的として実施するものである。

II. 調査方法

	今回調査	前回調査	前々回調査
1) 調査地域	吹田市全域		
2) 調査対象者	市内在住の18歳以上85歳未満の市民2,000人		
3) 調査期間	令和6年9月19日 (木)～10月10日 (木)	令和4年9月1日 (木)～9月21日 (水)	令和2年10月28日 (水)～11月27日 (金)
4) 調査方法	住民基本台帳から無作為で層化抽出した市民に調査票・回答用紙・調査のQ & Aを郵送配布し、郵送にて回答・回収を実施		
	WEBによる回答・回収も実施		-
	調査期間中に「督促(お礼)ハガキ」を郵送		

III. 調査票の回答結果

1) 今回調査、前回、前々回調査の回答結果

	配布数	郵送回答数	WEB回答数	回答数計	回答率
今回調査	2,000票	714票	307票	1,021票	51.1%
前回調査	2,000票	704票	350票	1,054票	52.7%
前々回調査	2,000票	1,158票	-	1,158票	57.9%

2) 性別・年齢別・地域別の回答結果

① 市人口（母集団）と回答者の構成比の比較

<算出条件>

母集団：令和6年(2024年)6月30日現在、18歳以上85歳未満の吹田市在住者
(304,732人)

回答者：アンケート回答者1,021人から、性別・年齢別・地域別の設問に無回答
(性別は「答えたくない」を含む)の回答者を除外した人数(994人)

「差の割合」の算定式 = (回答数の構成比/人口の構成比-1) × 100

表 人口と回答数の構成比(合計)

		18歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 85歳未満	計
JR以南	市人口の構成比(%)	1.66	1.31	1.36	1.74	1.17	2.01	9.25
	回答者の構成比(%)	0.70	0.91	1.31	1.71	1.71	2.31	8.65
	差の割合(%)	▲ 57.8	▲ 30.5	▲ 3.7	▲ 1.7	△ 46.2	△ 14.9	▲ 6.5
片山・岸部	市人口の構成比(%)	2.61	2.20	2.48	2.70	1.80	2.81	14.60
	回答者の構成比(%)	1.41	1.51	2.72	2.62	2.72	3.32	14.29
	差の割合(%)	▲ 46.0	▲ 31.4	△ 9.7	▲ 3.0	△ 51.1	△ 18.1	▲ 2.1
豊津・江坂・南吹田	市人口の構成比(%)	4.60	3.92	3.51	3.52	1.92	2.61	20.09
	回答者の構成比(%)	2.11	2.92	2.82	3.62	2.62	3.82	17.91
	差の割合(%)	▲ 54.1	▲ 25.5	▲ 19.7	△ 2.8	△ 36.5	△ 46.4	▲ 10.9
千里山・佐井寺	市人口の構成比(%)	2.74	2.64	3.22	3.36	2.23	2.89	17.09
	回答者の構成比(%)	1.91	1.71	3.22	3.72	2.82	3.92	17.30
	差の割合(%)	▲ 30.3	▲ 35.2	△ 0.0	△ 10.7	△ 26.5	△ 35.6	△ 1.2
山田・千里丘	市人口の構成比(%)	3.05	2.72	4.07	4.36	2.86	4.50	21.55
	回答者の構成比(%)	1.91	2.92	3.82	3.72	4.02	6.74	23.14
	差の割合(%)	▲ 37.4	△ 7.4	▲ 6.1	▲ 14.7	△ 40.6	△ 49.8	△ 7.4
千里NT・万博・阪大	市人口の構成比(%)	2.11	2.14	3.16	3.60	2.56	3.86	17.42
	回答者の構成比(%)	1.51	1.91	2.92	3.52	3.82	5.03	18.71
	差の割合(%)	▲ 28.4	▲ 10.7	▲ 7.6	▲ 2.2	△ 49.2	△ 30.3	△ 7.4
合計	市人口の構成比(%)	16.76	14.93	17.80	19.29	12.54	18.67	100.00
	回答者の構成比(%)	9.56	11.87	16.80	18.91	17.71	25.15	100.00
	差の割合(%)	▲ 43.0	▲ 20.5	▲ 5.6	▲ 2.0	△ 41.2	△ 34.7	△ 0.0

注：各割合は市人口総数及び回答者合計を母数としている

※▲はマイナス、△はプラス

※年齢別・地域別の「不明」及び「無回答」は除く

※性別の「答えたくない」「無回答」は除く

表 人口と回答数の構成比（男性）

		18歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 85歳未満	計
JR以南	人口の構成比 (%)	0.81	0.65	0.69	0.86	0.60	0.86	4.47
	回答数の構成比 (%)	0.30	0.30	0.50	0.80	0.80	0.91	3.62
	差の割合 (%)	▲ 63.0	▲ 53.8	▲ 27.5	▲ 7.0	△ 33.3	△ 5.8	▲ 19.0
片山・岸部	人口の構成比 (%)	1.31	1.10	1.22	1.34	0.88	1.22	7.07
	回答数の構成比 (%)	0.70	0.60	0.91	0.80	1.31	1.51	5.84
	差の割合 (%)	▲ 46.6	▲ 45.5	▲ 25.4	▲ 40.3	△ 48.9	△ 23.8	▲ 17.4
豊津・江坂・南吹田	人口の構成比 (%)	2.31	2.01	1.76	1.83	0.97	1.13	10.00
	回答数の構成比 (%)	0.60	1.11	1.11	1.61	0.91	1.61	6.94
	差の割合 (%)	▲ 74.0	▲ 44.8	▲ 36.9	▲ 12.0	▲ 6.2	△ 42.5	▲ 30.6
千里山・佐井寺	人口の構成比 (%)	1.37	1.26	1.55	1.60	1.06	1.27	8.12
	回答数の構成比 (%)	0.70	0.40	1.51	1.51	1.11	1.61	6.84
	差の割合 (%)	▲ 48.9	▲ 68.3	▲ 2.6	▲ 5.6	△ 4.7	△ 26.8	▲ 15.8
山田・千里丘	人口の構成比 (%)	1.52	1.30	1.93	2.09	1.34	1.99	10.16
	回答数の構成比 (%)	1.01	1.01	1.51	1.61	1.71	3.12	9.96
	差の割合 (%)	▲ 33.6	▲ 22.3	▲ 21.8	▲ 23.0	△ 27.6	△ 56.8	▲ 2.0
千里NT・万博・阪大	人口の構成比 (%)	1.01	0.97	1.49	1.66	1.19	1.55	7.86
	回答数の構成比 (%)	0.70	0.80	1.01	1.51	1.21	2.21	7.44
	差の割合 (%)	▲ 30.7	▲ 17.5	▲ 32.2	▲ 9.0	△ 1.7	△ 42.6	▲ 5.3
合計	人口の構成比 (%)	8.33	7.27	8.66	9.38	6.03	8.01	47.68
	回答数の構成比 (%)	4.02	4.23	6.54	7.85	7.04	10.97	40.64
	差の割合 (%)	▲ 51.7	▲ 41.8	▲ 24.5	▲ 16.3	△ 16.7	△ 37.0	▲ 14.8

表 人口と回答数の構成比（女性）

		18歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 85歳未満	計
JR以南	人口の構成比 (%)	0.85	0.66	0.67	0.88	0.58	1.15	4.78
	回答数の構成比 (%)	0.40	0.60	0.80	0.91	0.91	1.41	5.03
	差の割合 (%)	▲ 52.9	▲ 9.1	△ 19.4	△ 3.4	△ 56.9	△ 22.6	△ 5.2
片山・岸部	人口の構成比 (%)	1.30	1.11	1.26	1.35	0.92	1.59	7.54
	回答数の構成比 (%)	0.70	0.91	1.81	1.81	1.41	1.81	8.45
	差の割合 (%)	▲ 46.2	▲ 18.0	△ 43.7	△ 34.1	△ 53.3	△ 13.8	△ 12.1
豊津・江坂・南吹田	人口の構成比 (%)	2.29	1.92	1.74	1.70	0.95	1.48	10.08
	回答数の構成比 (%)	1.51	1.81	1.71	2.01	1.71	2.21	10.97
	差の割合 (%)	▲ 34.1	▲ 5.7	▲ 1.7	△ 18.2	△ 80.0	△ 49.3	△ 8.8
千里山・佐井寺	人口の構成比 (%)	1.37	1.38	1.67	1.76	1.16	1.63	8.97
	回答数の構成比 (%)	1.21	1.31	1.71	2.21	1.71	2.31	10.46
	差の割合 (%)	▲ 11.7	▲ 5.1	△ 2.4	△ 25.6	△ 47.4	△ 41.7	△ 16.6
山田・千里丘	人口の構成比 (%)	1.53	1.42	2.14	2.27	1.52	2.51	11.39
	回答数の構成比 (%)	0.91	1.91	2.31	2.11	2.31	3.62	13.18
	差の割合 (%)	▲ 40.5	△ 34.5	△ 7.9	▲ 7.0	△ 52.0	△ 44.2	△ 15.7
千里NT・万博・阪大	人口の構成比 (%)	1.10	1.17	1.67	1.95	1.37	2.31	9.56
	回答数の構成比 (%)	0.80	1.11	1.91	2.01	2.62	2.82	11.27
	差の割合 (%)	▲ 27.3	▲ 5.1	△ 14.4	△ 3.1	△ 91.2	△ 22.1	△ 17.9
合計	人口の構成比 (%)	8.44	7.66	9.14	9.91	6.51	10.67	52.32
	回答数の構成比 (%)	5.53	7.65	10.26	11.07	10.66	14.19	59.36
	差の割合 (%)	▲ 34.5	▲ 0.1	△ 12.3	△ 11.7	△ 63.7	△ 33.0	△ 13.5

注：各割合は人口総数及び回答数合計を母数としている

※▲はマイナス、△はプラス

※年齢別・地域別の「不明」及び「無回答」は除く

※性別の「答えたくない」「無回答」は除く

② 性別・年齢別・地域別の配布数、回答率

<算出条件>

母集団：アンケート調査票の配布数（2,000人）

回答者：アンケート回答者1,021人から、性別・年齢別・地域別の設問に無回答
（性別は「答えたくない」を含む）の回答者を除外した人数（994人）

「回答率」の算定式 = (回答者 ÷ 配布数) × 100

表 性別・年齢別・地域別の回答率（合計）

		18歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 85歳未満	計
JR以南	配布数（人）	33	26	27	35	24	40	185
	回答者（人）	7	9	13	17	17	23	86
	回答率（%）	21.2	34.6	48.1	48.6	70.8	57.5	46.5
片山・岸部	配布数（人）	52	45	49	54	36	56	292
	回答者（人）	14	15	27	26	27	33	142
	回答率（%）	26.9	33.3	55.1	48.1	75.0	58.9	48.6
豊津・江坂・南吹田	配布数（人）	92	78	70	71	38	53	402
	回答者（人）	21	29	28	36	26	38	178
	回答率（%）	22.8	37.2	40.0	50.7	68.4	71.7	44.3
千里山・佐井寺	配布数（人）	56	53	64	67	44	58	342
	回答者（人）	19	17	32	37	28	39	172
	回答率（%）	33.9	32.1	50.0	55.2	63.6	67.2	50.3
山田・千里丘	配布数（人）	61	54	82	87	57	90	431
	回答者（人）	19	29	38	37	40	67	230
	回答率（%）	31.1	53.7	46.3	42.5	70.2	74.4	53.4
千里NT・万博・阪大	配布数（人）	42	42	64	72	51	77	348
	回答者（人）	15	19	29	35	38	50	186
	回答率（%）	35.7	45.2	45.3	48.6	74.5	64.9	53.4
合計	配布数（人）	336	298	356	386	250	374	2,000
	回答者（人）	95	118	167	188	176	250	994
	回答率（%）	28.3	39.6	46.9	48.7	70.4	66.8	49.7

※年齢別・地域別の「不明」及び「無回答」は除く

※性別の「答えたくない」「無回答」は除く

表 性別・年齢別・地域別の回答率（男性）

		18歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 85歳未満	計
JR以南	配布数（人）	16名	13名	14名	17名	12名	17名	89名
	回答者（人）	3名	3名	5名	8名	8名	9名	36名
	回答率（%）	18.8	23.1	35.7	47.1	66.7	52.9	40.4
片山・岸部	配布数（人）	26名	22名	24名	27名	18名	24名	141名
	回答者（人）	7名	6名	9名	8名	13名	15名	58名
	回答率（%）	26.9	27.3	37.5	29.6	72.2	62.5	41.1
豊津・江坂・南吹田	配布数（人）	46名	40名	35名	37名	19名	23名	200名
	回答者（人）	6名	11名	11名	16名	9名	16名	69名
	回答率（%）	13.0	27.5	31.4	43.2	47.4	69.6	34.5
千里山・佐井寺	配布数（人）	29名	25名	31名	32名	21名	25名	163名
	回答者（人）	7名	4名	15名	15名	11名	16名	68名
	回答率（%）	24.1	16.0	48.4	46.9	52.4	64.0	41.7
山田・千里丘	配布数（人）	30名	26名	39名	42名	27名	40名	204名
	回答者（人）	10名	10名	15名	16名	17名	31名	99名
	回答率（%）	33.3	38.5	38.5	38.1	63	77.5	48.5
千里NT・万博・阪大	配布数（人）	20名	19名	30名	33名	24名	31名	157名
	回答者（人）	7名	8名	10名	15名	12名	22名	74名
	回答率（%）	35.0	42.1	33.3	45.5	50.0	71.0	47.1
合計	配布数（人）	167名	145名	173名	188名	121名	160名	954名
	回答者（人）	40名	42名	65名	78名	70名	109名	404名
	回答率（%）	24.0	29.0	37.6	41.5	57.9	68.1	42.3

表 性別・年齢別・地域別の回答率（女性）

		18歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上 85歳未満	計
JR以南	配布数（人）	17名	13名	13名	18名	12名	23名	96名
	回答者（人）	4名	6名	8名	9名	9名	14名	50名
	回答率（%）	23.5	46.2	61.5	50.0	75.0	60.9	52.1
片山・岸部	配布数（人）	26名	23名	25名	27名	18名	32名	151名
	回答者（人）	7名	9名	18名	18名	14名	18名	84名
	回答率（%）	26.9	39.1	72.0	66.7	77.8	56.3	55.6
豊津・江坂・南吹田	配布数（人）	46名	38名	35名	34名	19名	30名	202名
	回答者（人）	15名	18名	17名	20名	17名	22名	109名
	回答率（%）	32.6	47.4	48.6	58.8	89.5	73.3	54.0
千里山・佐井寺	配布数（人）	27名	28名	33名	35名	23名	33名	179名
	回答者（人）	12名	13名	17名	22名	17名	23名	104名
	回答率（%）	44.4	46.4	51.5	62.9	73.9	69.7	58.1
山田・千里丘	配布数（人）	31名	28名	43名	45名	30名	50名	227名
	回答者（人）	9名	19名	23名	21名	23名	36名	131名
	回答率（%）	29.0	67.9	53.5	46.7	76.7	72.0	57.7
千里NT・万博・阪大	配布数（人）	22名	23名	34名	39名	27名	46名	191名
	回答者（人）	8名	11名	19名	20名	26名	28名	112名
	回答率（%）	36.4	47.8	55.9	51.3	96.3	60.9	58.6
合計	配布数（人）	169名	153名	183名	198名	129名	214名	1046名
	回答者（人）	55名	76名	102名	110名	106名	141名	590名
	回答率（%）	32.5	49.7	55.7	55.6	82.2	65.9	56.4

※年齢別・地域別の「不明」及び「無回答」は除く

※性別の「答えたくない」「無回答」は除く

IV. 調査結果の表示方法

- 1) 回答は各質問の有効回答者総数（N=Number of cases）を基数とした百分率（%）で示している。また、小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2) 複数回答の設問の場合、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 3) 回答率の表示は整数で表示しているが、項目間の回答率の計算は小数第1位までの値で行っている。
- 4) クロス集計のキー項目の無回答は表示していないが、無回答数は合計数には含まれる。
- 5) () 内の「n」は当該項目の全回答数（母数）を示している。
- 6) 今回調査で追加した項目は前回調査の回答率が「-」の表示となっている。
- 7) 前回調査の実施年度は令和4年度である。
- 8) 回答項目の表示は、「項目名」とする。また、複数項目の構成比の合計などで、新たに項目を設定した場合は『項目名』とする。
例：「安心して利用している」（60%）と「どちらかといえば安心して利用している」（28%）を合わせた『安心して利用』は88%、・・・。
- 9) クロス集計のキー項目は、項目名のみとする。
例：JR以南地域では、・・・。

V. 標本誤差

一般的に、アンケート調査においては、アンケート回答者（標本）の回答傾向と母集団（市内の水道利用者）の回答傾向との間に一定の誤差（標本誤差）が生じる。誤差の範囲は、母集団の大きさ、標本数、回答率と信頼度から統計的に求めることが可能である。

社会調査においては、母集団の精度として、信頼度 95%のレベルでの結果を評価することが妥当とされている。（信頼度 95%とは、同一の調査を 100 回実施すれば 95 回の確率で、下記の算出数値区間内に調査結果の数値がおさまるとのこと。）そして、この信頼度 95%における測定値（%）の標本誤差は、次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団（本調査では 18 歳以上 85 歳未満の市民304,732人（令和6年(2024年)6月30日現在の住民基本台帳人口）を使用）

n：標本数（本調査では回答総数=1,021）

P：測定値（%）（本調査では回答比率）

【信頼度 95%における主要な標本誤差】

標本数	P(%)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	n	95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
	3,000	±0.8%	±1.1%	±1.3%	±1.4%	±1.5%	±1.6%	±1.7%	±1.7%	±1.8%	±1.8%
	2,500	±0.9%	±1.2%	±1.4%	±1.6%	±1.7%	±1.8%	±1.9%	±1.9%	±1.9%	±2.0%
	2,000	±1.0%	±1.3%	±1.6%	±1.7%	±1.9%	±2.0%	±2.1%	±2.1%	±2.2%	±2.2%
	1,500	±1.1%	±1.5%	±1.8%	±2.0%	±2.2%	±2.3%	±2.4%	±2.5%	±2.5%	±2.5%
全体	1,021	±1.3%	±1.8%	±2.2%	±2.4%	±2.6%	±2.8%	±2.9%	±3.0%	±3.0%	±3.0%
	1,000	±1.3%	±1.9%	±2.2%	±2.5%	±2.7%	±2.8%	±3.0%	±3.0%	±3.1%	±3.1%
	500	±1.9%	±2.6%	±3.1%	±3.5%	±3.8%	±4.0%	±4.2%	±4.3%	±4.3%	±4.4%
	250	±2.7%	±3.7%	±4.4%	±5.0%	±5.4%	±5.7%	±5.7%	±5.9%	±6.1%	±6.2%
	100	±4.3%	±5.9%	±7.0%	±7.8%	±8.5%	±9.0%	±9.0%	±9.3%	±9.6%	±9.8%

例えば、回答総数（1,021）を 100.0%とする設問で、選択肢に対する回答率が 60.0%の場合、信頼度 95%とすると、18 歳以上 85 歳未満の市民（304,732人）における回答比率は 60.0%±3.0%の間（63.0%～57.0%）にあることが推測できる。

2. 調査結果

I. 回答者について

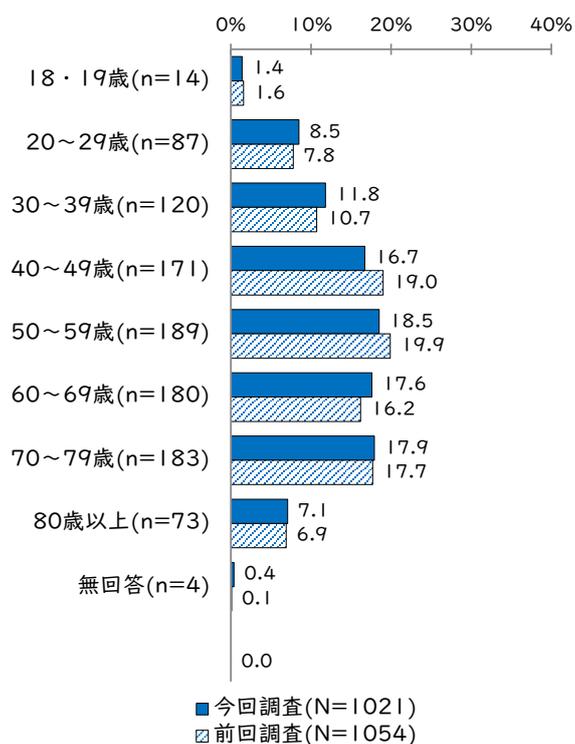
問1. 年齢

問1. あなたの令和6年9月1日現在の満年齢は。

【単純集計】

年齢は、「50～59歳」（19%）、「70～79歳」（18%）、「60～69歳」（18%）、「40～49歳」（17%）となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



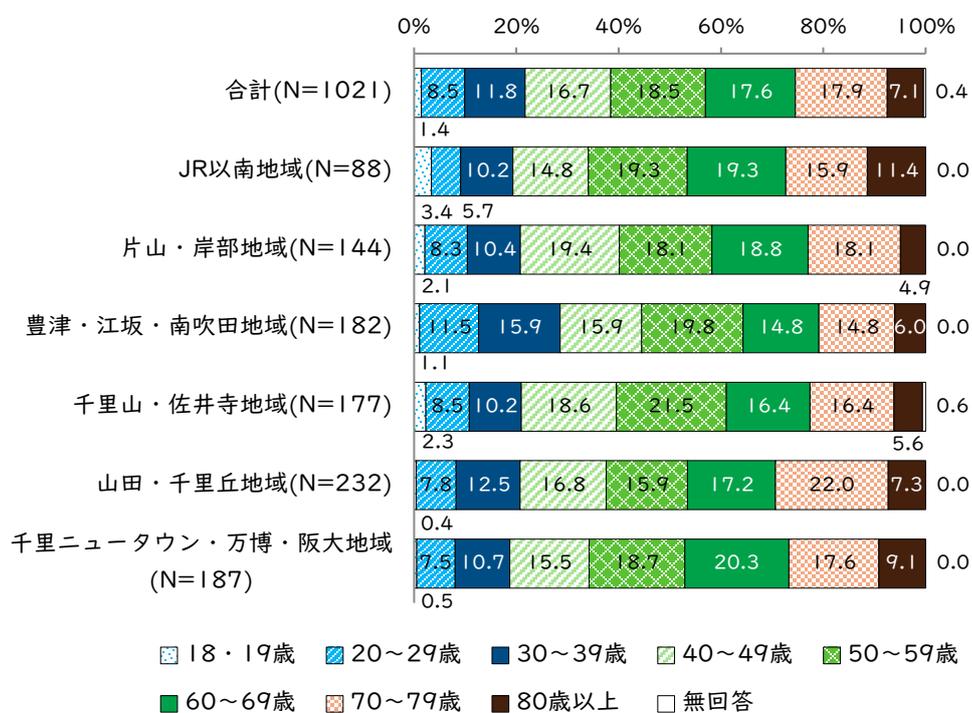
【クロス集計】

○地域別年齢

地域別年齢でみると、豊津・江坂・南吹田地域は『20～39歳』（27%）が他の地域より高くなっています。

山田・千里丘地域、JR以南地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域は『70～80歳以上』（29%、27%、27%）が他の地域より高くなっています。

問3. 住まいの地域×問1. 年齢



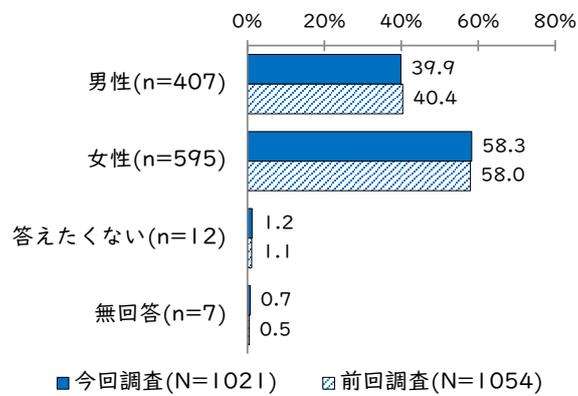
問2. 性別

問2. あなたの性別は。

【単純集計】

性別は「男性」(40%)、「女性」(58%)で、「女性」は「男性」より18ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

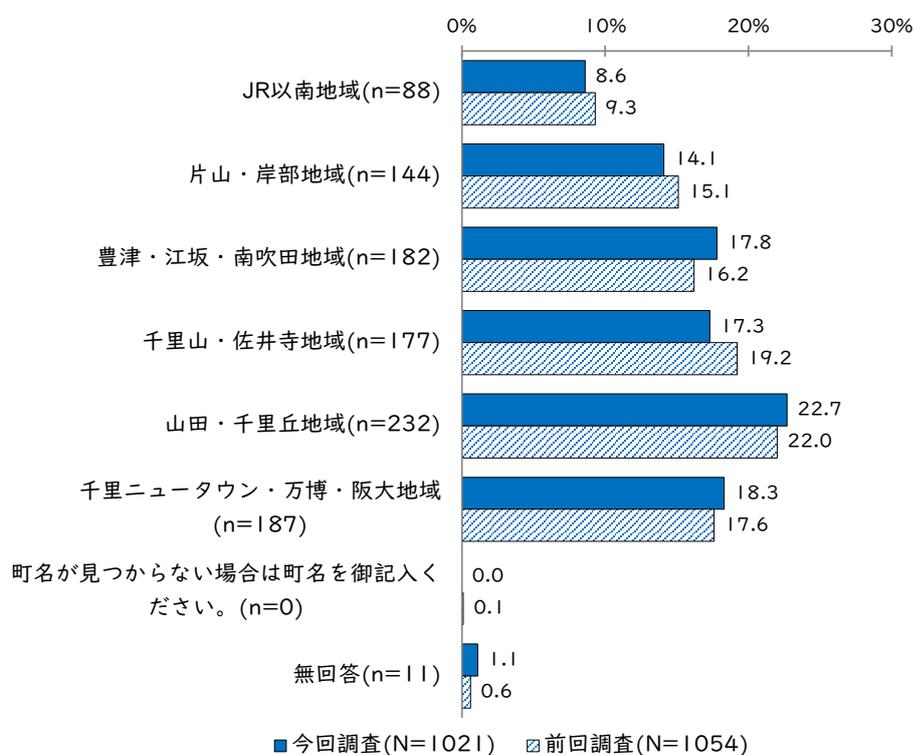


問3. 住まいの地域

問3. あなたがお住まいの地域は。

【単純集計】

住まいの地域は、「山田・千里丘地域」(23%)、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」(18%)、「豊津・江坂・南吹田地域」(18%)、「千里山・佐井寺地域」(17%)「片山・岸部地域」(14%)、「JR以南地域」(9%)となっています。
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



【クロス集計】

○性別

男女別にみると、大きな差はみられません。

○年齢別

18・19歳は、「JR以南地域」(21%)、「片山・岸部地域」(21%)、千里山・佐井寺地域(29%)が他の地域より高く、「豊津・江坂・南吹田地域」(14%)、「山田・千里丘地域」(7%)、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」(7%)が他の地域より低くなっています。

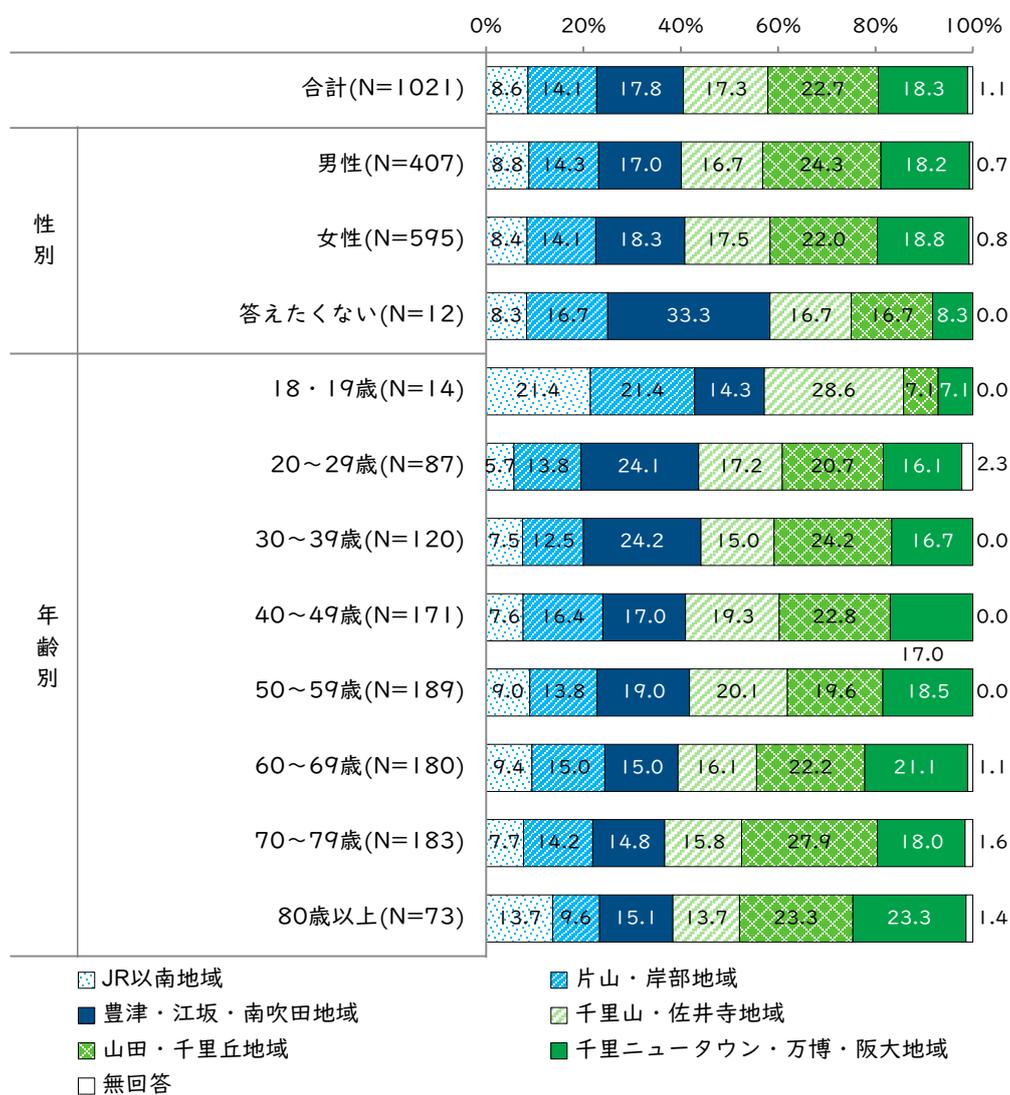
70～79歳は、「山田・千里丘地域」(28%)が他の地域より高くなっています。

80歳以上は、「JR以南地域」(14%)、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」(23%)が他の地域より高くなっています。

○地域別

—

問 1. 2. (属性) × 問 3. 住まいの地域



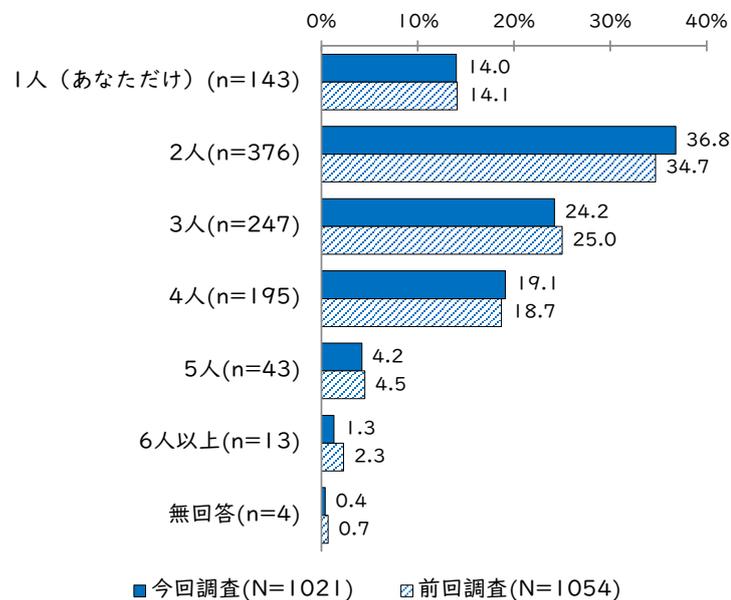
問4. 同居家族人数

問4. 現在、一緒に住んでいるあなたを含めた御家族の人数は。

【単純集計】

同居家族人数は、「2人」(37%)、「3人」(24%)、「4人」(19%)、「1人(あなただけ)」(14%)となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

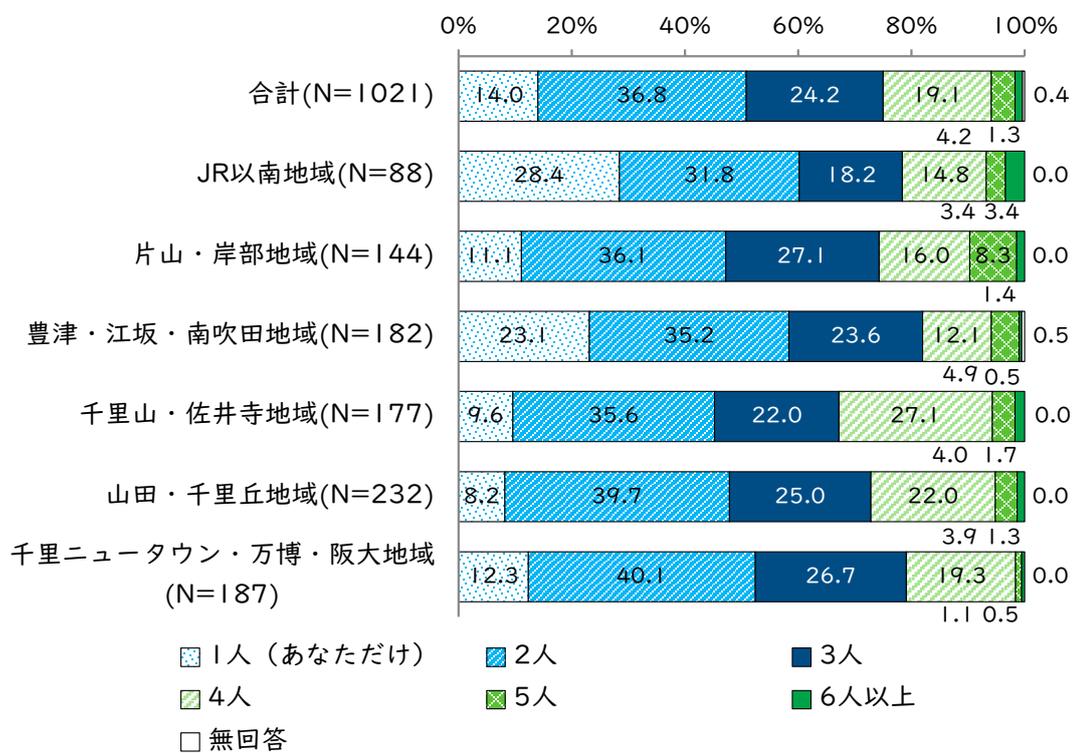


【クロス集計】

○地域別

地域別の同居家族人数は、JR以南地域、豊津・江坂・南吹田地域は「1人」(28%、23%)が他の地域より高く、千里山・佐井寺地域、山田・千里丘地域は「4人」(27%、22%)が他の地域より高くなっています。

問3. 住まいの地域×問4. 同居家族人数



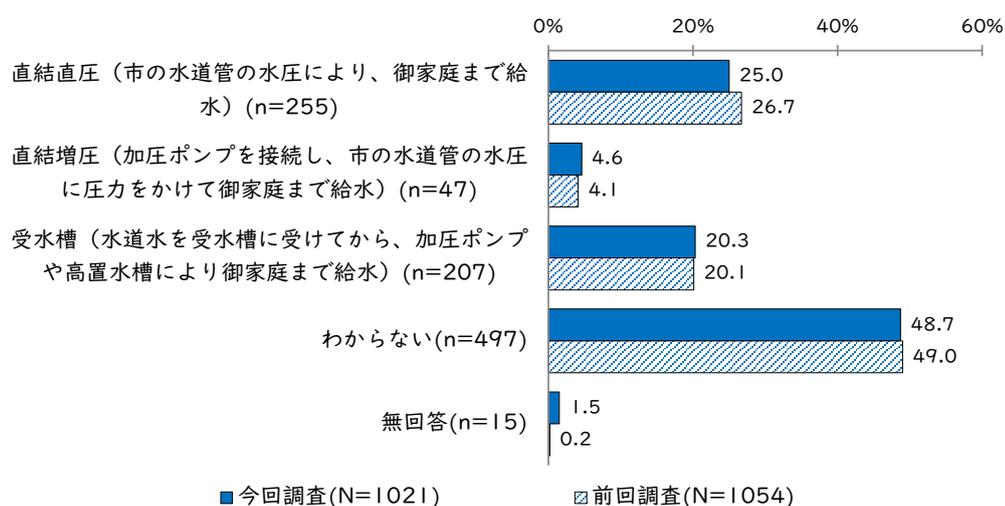
問5. 住まいの給水方式

問5. あなたのお住まいの給水方式は。

【単純集計】

お住まいの給水方式は、「わからない」(49%)、「直結直圧」(25%)、「受水槽」(20%)、「直結増圧」(5%)となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



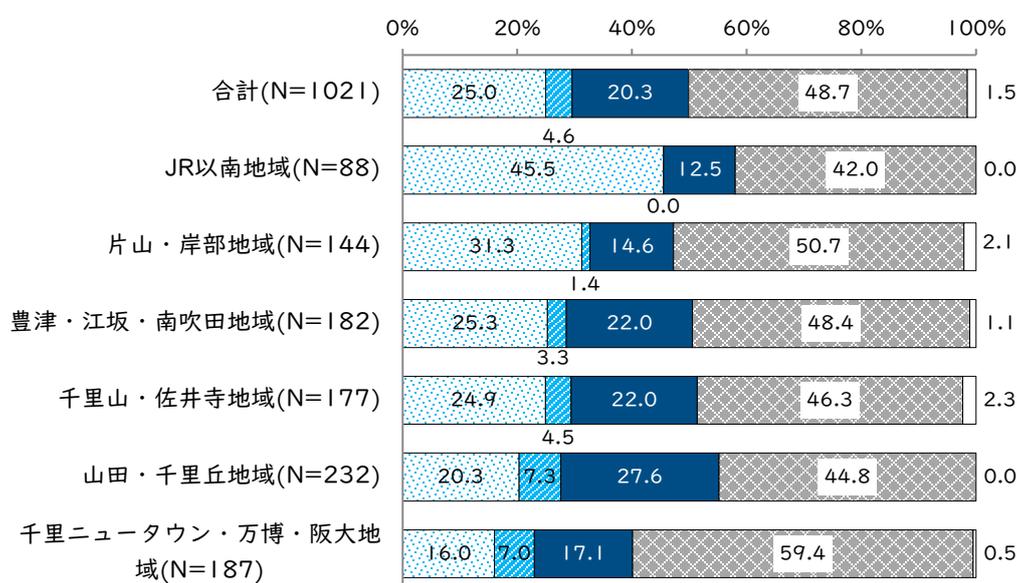
【クロス集計】

○地域別給水方式

「直結直圧」でみると、JR以南地域（46%）は他の地域より高く、千里ニュータウン・万博・阪大地域（16%）は他の地域より低くなっています。

「受水槽」でみると、山田・千里丘地域（28%）は他の地域より高く、JR以南地域（13%）は他の地域より低くなっています。

問 3. 住まいの地域×問 5. 住まいの給水方式



- 直結直圧（市の水道管の水圧により、御家庭まで給水）
- 直結増圧（加圧ポンプを接続し、市の水道管の水圧に圧力をかけて御家庭まで給水）
- 受水槽（水道水を受水槽に受けてから、加圧ポンプや高置水槽により御家庭まで給水）
- わからない
- 無回答

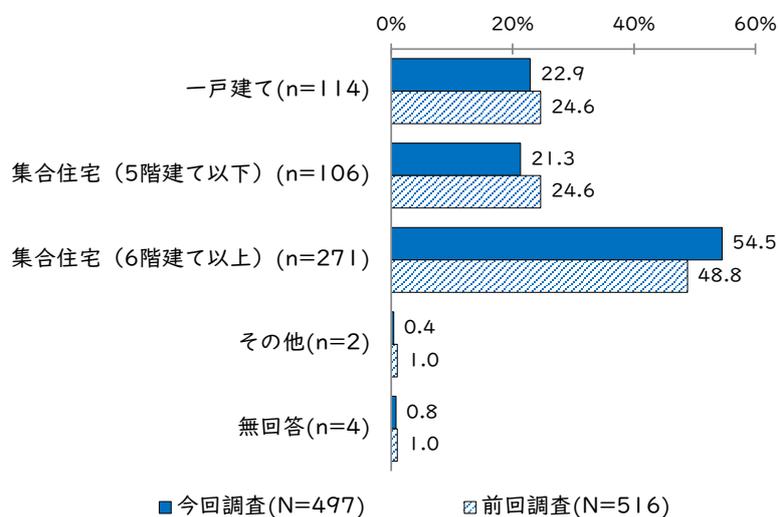
合計

問5-1. 住まいの形態

問5-1. 問5で「わからない」と回答された方にお聞きします。
あなたのお住まいの形態は。

【単純集計】

住まいの形態は、「集合住宅（6階建て以上）」（55%）、「一戸建て」（23%）、
「集合住宅（5階建て以下）」（21%）で、『集合住宅』は76%となっています。
前回調査と比較すると、「集合住宅（6階建て以上）」は6ポイント高いです
が、他の項目では大きな差はみられません。



「その他」：寮、ハイツ

Ⅱ. 水道水の安全性・信頼性や利用について

問6. 水道水利用に関する安心度

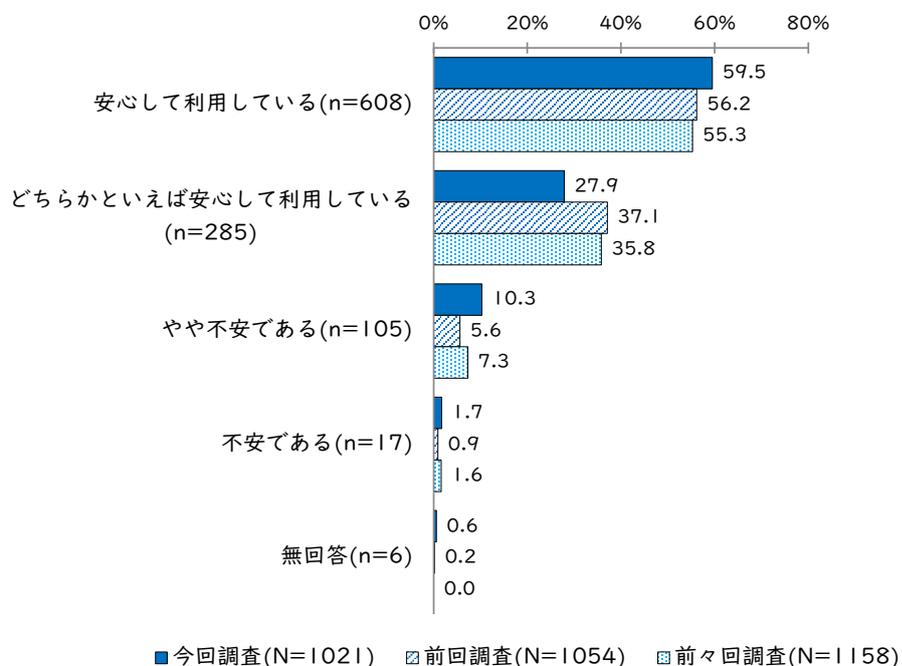
問6. あなたは、水道水を安心して利用していますか。

【単純集計】

水道水利用に関する安心度については、「安心して利用している」(60%)と「どちらかといえば安心して利用している」(28%)を合わせた『安心して利用』は87%、「やや不安である」(10%)と「不安である」(2%)を合わせた『不安である』は12%となっています。

前回調査と比較すると、「安心して利用している」は3ポイント高くなっていますが、「どちらかといえば安心して利用している」(28%)は9ポイント低くなっています。

また、「やや不安である」は5ポイント高くなるなど、不安感が増えている傾向が見られます。



【クロス集計】

○性別

「安心して利用している」でみると、男性は女性より13ポイント高くなっています。

○年齢別

「安心して利用している」でみると、18・19歳と『70～80歳以上』は70%以上で他の年齢より高くなっています。

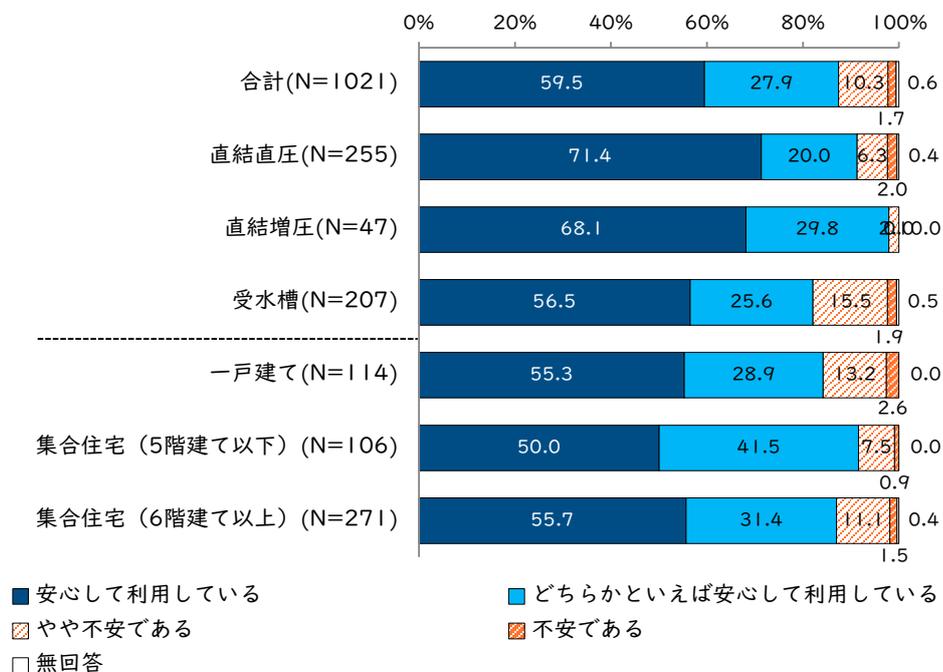
○地域別

「安心して利用している」でみると、地域別には大きな差はみられません。

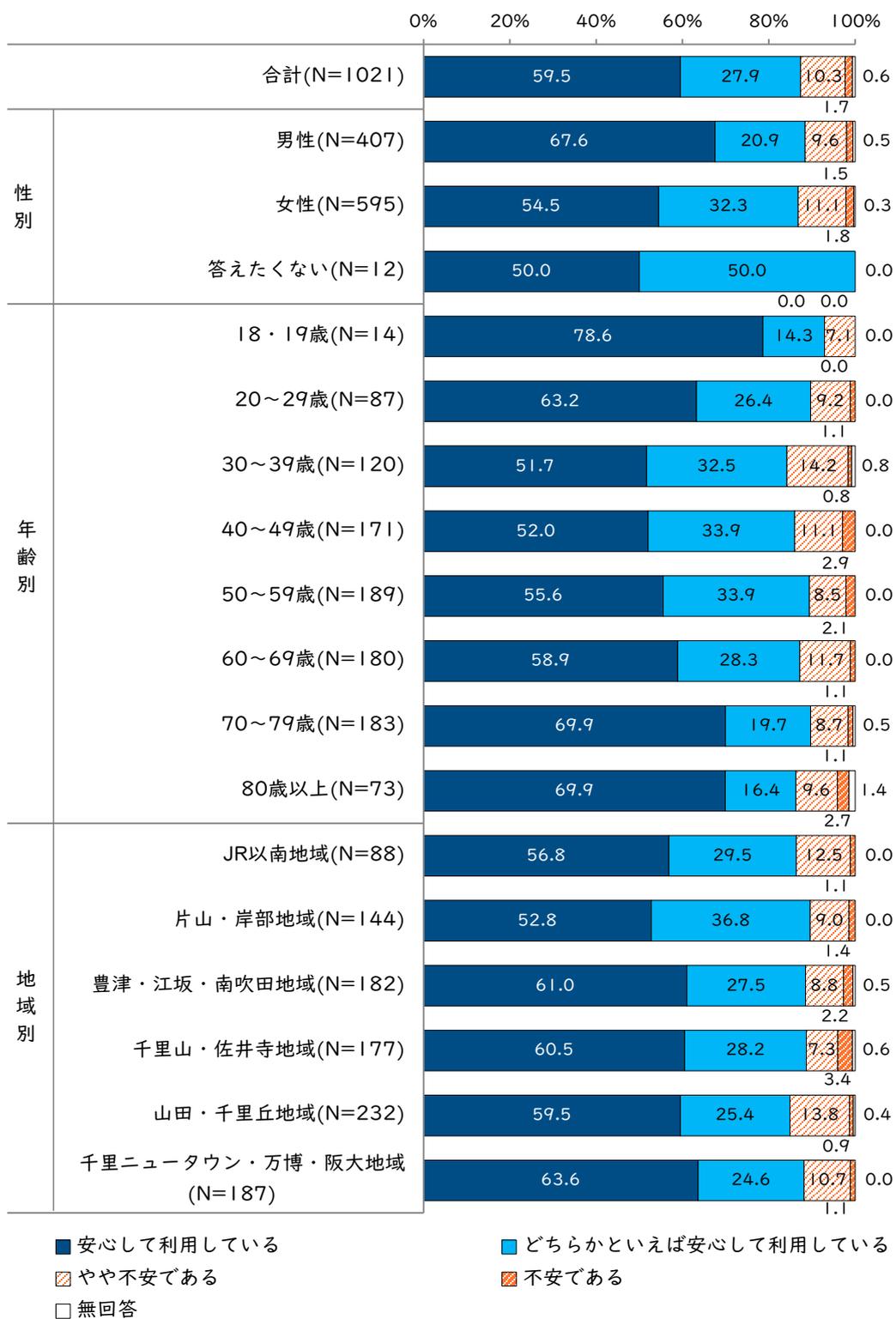
○給水方式・住宅形態別

「安心して利用している」でみると、直結直圧（71%）と直結増圧（68%）は他（50～57%）より高くなっています。

問5. 住まいの給水方式・問5-1. 住まいの形態×問6. 水道水利用に関する安心度



問 1. 2. 3. (属性) × 問 6. 水道水利用に関する安心度



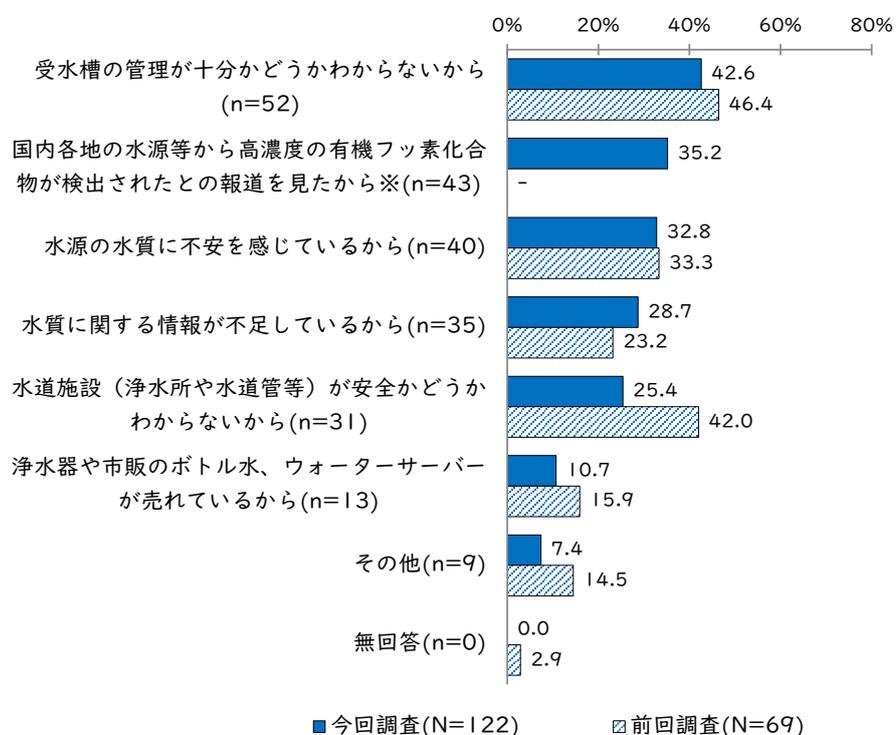
問6-1. 水道水利用に関する不安の理由

問6-1. 問6で「やや不安である」または「不安である」と回答された方にお聞きします。不安の理由は。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

水道水利用に関する不安の理由は、「受水槽の管理が十分かどうか分からないから」(43%)、「国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから」(35%)、「水源の水質に不安を感じているから」(33%)、「水質に関する情報が不足しているから」(29%)、「水道施設(浄水所や水道管等)が安全かどうか分からないから」(25%)となっています。

前回調査と比較すると、「水道施設(浄水所や水道管等)が安全かどうか分からないから」は17ポイント低くなっていますが、「水質に関する情報が不足しているから」は6ポイント高くなっています。



「その他」: 近隣市内井戸の汚染問題、水道管の老朽化、におい、他6件

【クロス集計】

○性別

「受水槽の管理が十分かどうかわからないから」でみると、男性は女性より17ポイント高くなっています。

○年齢別

「受水槽の管理が十分かどうかわからないから」でみると、50～59歳（60%）、60～69歳（57%）、80歳以上（56%）は他の年齢より高くなっています。

また、「国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから」でみると、30～39歳（50%）、40～49歳（54%）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

「受水槽の管理が十分かどうかわからないから」でみると、山田・千里丘地域（56%）は他の地域より高くなっています。

「国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから」でみると、豊津・江坂・南吹田地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域は50%と他の地域より高くなっています。

問 1. 2. 3. (属性) × 問 6-1. 水道水利用に関する不安の理由

		ら受水槽の管理が十分かどうかわからないか	国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから	水源の水質に不安を感じているから	水質に関する情報が不足しているから	水道施設（浄水所や水道管等）が安全かどうかわからないから	浄水器や市販のボトル水、ウォーターサーバーが売れているから	その他	無回答
合計(N=122)		42.6	35.2	32.8	28.7	25.4	10.7	7.4	0.0
性別	男性(N=45)	53.3	28.9	31.1	46.7	28.9	11.1	11.1	0.0
	女性(N=77)	36.4	39.0	33.8	18.2	23.4	10.4	5.2	0.0
	答えたくない(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18・19歳(N=1)	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20~29歳(N=9)	22.2	11.1	66.7	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0
	30~39歳(N=18)	33.3	50.0	38.9	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0
	40~49歳(N=24)	29.2	54.2	29.2	41.7	33.3	16.7	8.3	0.0
	50~59歳(N=20)	60.0	25.0	15.0	15.0	20.0	0.0	25.0	0.0
	60~69歳(N=23)	56.5	34.8	43.5	47.8	34.8	4.3	4.3	0.0
	70~79歳(N=18)	38.9	27.8	33.3	33.3	27.8	16.7	5.6	0.0
	80歳以上(N=9)	55.6	22.2	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0
地域別	JR以南地域(N=12)	41.7	8.3	16.7	33.3	0.0	8.3	25.0	0.0
	片山・岸部地域(N=15)	40.0	20.0	33.3	13.3	26.7	13.3	13.3	0.0
	豊津・江坂・南吹田地域(N=20)	30.0	50.0	20.0	20.0	30.0	5.0	10.0	0.0
	千里山・佐井寺地域(N=19)	31.6	31.6	42.1	26.3	31.6	15.8	5.3	0.0
	山田・千里丘地域(N=34)	55.9	35.3	38.2	38.2	26.5	14.7	2.9	0.0
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=22)	45.5	50.0	36.4	31.8	27.3	4.5	0.0	0.0

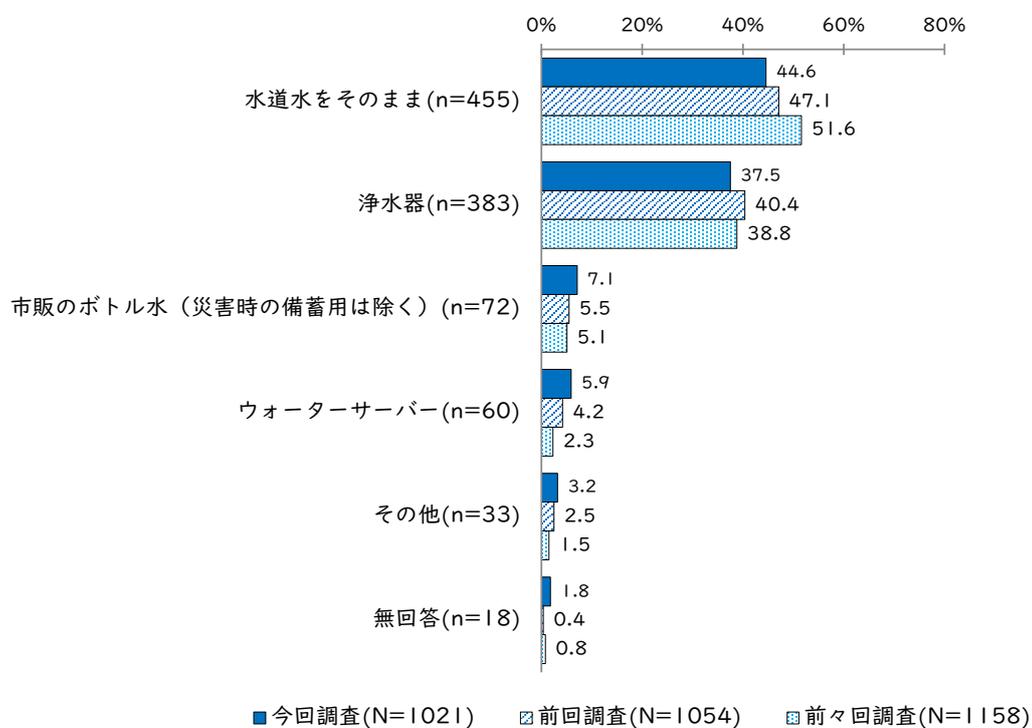
問7. 飲用で使う水の種類

問7. あなたが、コーヒーやお茶・紅茶を淹(い)れる場合を含み、飲用で使う水はどれですか。

【単純集計】

飲用で使う水の種類は、「水道水をそのまま」(45%)、「浄水器」(38%)、「市販のボトル水」(7%)、「ウォーターサーバー」(6%)となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



「その他」：沸かしてから飲む、用途によって使い分ける、整水器、他 27 件

【クロス集計】

○性別

男女別にみると、大きな差はみられません。

○年齢別

「水道水をそのまま」でみると、年齢が高くなるに従って高くなる傾向がみられます。

○地域別

「水道水をそのまま」でみると、JR以南地域（52%）、豊津・江坂・南吹田地域（51%）は他の地域より高くなっています。

○給水方式・住宅形態別

「水道水をそのまま」でみると、直結直圧（51%）と受水槽（51%）は他（36～46%）より高くなっています。

○問6 水道水利用に関する安心度別

「水道水をそのまま」でみると、安心して利用しているでは53%ですが、不安が強くなるにしたがって低下し、不安であるでは18%となっています。

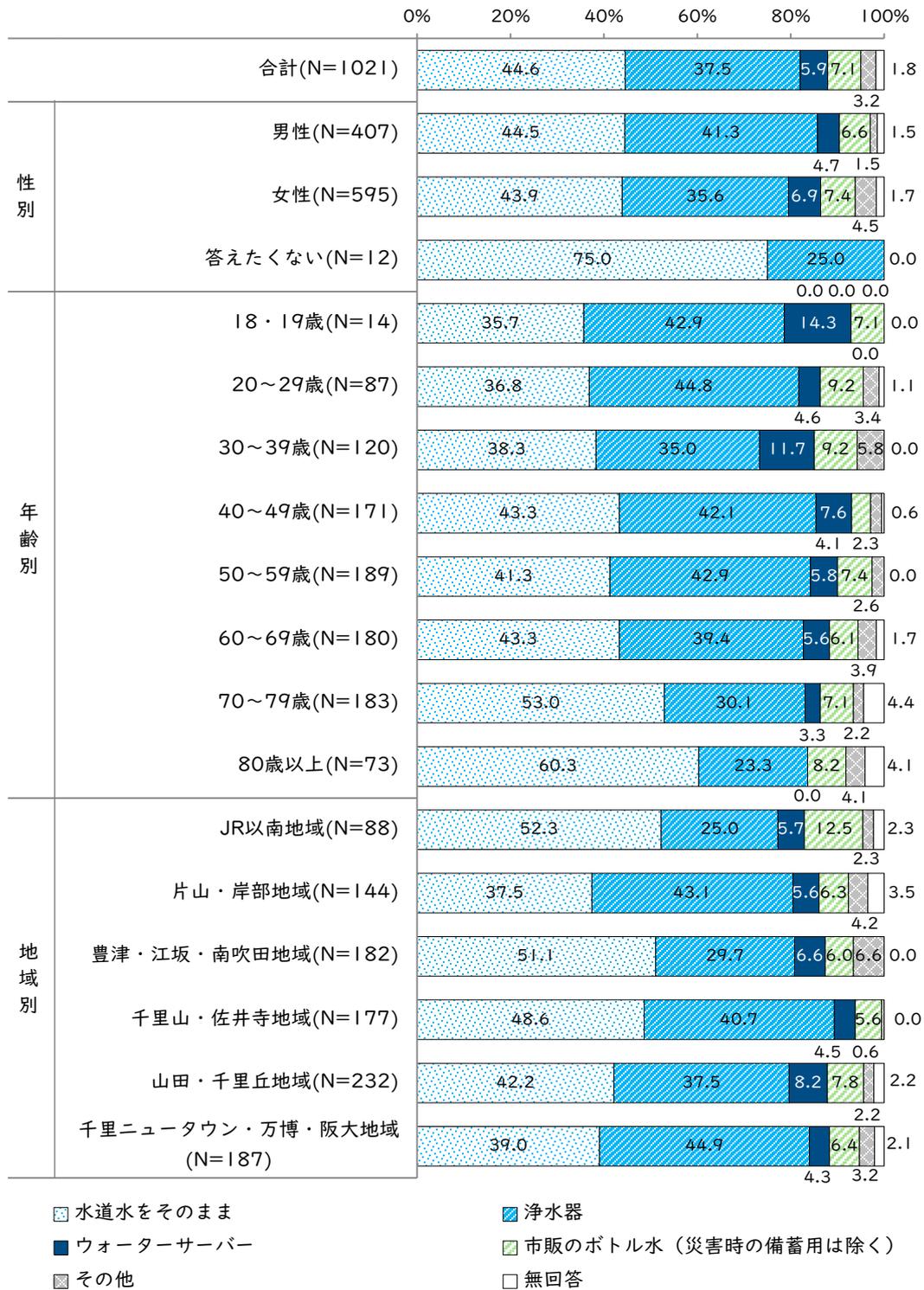
○問9 水道施設の老朽化に関する問題意識別

「水道水をそのまま」でみると、問題意識の強さでは大きな差はみられません。

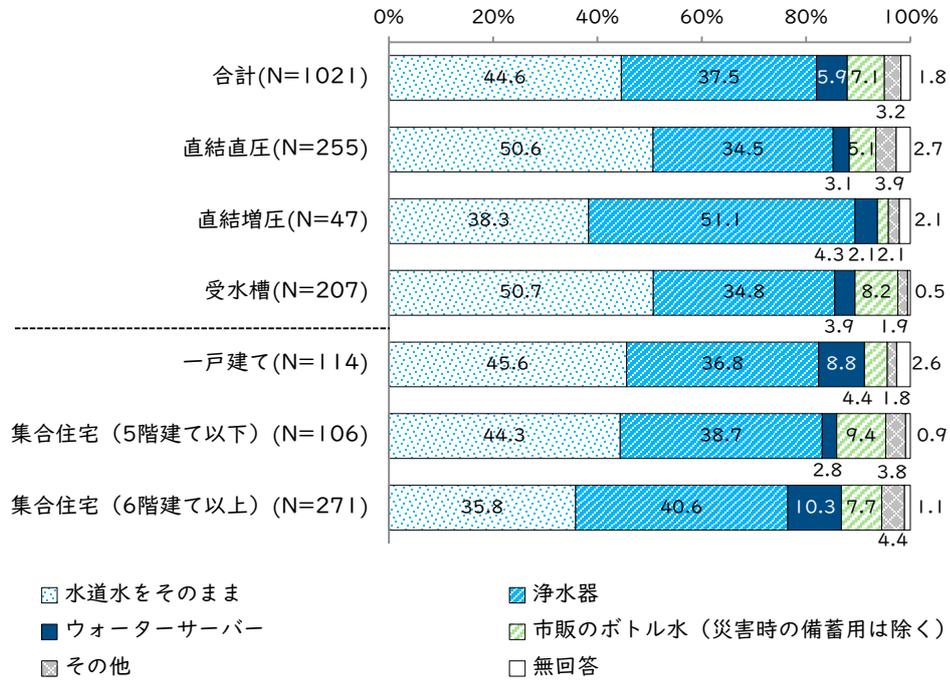
○問15 水道料金に関する感想別

「水道水をそのまま」でみると、水道料金に対する感想で安いと思うほど高い傾向がみられます。

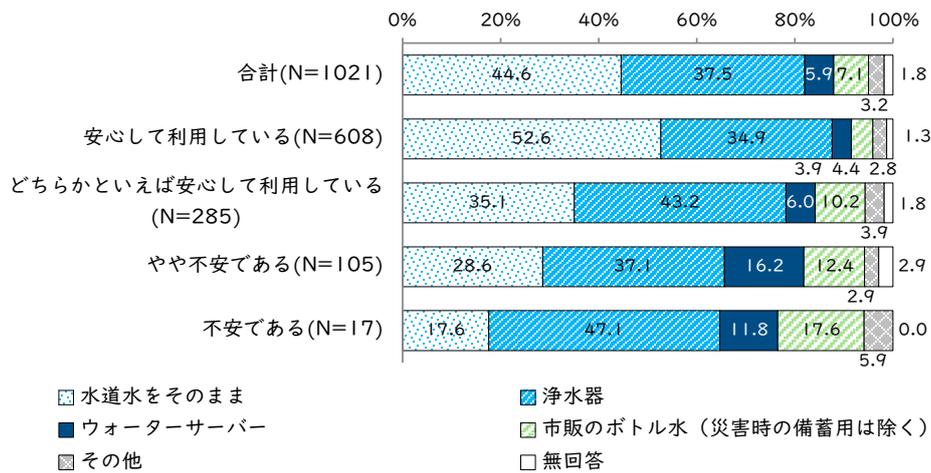
問 1. 2. 3. (属性) × 問 7. 飲用で使う水の種類



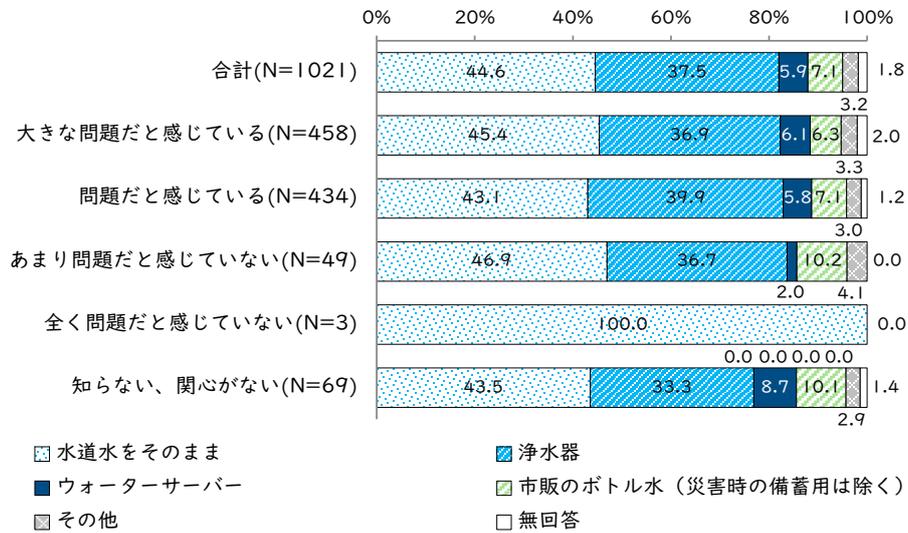
問 5. 住まいの給水方式・問 5-1. 住まいの形態×問 7. 飲用で使う水の種類



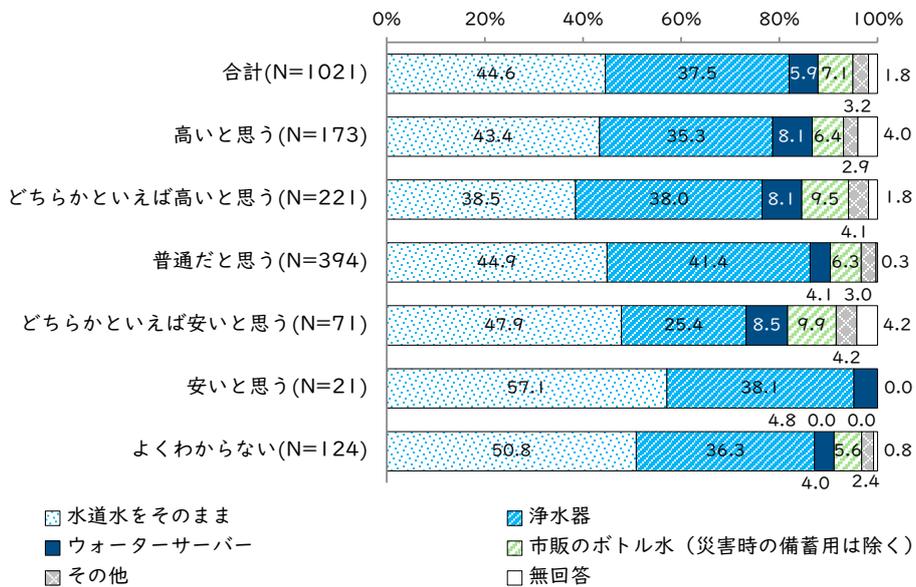
問 6. 水道水利用の安心度×問 7. 飲用で使う水の種類



問 9. 水道施設の老朽化に関する問題意識×問 7. 飲用で使う水の種類



問 15. 水道料金に関する感想×問 7. 飲用で使う水の種類



問7-1. 水道水を飲用に使用する理由

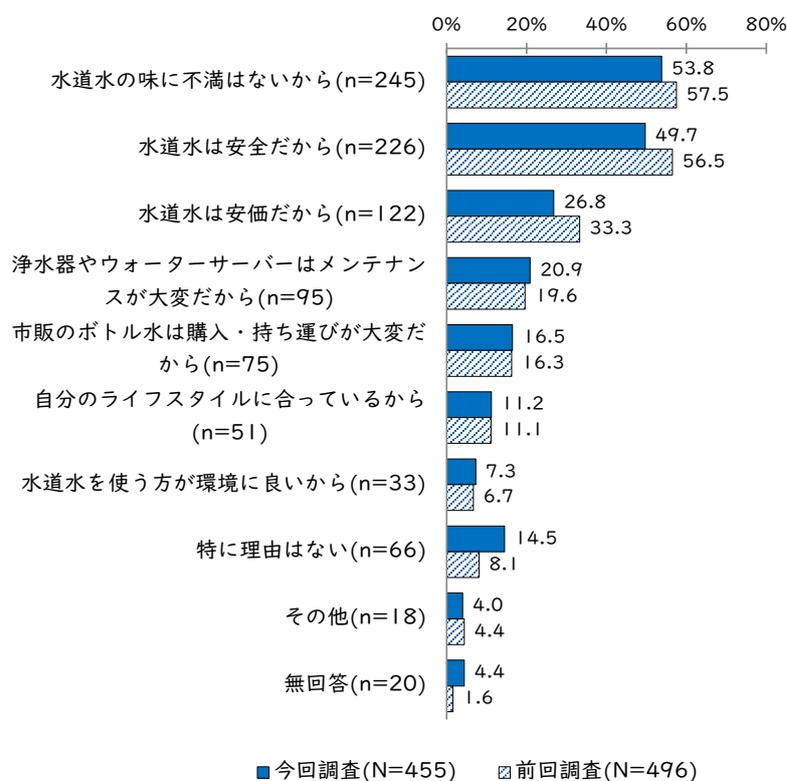
問7-1. 問7で「水道水をそのまま」と回答された方にお聞きします。
その理由は。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

水道水を飲用に使用する理由は、「水道水の味に不満はないから」(54%)、「水道水は安全だから」(50%)、「水道水は安価だから」(27%)、「浄水器やウォーターサーバーはメンテナンスが大変だから」(21%)、「市販のボトル水は購入・持ち運びが大変だから」(17%)となっています。

また、「自分のライフスタイルに合っているから」(11%)、「水道水を使う方が環境に良いから」(7%)などの価値観を理由としている回答もありました。

前回調査と比較すると、「水道水は安全だから」は7ポイント、「水道水は安価だから」は7ポイント低くなっています。



「その他」：煮沸して使用するので気にならない、水道水の方が水質検査基準は高いから、他16件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「水道水の味に不満はないから」でみると、20～29歳（41％）は他の年齢より低くなっています。

「水道水は安全だから」でみると、『20～49歳』（37～41％）は他の年齢より低くなっています。

「水道水は安価だから」でみると、50～59歳（21％）、『70～80歳以上』（16～21％）は他の年齢より低くなっています。

○地域別

「水道水は安全だから」でみると、千里山・佐井寺地域（62％）、JR以南地域（54％）は、他の地域より高くなっています。

○給水方式・住宅形態別

「水道水は安全だから」でみると、直結直圧（59％）と受水槽（55％）は他（34～48％）より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問7-1. 水道水を飲用に使用する理由

		水道水の味に不満はないから	水道水は安全だから	水道水は安価だから	浄水器やウォーターサーバーはメンテナンスが大変だから	市販のボトル水は購入・持ち運びが大変だから	自分のライフスタイルに合っているから	水道水を使う方が環境に良いから	特に理由はない	その他	無回答
合計(N=455)		53.8	49.7	26.8	20.9	16.5	11.2	7.3	14.5	4.0	4.4
性別	男性(N=181)	55.8	55.2	28.7	18.2	18.8	12.2	7.7	15.5	5.0	3.9
	女性(N=261)	53.6	46.0	24.5	22.2	14.6	10.0	6.1	14.2	3.4	4.6
	答えたくない(N=9)	33.3	55.6	66.7	44.4	33.3	33.3	11.1	11.1	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=5)	80.0	60.0	20.0	60.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	20~29歳(N=32)	40.6	40.6	31.3	18.8	12.5	21.9	0.0	15.6	15.6	0.0
	30~39歳(N=46)	56.5	37.0	39.1	28.3	26.1	6.5	2.2	19.6	4.3	2.2
	40~49歳(N=74)	58.1	40.5	33.8	29.7	17.6	20.3	12.2	9.5	5.4	2.7
	50~59歳(N=78)	51.3	46.2	20.5	19.2	12.8	10.3	6.4	19.2	6.4	1.3
	60~69歳(N=78)	56.4	55.1	32.1	19.2	15.4	7.7	6.4	15.4	1.3	2.6
	70~79歳(N=97)	56.7	63.9	20.6	13.4	14.4	9.3	8.2	12.4	0.0	8.2
	80歳以上(N=44)	45.5	47.7	15.9	18.2	15.9	2.3	9.1	11.4	2.3	13.6
地域別	JR以南地域(N=46)	58.7	54.3	34.8	23.9	15.2	10.9	4.3	10.9	4.3	4.3
	片山・岸部地域(N=54)	55.6	42.6	16.7	25.9	20.4	9.3	3.7	9.3	7.4	9.3
	豊津・江坂・南吹田地域(N=93)	55.9	46.2	31.2	15.1	16.1	8.6	7.5	17.2	6.5	1.1
	千里山・佐井寺地域(N=86)	51.2	61.6	30.2	24.4	19.8	14.0	4.7	10.5	3.5	3.5
	山田・千里丘地域(N=98)	53.1	45.9	27.6	16.3	14.3	12.2	13.3	17.3	3.1	5.1
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=73)	53.4	46.6	19.2	26.0	15.1	11.0	4.1	19.2	0.0	2.7

問 5. 住まいの給水方式・問 5-1. 住まいの形態×問 7-1. 水道水を飲用に使用する理由

	水道水は安全だから	水道水の味に不満はないから	水道水は安価だから	水道水を使う方が環境に良いから	自分のライフスタイルに合っているから	浄水器やウォーターサーバーはメンテナンスが大変だから	市販のボトル水は購入・持ち運びが大変だから	特に理由はない	その他	無回答
合計(N=455)	49.7	53.8	26.8	7.3	11.2	20.9	16.5	14.5	4.0	4.4
直結直圧(N=129)	58.9	55.8	27.1	6.2	11.6	19.4	11.6	8.5	0.8	7.0
直結増圧(N=18)	38.9	61.1	33.3	16.7	5.6	11.1	16.7	0.0	33.3	0.0
受水槽(N=105)	55.2	56.2	23.8	10.5	10.5	19.0	17.1	12.4	1.0	3.8
一戸建て(N=52)	48.1	50.0	26.9	7.7	9.6	26.9	21.2	13.5	11.5	1.9
集合住宅 (5階建て以下) (N=47)	34.0	44.7	31.9	0.0	12.8	29.8	25.5	25.5	2.1	4.3
集合住宅 (6階建て以上) (N=97)	41.2	56.7	26.8	5.2	12.4	20.6	16.5	23.7	3.1	2.1

問7-2. 水道水を飲用に使用しない理由

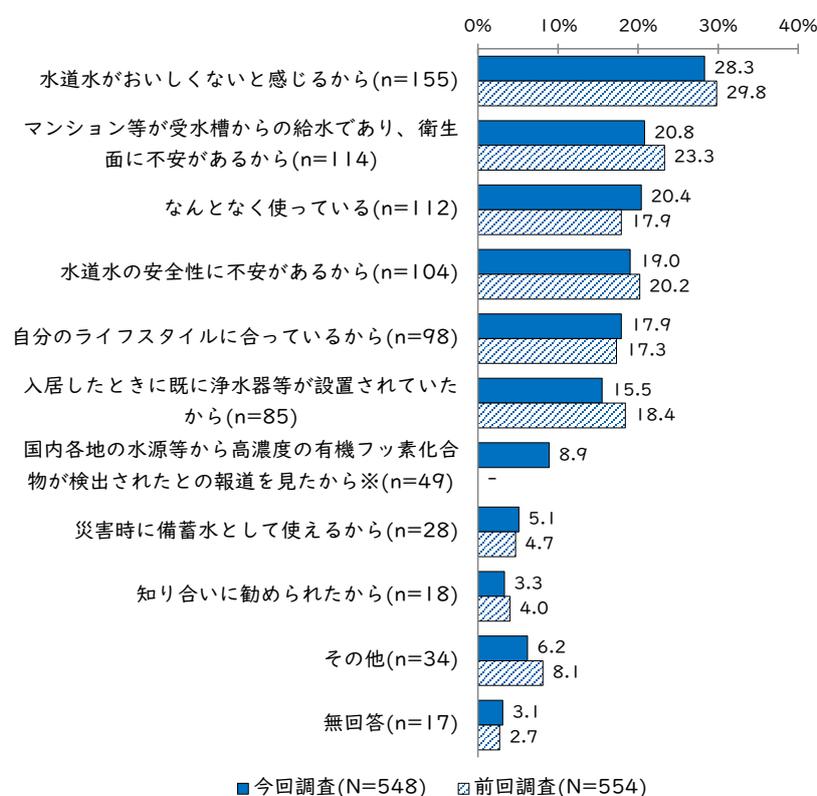
問7-2. 問7で「浄水器」「ウォーターサーバー」「市販のボトル水」「その他」のいずれかを回答された方にお聞きします。その理由は。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

水道水を飲用に使用しない理由は、「水道水がおいしくないと感じるから」(28%)、「マンション等が受水槽からの給水であり、衛生面に不安があるから」(21%)、「水道水の安全性に不安があるから」(19%)、「国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから」(9%)となっています。

その他の理由は、「なんとなく使っている」(20%)、「自分のライフスタイルに合っているから」(18%)、「入居したときに既に浄水器等が設置されていたから」(16%)となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



「その他」：浄水器の水がおいしい、塩素をとばしたいから、住居が古く水道管などの汚れが気になるから、他31件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「水道水がおいしくないと感じるから」でみると、『20～49歳』（30～37%）は他の年齢より高くなっています。

「水道水の安全性に不安があるから」でみると、『20～39歳』（30～32%）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

「水道水がおいしくないと感じるから」でみると、片山・岸部地域（35%）は他の地域より高くなっています。

「マンション等が受水槽からの給水であり、衛生面に不安があるから」でみると、山田・千里丘地域（26%）、千里山・佐井寺地域（25%）は他の地域より高くなっています。

○給水方式・住宅形態別

「マンション等が受水槽からの給水であり、衛生面に不安があるから」でみると、受水槽（64%）が他より高くなっています。「水道水がおいしくないと感じるから」でみると、集合住宅（5階建て以下）（38%）、直結直圧（34%）が他より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問7-2. 水道水を飲用に使用しない理由

		水道水がおいしくないと感じるから	衛生面に不安があるから	マンション等が受水槽からの給水であり、なんとなく使っている	水道水の安全性に不安があるから	自分のライフスタイルに合っているから	入居したときに既に浄水器等が設置されていたから	国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから※	災害時に備蓄水として使えるから	知り合いに勧められたから	その他	無回答
合計(N=548)		28.3	20.8	20.4	19.0	17.9	15.5	8.9	5.1	3.3	6.2	3.1
性別	男性(N=220)	29.1	21.4	24.1	18.6	17.7	15.9	10.0	6.8	2.3	5.0	3.6
	女性(N=324)	27.2	20.1	17.9	19.1	17.9	15.4	8.0	4.0	4.0	7.1	2.8
	答えたくない(N=3)	66.7	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=9)	22.2	0.0	44.4	11.1	22.2	22.2	0.0	22.2	0.0	11.1	11.1
	20～29歳(N=54)	37.0	13.0	29.6	31.5	11.1	3.7	5.6	3.7	1.9	0.0	0.0
	30～39歳(N=74)	32.4	17.6	14.9	29.7	20.3	12.2	8.1	9.5	1.4	10.8	2.7
	40～49歳(N=96)	30.2	20.8	21.9	22.9	11.5	26.0	14.6	1.0	2.1	5.2	0.0
	50～59歳(N=111)	25.2	25.2	18.9	13.5	18.9	21.6	8.1	3.6	2.7	8.1	2.7
	60～69歳(N=99)	26.3	25.3	16.2	17.2	18.2	16.2	13.1	5.1	6.1	5.1	5.1
	70～79歳(N=78)	24.4	19.2	19.2	10.3	26.9	5.1	2.6	7.7	5.1	6.4	3.8
	80歳以上(N=26)	23.1	23.1	26.9	7.7	15.4	11.5	3.8	3.8	3.8	3.8	11.5
地域別	JR以南地域(N=40)	25.0	10.0	32.5	15.0	17.5	7.5	7.5	5.0	2.5	5.0	12.5
	片山・岸部地域(N=85)	35.3	16.5	21.2	23.5	15.3	16.5	11.8	3.5	2.4	4.7	1.2
	豊津・江坂・南吹田地域(N=89)	29.2	21.3	18.0	16.9	15.7	9.0	7.9	0.0	5.6	10.1	3.4
	千里山・佐井寺地域(N=91)	25.3	25.3	17.6	16.5	18.7	12.1	8.8	4.4	4.4	6.6	2.2
	山田・千里丘地域(N=129)	27.9	26.4	17.8	21.7	24.8	17.1	7.8	9.3	3.1	6.2	1.6
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=110)	26.4	17.3	21.8	18.2	13.6	24.5	10.0	6.4	1.8	4.5	3.6

問 5. 住まいの給水方式・問 5-1. 住まいの形態×
問 7-2. 水道水を飲用に使用しない理由

	水道水の安全性に不安があるから	国内各地の水源地等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから	水道水がおいしくないと感じるから	衛生面に不安があるから	マンション等が受水槽からの給水であり、	災害時に備蓄水として使えるから	入居したときに既に浄水器等が設置されていたから	自分のライフスタイルに合っているから	知り合いに勧められたから	なんとなく使っている	その他	無回答
合計(N=548)	17.0	8.7	28.3	20.8	5.1	15.5	17.9	3.3	20.4	6.2	3.1	
直結直圧(N=119)	18.5	8.4	33.6	2.5	5.9	10.1	24.4	5.0	21.0	5.9	4.2	
直結増圧(N=28)	0.0	14.3	25.0	17.9	7.1	28.6	10.7	0.0	28.6	7.1	3.6	
受水槽(N=101)	13.9	8.9	24.8	64.4	3.0	12.9	7.9	5.0	9.9	3.0	4.0	
一戸建て(N=59)	32.2	13.6	18.6	0.0	6.8	13.6	22.0	0.0	32.2	6.8	3.4	
集合住宅（5階建て以下） (N=58)	25.9	3.4	37.9	15.5	5.2	10.3	19.0	3.4	12.1	12.1	3.4	
集合住宅（6階建て以上） (N=171)	19.3	9.4	27.5	18.1	5.3	22.2	18.7	2.3	23.4	6.4	0.6	

問8. 節水の取組

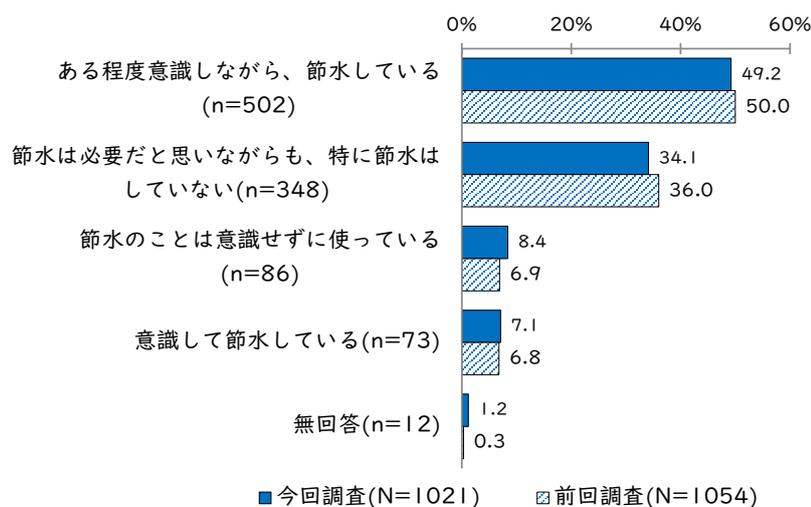
問8. 普段何気なく利用している水（淡水）は、地球の水資源の0.01%であり、限りある資源です。あなたは、日頃節水に取り組んでいますか。

【単純集計】

節水の取組は、「ある程度意識しながら、節水している」（49%）、「節水は必要だと思いつながらも、特に節水はしていない」（34%）、「節水のことは意識せずに使っている」（8%）となっています。

また、「ある程度意識しながら、節水している」と「意識して節水している」を合わせた『節水している』は56%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

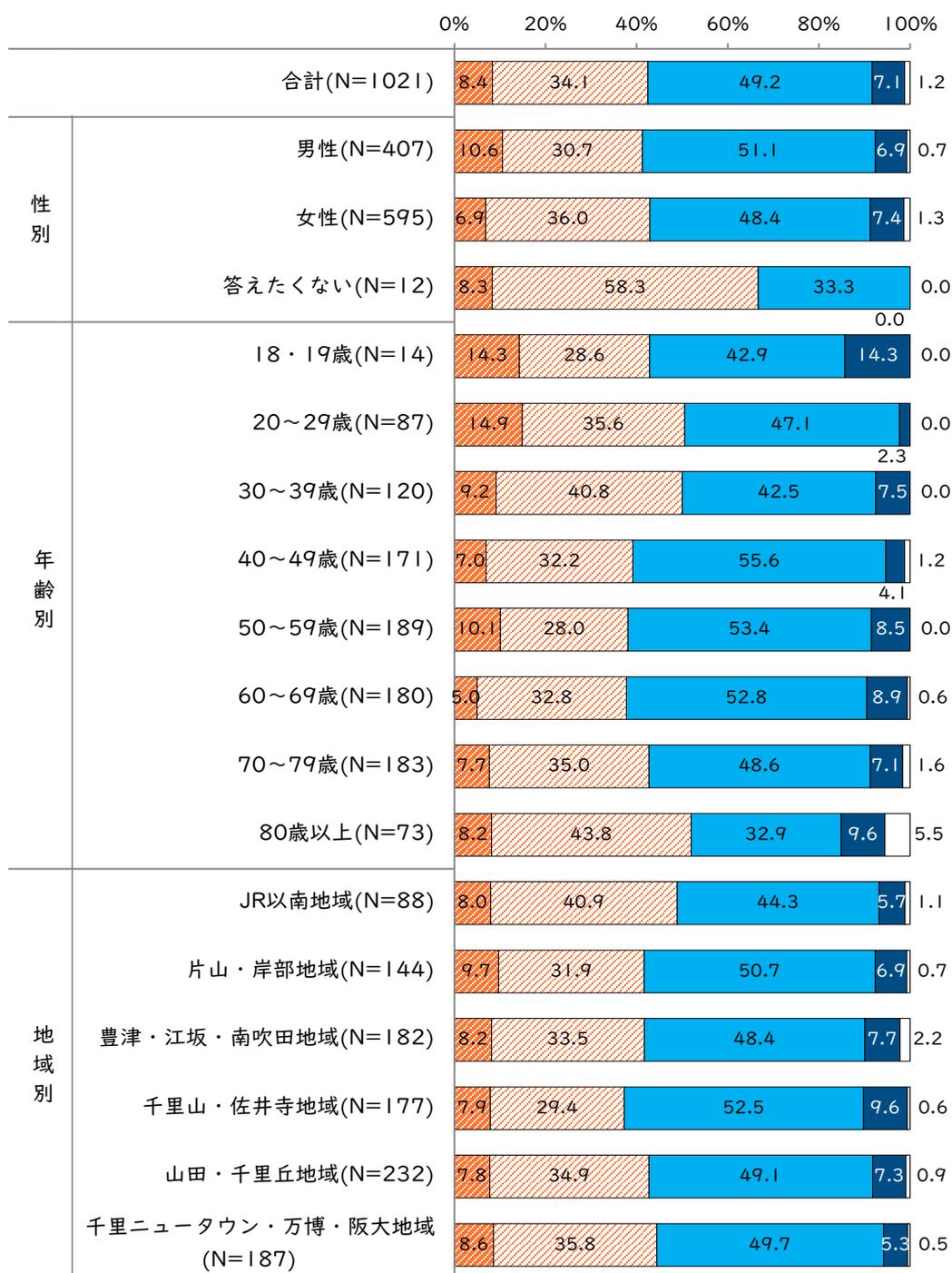
○年齢別

『節水している』でみると、『20～39歳』（49～50%）、「80歳以上」（43%）は他の年齢より低くなっています。

○地域別

『節水している』でみると、千里山・佐井寺地域（62%）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問8. 節水の取組



- 節水のことは意識せずに使っている
- 節水は必要だと思いつつも、特に節水はしていない
- ある程度意識しながら、節水している
- 意識して節水している
- 無回答

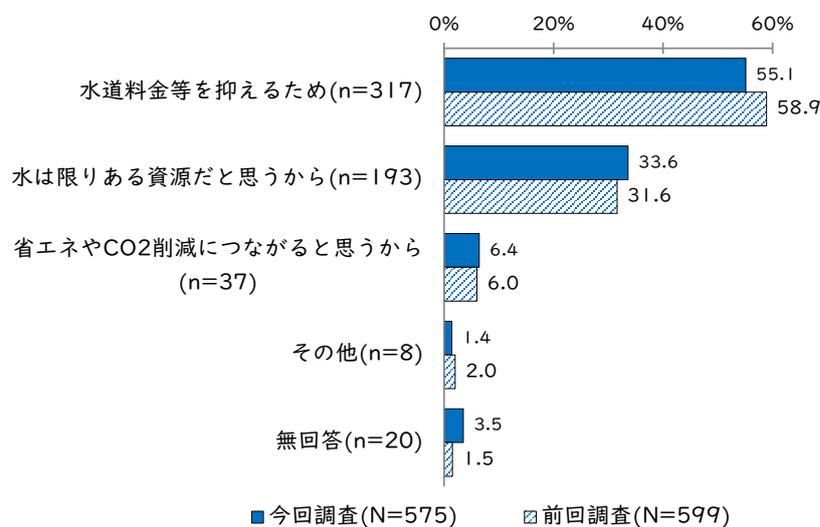
問 8-1. 節水の目的

問 8-1. 問 8 で「ある程度意識しながら、節水している」または「意識して節水している」と回答された方にお聞きします。「節水」の目的は。

【単純集計】

「節水」の目的は、「水道料金等を抑えるため」(55%)という経済的理由、「水は限りある資源だと思うから」(34%)、「省エネや CO2 削減につながると思うから」(6%)などの環境意識からの回答があります。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



「その他」：水は大切なもの、子どもの頃からの習慣のため、他 6 件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「水道料金等を抑えるため」で見ると、20～29歳（77％）は他の年齢より高くなっています。

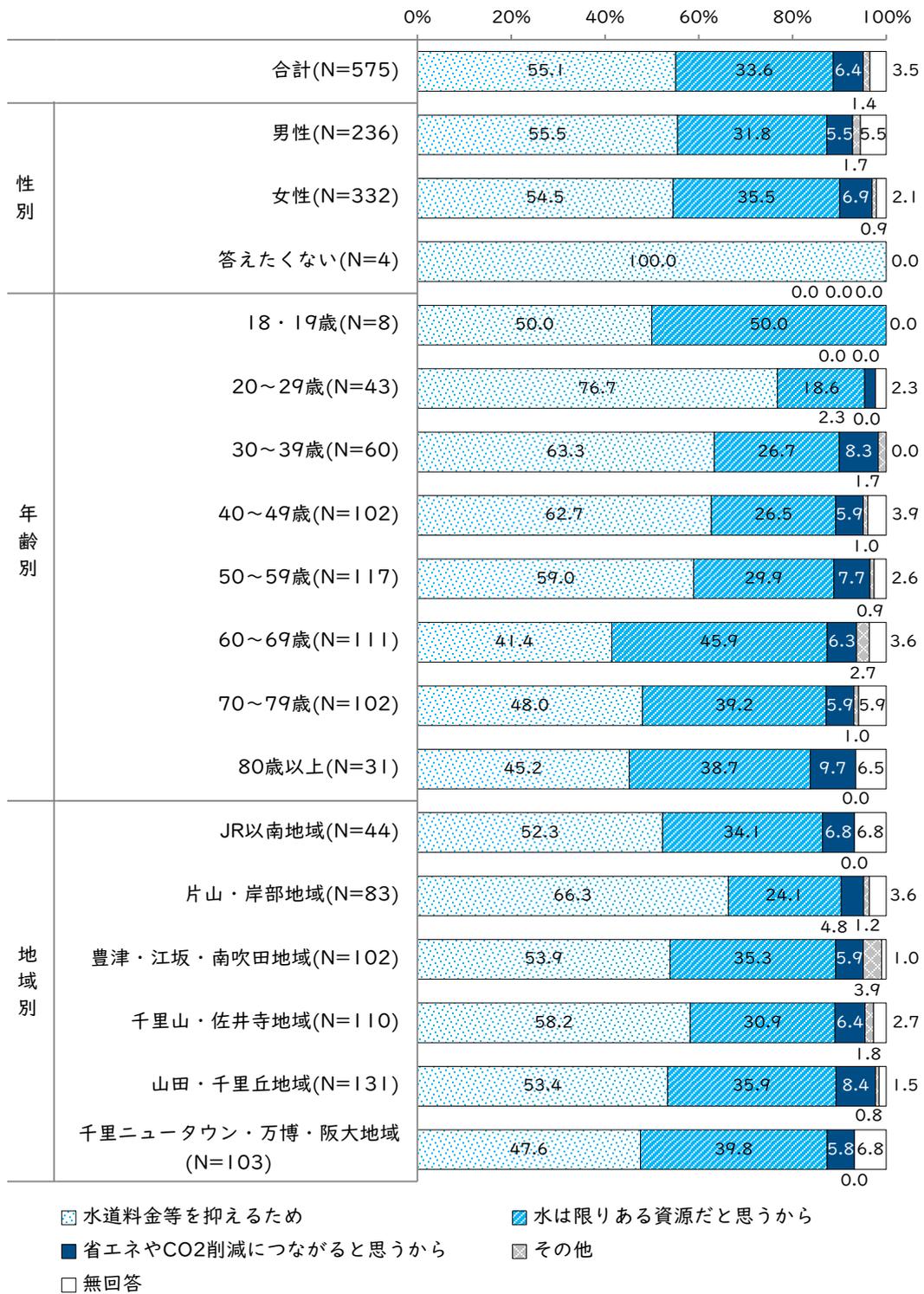
「水は限りある資源だと思うから」で見ると、『60～80歳以上』（39～46％）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

「水道料金等を抑えるため」で見ると、片山・岸部地域（66％）は他の地域より高くなっています。

「水は限りある資源だと思うから」で見ると、千里ニュータウン・万博・阪大地域（40％）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問8-1. 節水の目的



Ⅲ. 水道施設の老朽化について

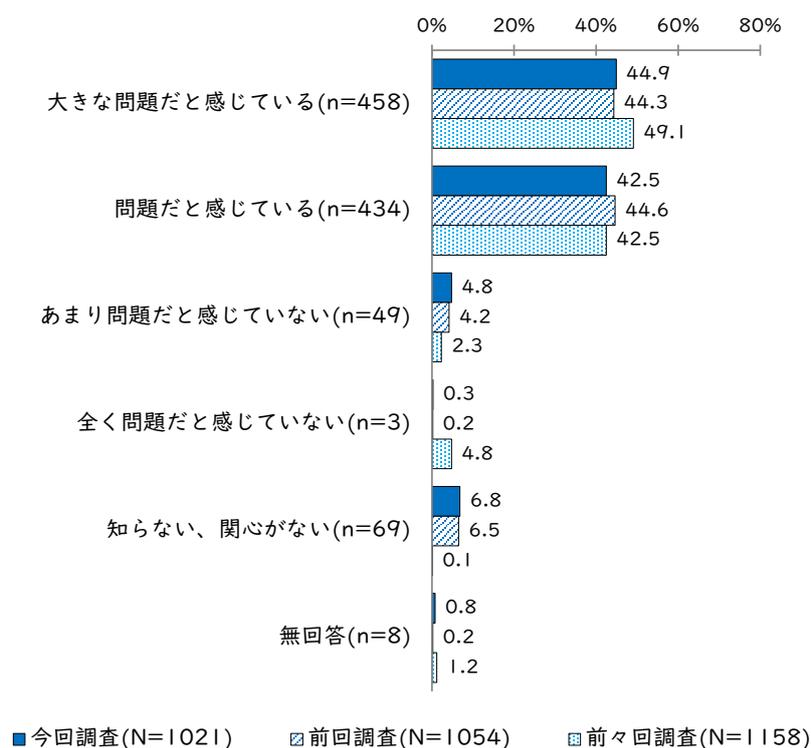
問9. 水道施設の老朽化に関する問題意識

問9. 近年、「水道施設の老朽化」がテレビや新聞等で、大きな社会問題として報じられていますが、あなたはどのように感じていますか。

【単純集計】

「水道施設の老朽化」については、「大きな問題だと感じている」（45%）と「問題だと感じている」（43%）を合わせた『問題だと感じている』は87%と高く、「あまり問題だと感じていない」（5%）と「全く問題だと感じていない」（1%未満）を合わせた『問題だと感じていない』は5%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

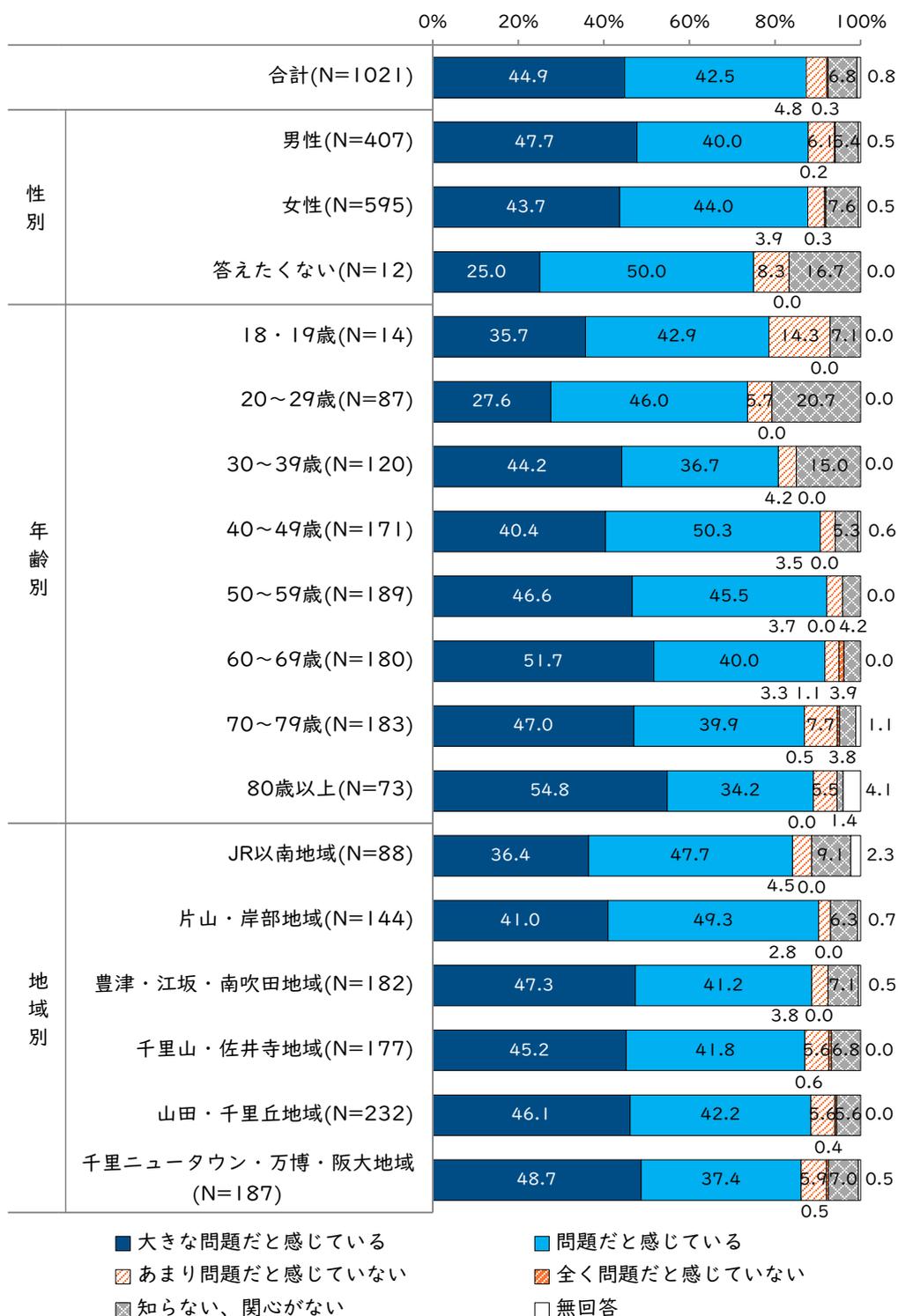
○年齢別

『問題だと感じている』でみると、『18～39歳』（74～81%）は他の年齢より低くなっています。

○地域別

『問題だと感じている』でみると、大きな差はみられません。

問1. 2. 3. (属性) × 問9. 水道施設の老朽化に関する問題意識



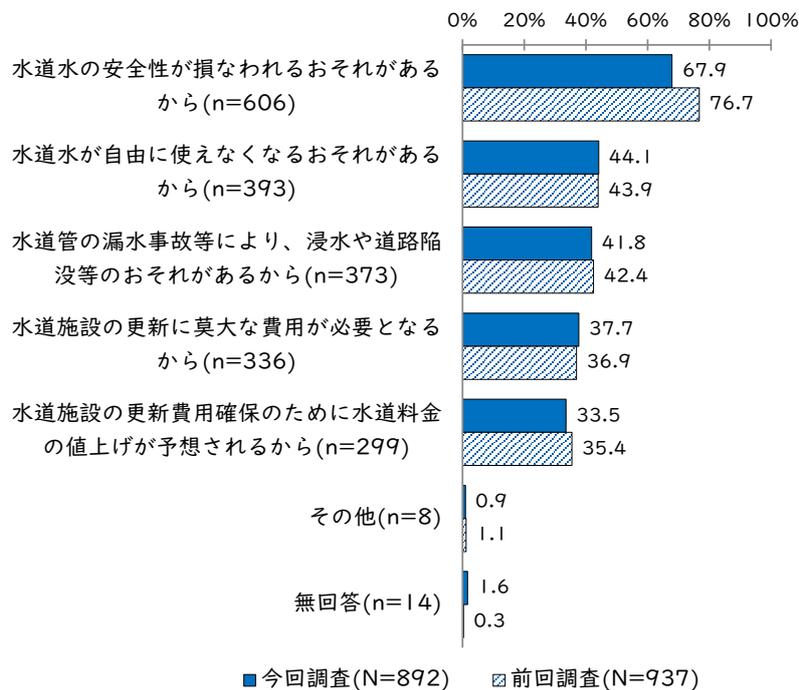
問9-1. 水道施設の老朽化を問題と感じている理由

問9-1. 問9で「大きな問題だと感じている」または「問題だと感じている」と回答された方にお聞きします。「問題」と感じている理由は。(あてはまるもの3つまで)

【単純集計】

「問題」と感じている理由は、「水道水の安全性が損なわれるおそれがあるから」(68%)、「水道水が自由に使えなくなるおそれがあるから」(44%)、「水道管の漏水事故等により、浸水や道路陥没等のおそれがあるから」(42%)、「水道施設の更新に莫大な費用が必要となるから」(38%)、「水道施設の更新費用確保のために水道料金の値上げが予想されるから」(34%)となっています。

前回調査と比較すると、「水道水の安全性が損なわれるおそれがあるから」は9ポイント低くなっています。



「その他」：地震などの災害発生時の安定供給が厳しくなるため、インフラは社会全体の問題だから、他6件

【クロス集計】

○性別

「水道水の安全性が損なわれるおそれがあるから」、「水道水が自由に使えなくなるおそれがあるから」でみると、男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「水道水の安全性が損なわれるおそれがあるから」でみると、『70～80歳以上』（54～60%）は他の年齢より低くなっています。

また、「水道水が自由に使えなくなるおそれがあるから」でみると、『40～79歳』（37～45%）は他の年齢より低くなっています。

○地域別

「水道水の安全性が損なわれるおそれがあるから」、「水道水が自由に使えなくなるおそれがあるから」でみると、地域別には大きな差はみられません。

問1. 2. 3. (属性) × 問9-1. 水道施設の老朽化を問題と感じている理由

		から水道水の安全性が損なわれるおそれがある	から水道水が自由に使えるなくなるおそれがある	水道管の漏水事故等により、浸水や道路陥没等のおそれがあるから	から水道施設の更新に莫大な費用が必要となる	水道施設の更新費用確保のために水道料金の値上げが予想されるから	その他	無回答
合計(N=892)		67.9	44.1	41.8	37.7	33.5	0.9	1.6
性別	男性(N=357)	66.1	48.2	35.3	43.7	33.1	0.8	1.1
	女性(N=522)	69.3	40.8	47.3	33.5	33.7	1.0	1.7
	答えたくない(N=9)	88.9	77.8	0.0	22.2	44.4	0.0	11.1
年齢別	18・19歳(N=11)	63.6	54.5	36.4	18.2	9.1	9.1	0.0
	20~29歳(N=64)	76.6	56.3	25.0	35.9	21.9	1.6	0.0
	30~39歳(N=97)	68.0	53.6	38.1	30.9	34.0	0.0	1.0
	40~49歳(N=155)	71.6	36.8	34.8	34.8	38.1	1.3	1.3
	50~59歳(N=174)	70.7	38.5	49.4	33.9	33.3	0.6	1.7
	60~69歳(N=165)	72.7	42.4	50.3	41.8	33.9	0.6	1.2
	70~79歳(N=159)	59.7	45.3	46.5	47.8	34.0	1.3	1.9
80歳以上(N=65)	53.8	50.8	29.2	32.3	35.4	0.0	4.6	
地域別	JR以南地域(N=74)	67.6	45.9	40.5	37.8	43.2	1.4	1.4
	片山・岸部地域(N=130)	73.1	50.8	42.3	36.9	28.5	0.8	1.5
	豊津・江坂・南吹田地域(N=161)	65.8	44.1	41.0	37.3	31.7	1.2	1.2
	千里山・佐井寺地域(N=154)	70.1	46.1	44.8	33.8	25.3	1.9	1.3
	山田・千里丘地域(N=205)	66.3	39.5	39.5	44.4	40.0	0.0	1.0
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=161)	68.3	42.9	43.5	32.9	36.0	0.6	2.5

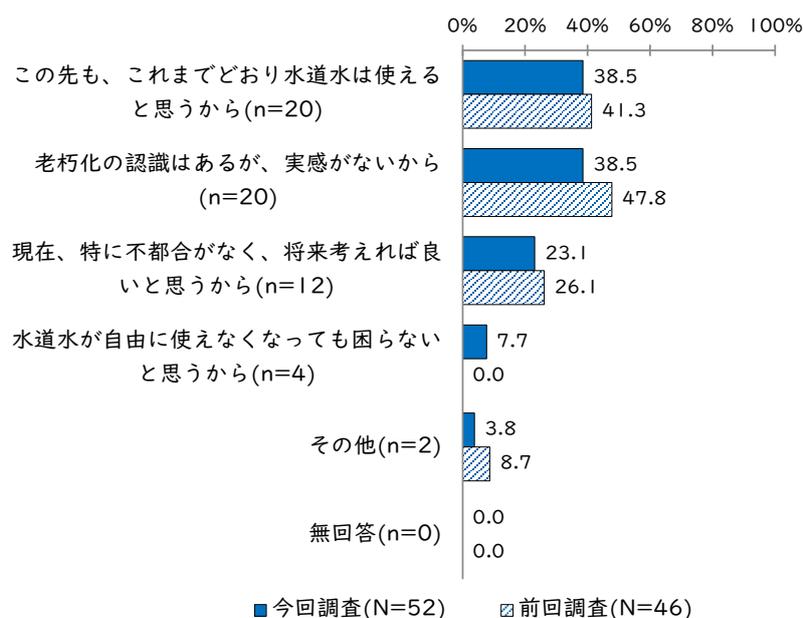
問9-2. 水道施設の老朽化を問題と感じていない理由

問9-2. 問9で「あまり問題だと感じていない」または「全く問題だと感じていない」と回答された方にお聞きします。「問題」と感じていない理由は。(あてはまるもの3つまで)

【単純集計】

「問題」と感じていない理由は、「この先も、これまでどおり水道水は使えると思うから」(39%)、「老朽化の認識はあるが、実感がないから」(39%)、「現在、特に不都合がなく、将来考えれば良いと思うから」(23%)となっています。

前回調査と比較すると、「老朽化の認識はあるが、実感がないから」は9ポイント低くなっています。



「その他」：市が既に老朽化を認識し、整備を進めるべき問題として計画している。
また大阪府と協力して進めて行くと信じているから、他1件

【クロス集計】

○性別

「この先も、これまでどおり水道水は使えると思うから」では、男性は女性より14ポイント高く、「老朽化の認識はあるが、実感がないから」では、女性は男性よりも9ポイント高くなっています。

○年齢別

—

○地域別

—

問1. 2. 3. (属性) × 問9-2. 水道施設の老朽化を問題と感じていない理由

		この先も、 と思うから	老朽化の認識 はあるが、実 感がなから	老朽化につ いて情報が不 足しているか ら	現在、特に 不都合がなく 、将来考えれ ば良いと思 うから	水道水が自 由に使えな くなくても困 らないと思 うから	その他	無回答
合計(N=52)		38.5	38.5	28.8	23.1	7.7	3.8	0.0
性別	男性(N=26)	46.2	34.6	30.8	26.9	7.7	7.7	0.0
	女性(N=25)	32.0	44.0	24.0	20.0	8.0	0.0	0.0
	答えたくない(N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(N=5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(N=5)	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	40～49歳(N=6)	66.7	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	50～59歳(N=7)	0.0	71.4	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0
	60～69歳(N=8)	37.5	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	70～79歳(N=15)	46.7	40.0	20.0	26.7	26.7	0.0	0.0
	80歳以上(N=4)	25.0	75.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
地域別	JR以南地域(N=4)	75.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	片山・岸部地域(N=4)	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	豊津・江坂・南吹田地域(N=7)	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0
	千里山・佐井寺地域(N=11)	36.4	36.4	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0
	山田・千里丘地域(N=14)	28.6	35.7	50.0	28.6	7.1	0.0	0.0
	千里ニュータウン・万博・阪大 地域(N=12)	50.0	50.0	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0

IV. 災害対策について

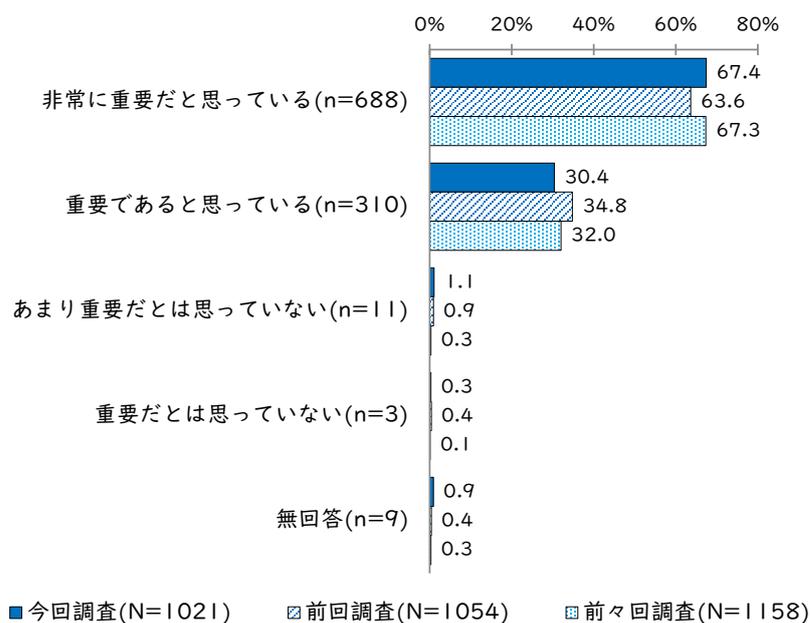
問 10. 水道施設の耐震化の重要性に関する意識

問 10. 大規模地震や風水害等に備えた水道施設の耐震化の重要性に関して、あなたはどのように思っていますか。

【単純集計】

水道施設の耐震化の重要性に関しては、「非常に重要だと思っている」(67%)と「重要であると思っている」(30%)を合わせた『重要だと思っている』は98%、「あまり重要だとは思っていない」(1%)、「重要だとは思っていない」(1%未満)を合わせた『重要だと思っていない』は1%となっています。

前回調査と比較すると、「重要であると思っている」は4ポイント低く、「非常に重要だと思っている」は4ポイント高くなっています。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

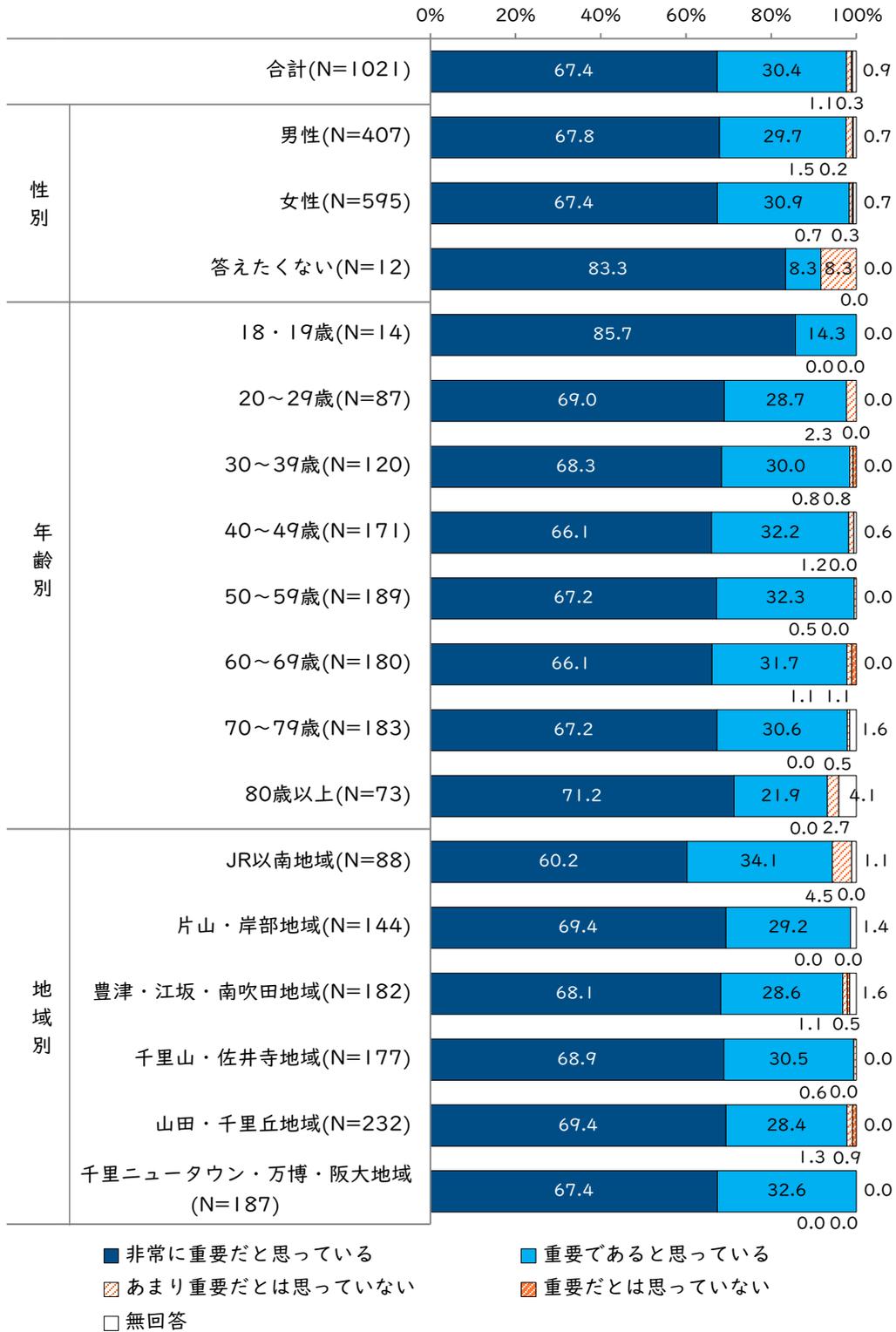
○年齢別

「非常に重要だと思っている」でみると、18・19歳（86％）は他の年齢より高いですが、他の年齢（66～71％）には大きな差はみられません。

○地域別

「非常に重要だと思っている」でみると、JR以南地域（60％）は他の地域よりも低くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問10. 水道施設の耐震化の重要性に関する意識



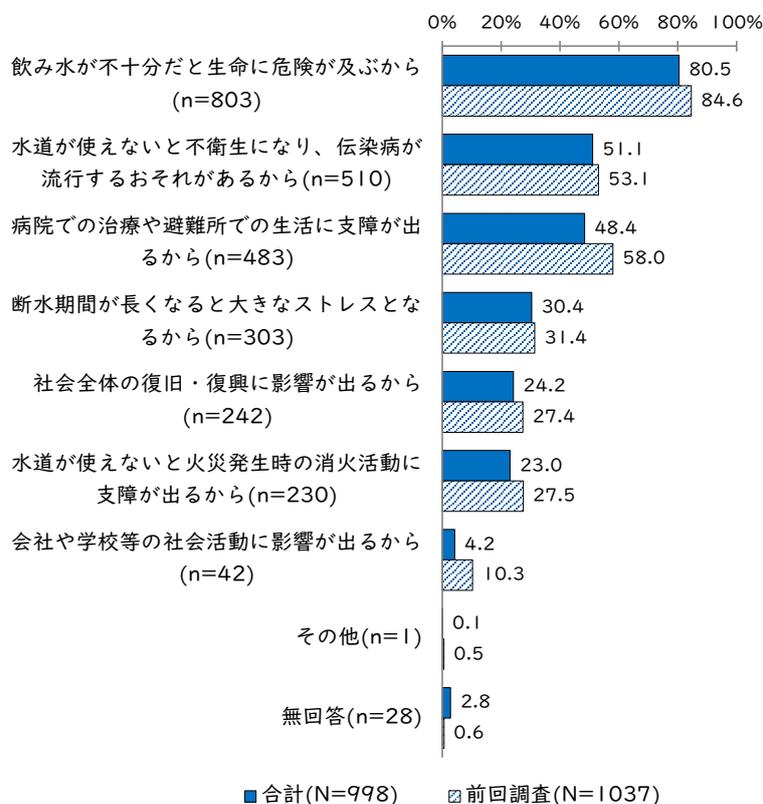
問 10-1. 水道施設の耐震化を重要と思っている理由

問 10-1. 問 10 で「非常に重要だと思っている」または「重要であると思っている」と回答された方にお聞きします。「重要」と思っている理由は。
(あてはまるもの 3 つまで)

【単純集計】

「重要」と思っている理由は、「飲み水が不十分だと生命に危険が及ぶから」(81%)、「水道が使えないと不衛生になり、伝染病が流行するおそれがあるから」(51%)、「病院での治療や避難所での生活に支障が出るから」(48%)、「断水期間が長くなると大きなストレスとなるから」(30%)、「社会全体の復旧・復興に影響が出るから」(24%)となっています。

前回調査と比較すると、「病院での治療や避難所での生活に支障が出るから」は 10 ポイント低く、「飲み水が不十分だと生命に危険が及ぶから」は 4 ポイント低くなっています。



「その他」：普段の生活に支障を来すから

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「飲み水が不十分だと生命に危険が及ぶから」でみると、『18～69歳』（82～86%）は『70～80歳以上』（73～78%）より高くなっています。

○地域別

「飲み水が不十分だと生命に危険が及ぶから」でみると、片山・岸部地域（85%）、千里山・佐井寺地域（85%）、千里ニュータウン・万博・阪大地域（84%）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問10-1. 水道施設の耐震化を重要と思っている理由

		飲み水が不十分だと生命に危険が及ぶから	水道が使えないと不衛生になり、伝染病が流行するおそれがあるから	病院での治療や避難所での生活に支障が出るから	断水期間が長くなると大きなストレスとなるから	社会全体の復旧・復興に影響が出るから	水道が使えないと火災発生時の消火活動に支障が出るから	会社や学校等の社会活動に影響が出るから	その他	無回答
合計(N=998)		80.5	51.1	48.4	30.4	24.2	23.0	4.2	0.1	2.8
性別	男性(N=397)	78.6	52.6	46.6	28.5	25.4	21.9	5.3	0.3	2.3
	女性(N=585)	81.7	50.6	49.6	31.5	23.8	23.6	3.6	0.0	3.2
	答えたくない(N=11)	100.0	27.3	63.6	27.3	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=14)	85.7	35.7	42.9	50.0	14.3	0.0	21.4	0.0	0.0
	20~29歳(N=85)	84.7	51.8	45.9	23.5	17.6	21.2	5.9	0.0	1.2
	30~39歳(N=118)	83.1	42.4	57.6	37.3	16.9	22.0	2.5	0.0	3.4
	40~49歳(N=168)	82.1	47.0	47.6	35.1	23.8	17.3	5.4	0.6	2.4
	50~59歳(N=188)	81.9	55.9	50.0	30.9	24.5	22.3	2.7	0.0	1.6
	60~69歳(N=176)	82.4	51.1	43.8	33.0	29.0	29.0	4.0	0.0	2.3
	70~79歳(N=179)	73.2	54.2	48.6	23.5	27.9	26.8	3.4	0.0	4.5
	80歳以上(N=68)	77.9	58.8	47.1	19.1	25.0	23.5	5.9	0.0	5.9
地域別	JR以南地域(N=83)	75.9	57.8	56.6	28.9	16.9	26.5	2.4	0.0	2.4
	片山・岸部地域(N=142)	84.5	58.5	44.4	31.0	22.5	18.3	4.9	0.0	2.8
	豊津・江坂・南吹田地域(N=176)	77.8	47.2	47.7	30.1	26.7	28.4	5.7	0.6	1.7
	千里山・佐井寺地域(N=176)	85.2	51.1	50.6	30.7	23.3	23.9	4.5	0.0	1.7
	山田・千里丘地域(N=227)	76.2	47.1	42.7	36.6	27.8	22.9	2.6	0.0	4.4
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=187)	84.0	51.3	54.0	23.0	24.1	20.3	4.8	0.0	2.7

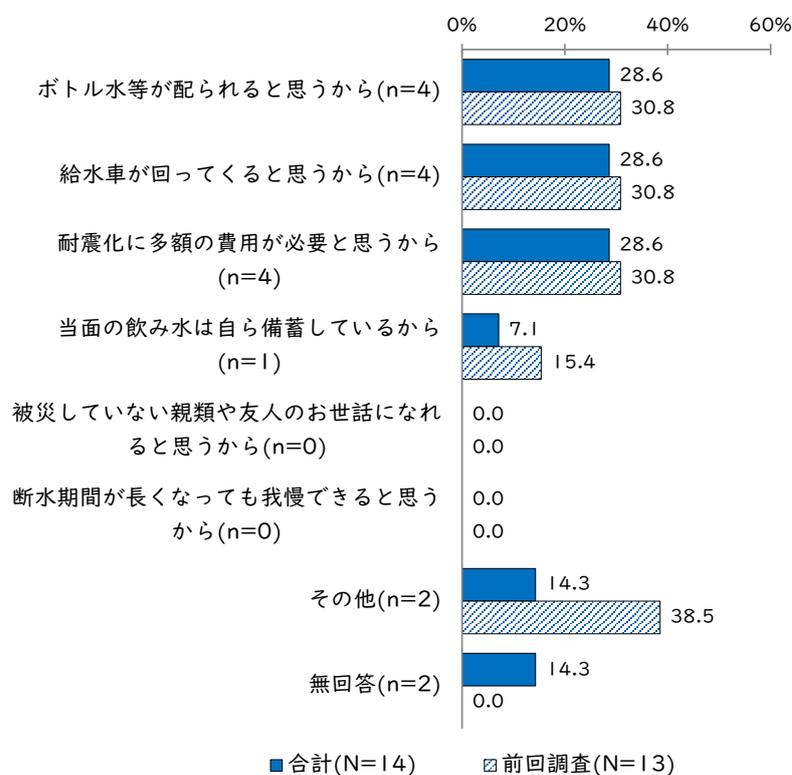
問 10-2. 水道施設の耐震化を重要とっていない理由

問 10-2. 問 10 で「あまり重要だとは思っていない」または「重要だとは思っていない」と回答された方にお聞きします。「重要」と思っていない理由は。
(あてはまるもの 3 つまで)

【単純集計】

「重要」と思っていない主な理由は、「ボトル水等が配られると思うから」(29%)、「給水車が回ってくると思うから」(29%)、「耐震化に多額の費用が必要と思うから」(29%) となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



「その他」：費用対効果が期待できない、他 1 件

問1. 2. 3. (属性) × 問10-2. 水道施設の耐震化を重要とっていない理由

		ボトル水等が配られると思うから	給水車が回ってくると思うから	耐震化に多額の費用が必要と思うから	当面の飲み水は自ら備蓄しているから	被災してこない親類や友人のお世話になれると思うから	断水期間が長くなっても我慢できると思うから	その他	無回答
合計(N=14)		28.6	28.6	28.6	7.1	0.0	0.0	14.3	14.3
性別	男性(N=7)	28.6	14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0
	女性(N=6)	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	答えたくない(N=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	20~29歳(N=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30~39歳(N=2)	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	40~49歳(N=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	50~59歳(N=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	60~69歳(N=4)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	70~79歳(N=1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上(N=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
地域別	JR以南地域(N=4)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	片山・岸部地域(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	豊津・江坂・南吹田地域(N=3)	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	千里山・佐井寺地域(N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山田・千里丘地域(N=5)	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=0)	-	-	-	-	-	-	-	-

問 11. 「災害時給水拠点」、「災害時給水所」の認知度

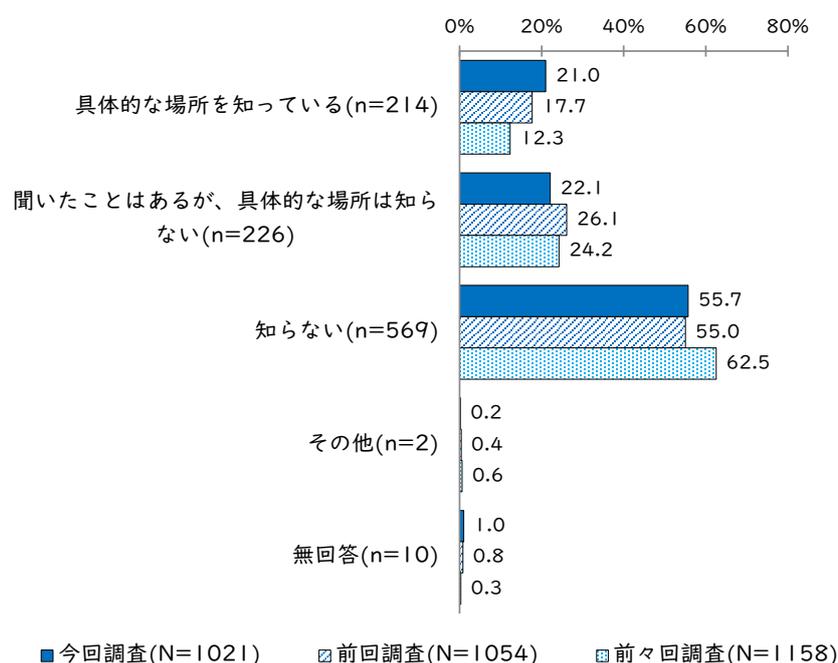
問 11. 水道部では、大規模災害時等において、水道管等の破損により断水や濁り水が発生した際に、応急的に市民の皆様にお配りする「災害時給水拠点」8か所及び「災害時給水所」37か所を整備しています。

あなたは、お近くの「災害時給水拠点」または「災害時給水所」を知っていますか。

【単純集計】

「災害時給水拠点」、「災害時給水所」の認知度については、「具体的な場所を知っている」(21%)、「聞いたことはあるが、具体的な場所は知らない」(22%)と「知らない」(56%)となっています。

「具体的な場所を知っている」では、前々回調査、前回調査と比較すると、増加の傾向がみられます。



「その他」：自宅の近くだけ覚えているだけ、最も近所ではない災害時給水拠点は知っている

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

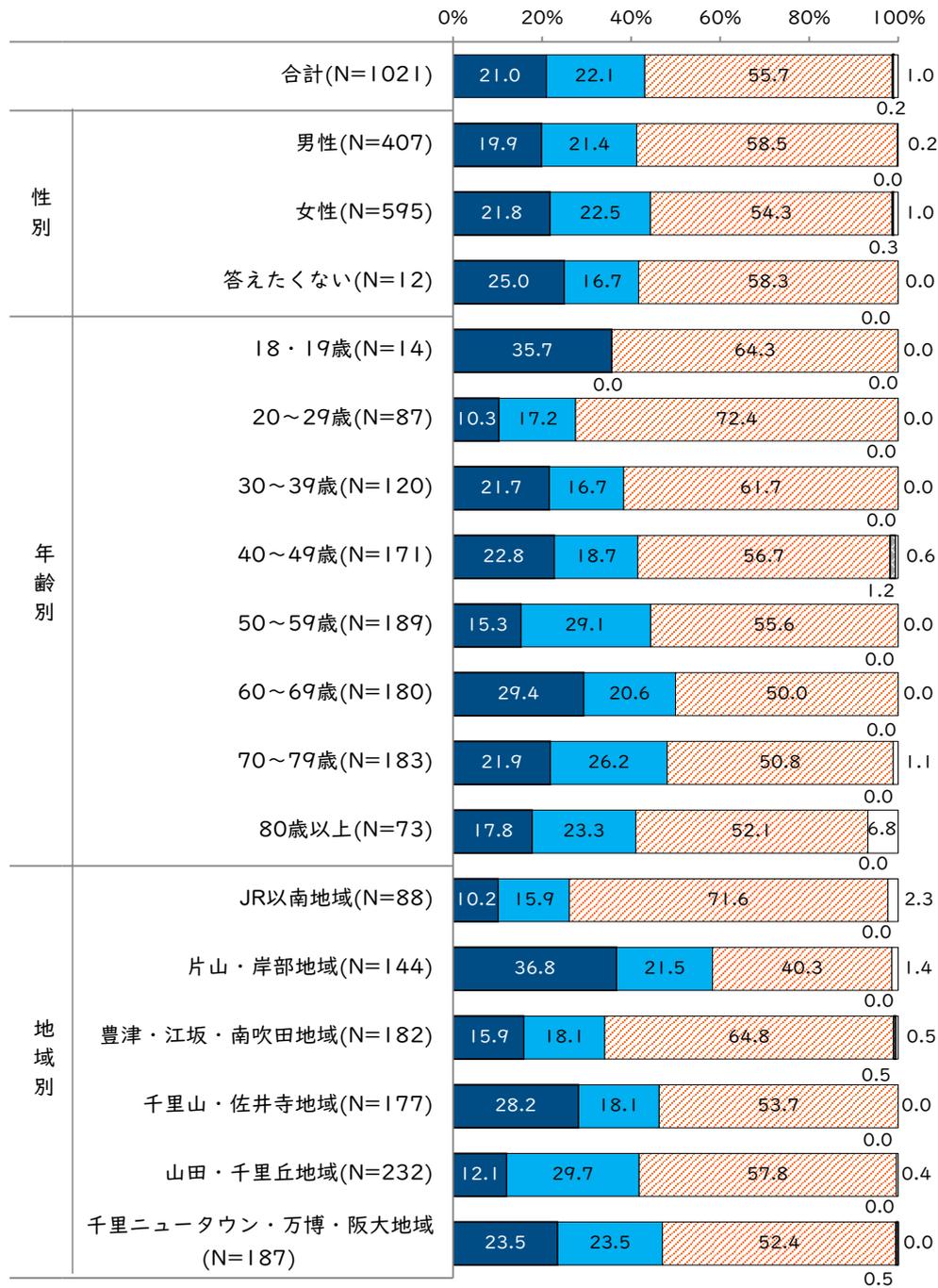
「具体的な場所を知っている」で見ると、18・19歳（36%）、60～69歳（29%）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

「具体的な場所を知っている」で見ると、片山・岸部地域（37%）、千里山・佐井寺地域（28%）は他の地域より高くなっています。

「知らない」で見ると、片山・岸部地域（40%）を除いた他の地域は52～72%となっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問11. 「災害時給水拠点」、「災害時給水所」の認知度



- 具体的な場所を知っている
- 聞いたことはあるが、具体的な場所は知らない
- 知らない
- その他
- 無回答

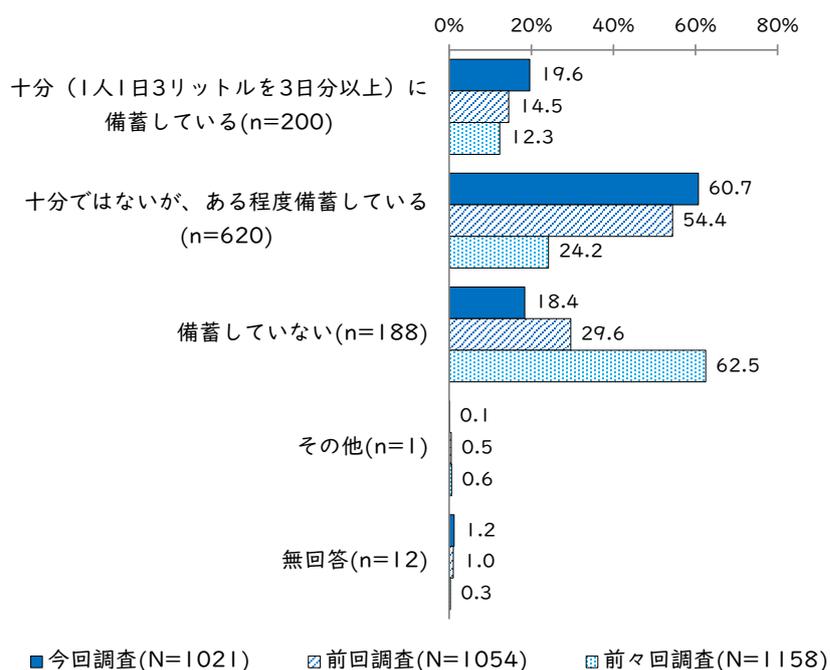
問 12. 災害時に備えた飲料水の備蓄状況

問 12. 地震直後や風水害時の停電による断水に備え、1人あたり1日3リットルの飲料水を、3日分(9リットル)以上備蓄する必要があるとお知らせしています。あなたは、災害等に備え、飲料水を備蓄していますか。

【単純集計】

「十分(1人1日3リットルを3日以上)に備蓄している」(20%)、「十分ではないが、ある程度備蓄している」(61%)、「備蓄していない」(18%)となっています。

前回調査と比較すると、「十分に備蓄している」は5ポイント高く、「十分ではないが、ある程度備蓄している」は6ポイント高くなり、「備蓄していない」は11ポイント低くなっています。



「その他」：特に気にはしていないが備蓄をしている

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「十分（1人1日3リットルを3日以上）に備蓄している」で見ると、18・19歳（36%）は他の年齢（14～24%）より高くなっています。

○地域別

「十分（1人1日3リットルを3日以上）に備蓄している」と「十分ではないが、ある程度備蓄している」を合わせた『備蓄している』では、豊津・江坂・南吹田地域（76%）、JR以南地域（75%）、は他の地域（80～85%）より低くなっています。

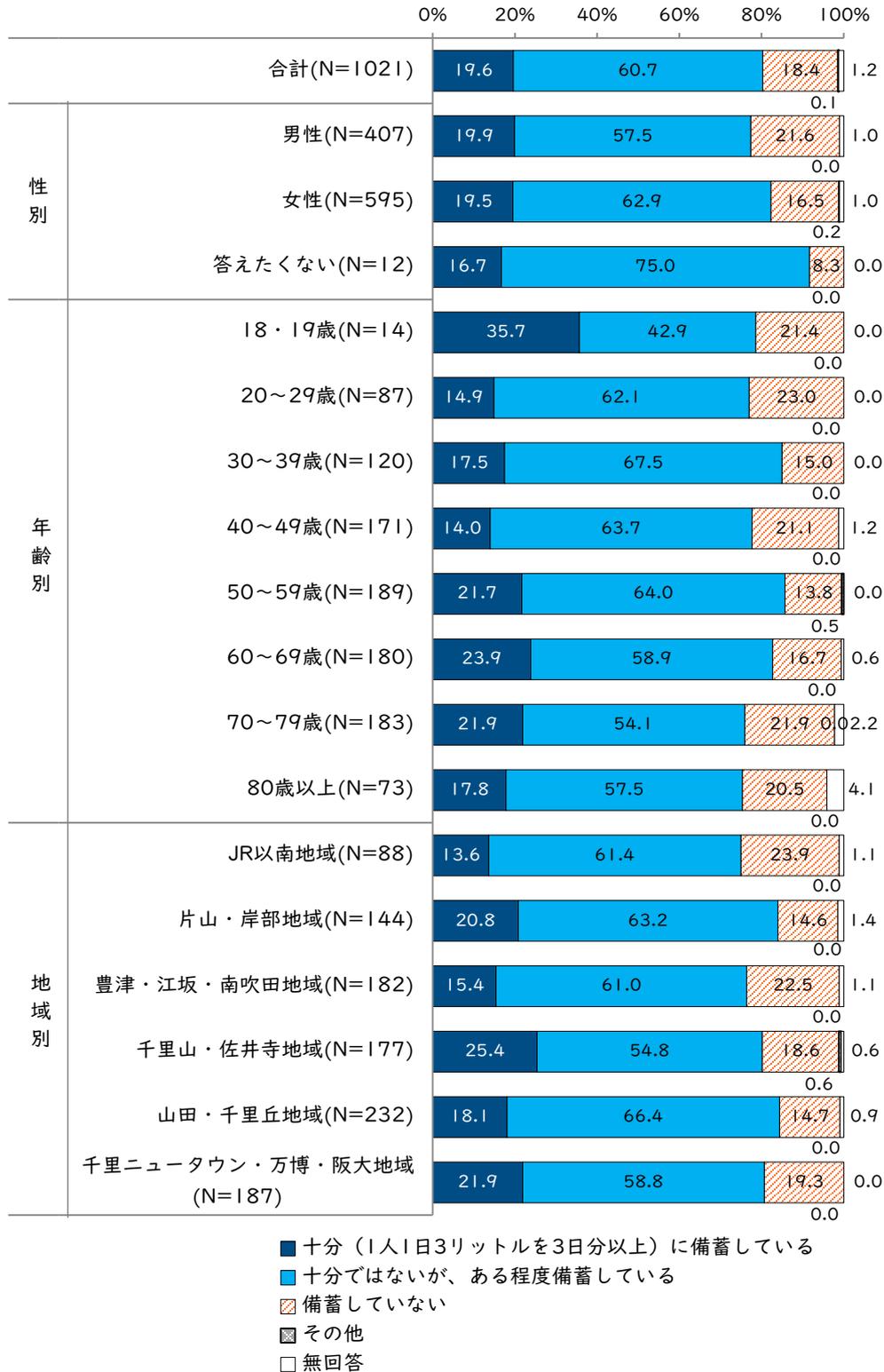
○給水方式・住宅形態別

「十分（1人1日3リットルを3日以上）に備蓄している」と「十分ではないが、ある程度備蓄している」を合わせた『備蓄している』では、集合住宅（5階建て以下）（76%）は他（78～84%）より低くなっています。

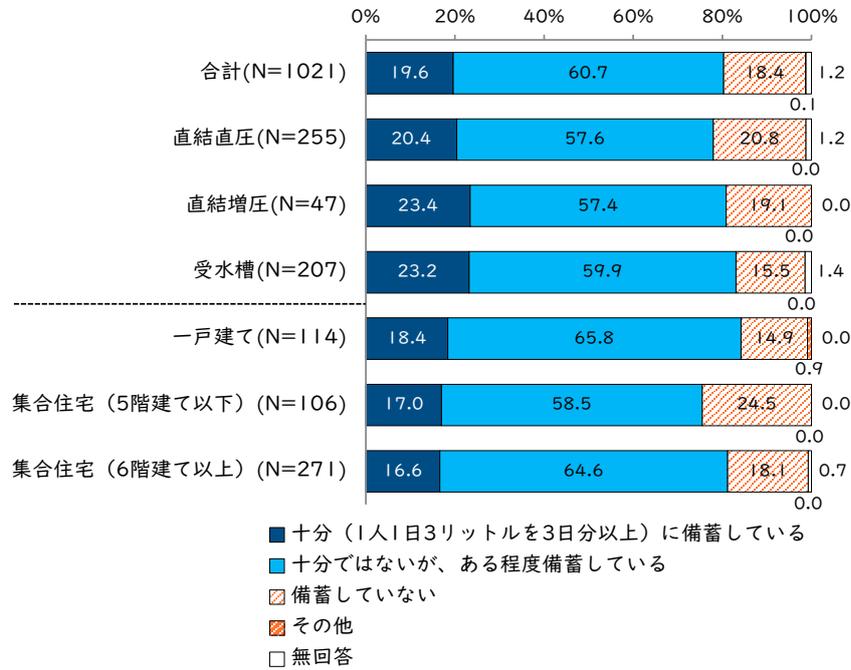
○問4 家族数別

『備蓄している』では、家族数別には大きな差がみられません。

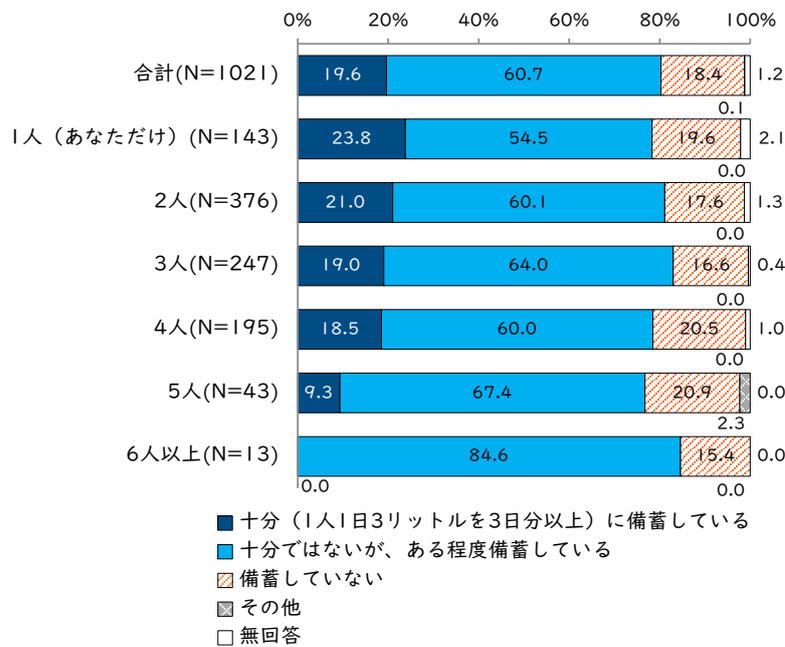
問1. 2. 3. (属性) × 問12. 災害時に備えた飲料水の備蓄状況



問 5. 住まいの給水方式・問 5-1. 住まいの形態×
問 12. 災害時に備えた飲料水の備蓄状況



問 4. 同居家族人数×問 12. 災害時に備えた飲料水の備蓄状況

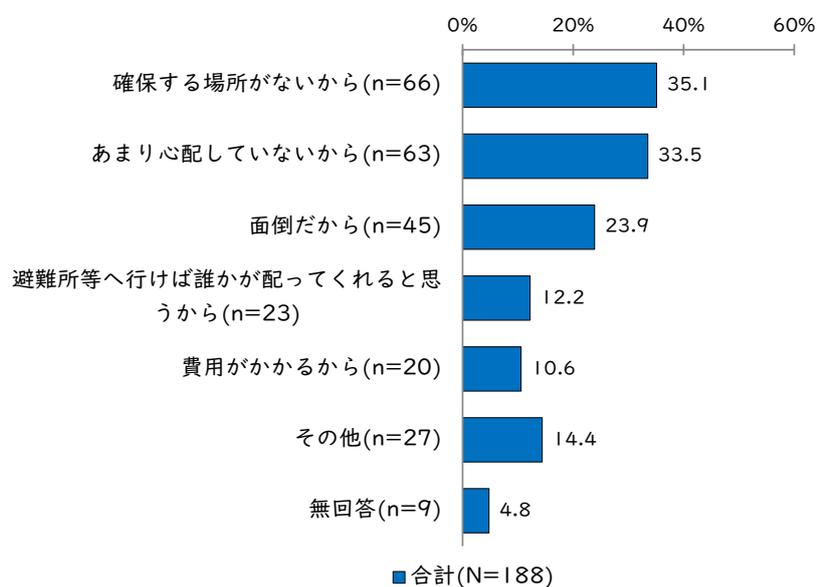


問 12-1. 飲料水の備蓄をしない理由

問 12-1. 問 12 で「備蓄していない」と回答された方にお聞きします。
あなたが、飲料水を備蓄していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

「確保する場所がないから」(35%)、「あまり心配していないから」(34%)、
「面倒だから」(24%)となっています。



「その他」：必要とは分かっているがなかなか用意できないから、重たくてなかなか準備しにくい、お知らせを知らなかったから、他 24 件

【クロス集計】

○性別

「確保する場所がないから」で見ると、女性は男性より11ポイント高く、「あまり心配していないから」で見ると、男性は女性より11ポイント高くなっています。

○年齢別

「確保する場所がないから」で見ると、『20～49歳』（44～61%）は他の年齢より高く、「あまり心配していないから」で見ると、『50～80歳以上』（38～53%）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

「あまり心配していないから」で見ると千里ニュータウン・万博・阪大地域（42%）、山田・千里丘地域（41%）、片山・岸部地域（38%）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問12-1. 飲料水の備蓄をしない理由

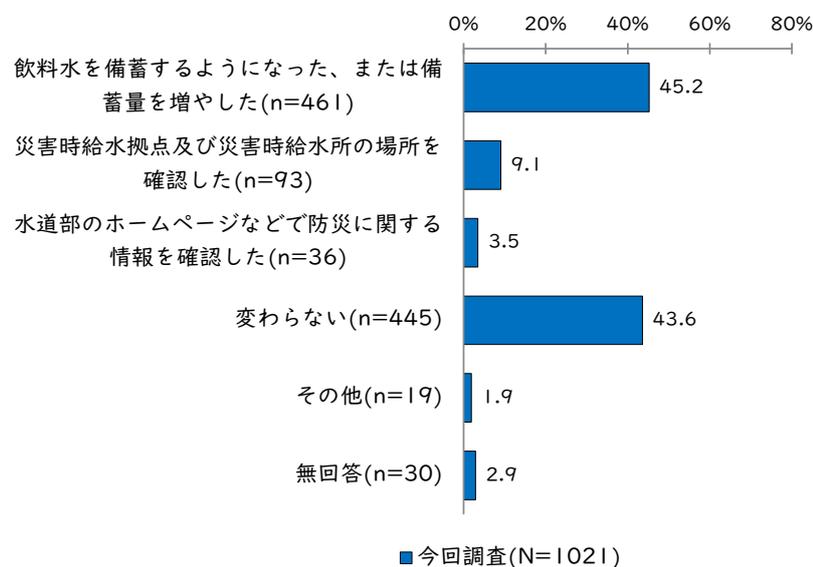
		確保する場所がないから	あまり心配していないから	面倒だから	避難所等へ行けば誰かが配ってくれると思	費用がかかるから	その他	無回答
合計(N=188)		35.1	33.5	23.9	12.2	10.6	14.4	4.8
性別	男性(N=88)	29.5	39.8	28.4	11.4	11.4	11.4	4.5
	女性(N=98)	40.8	28.6	19.4	13.3	8.2	17.3	5.1
	答えたくない(N=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
	20～29歳(N=20)	50.0	15.0	40.0	20.0	15.0	20.0	0.0
	30～39歳(N=18)	61.1	11.1	33.3	11.1	11.1	5.6	0.0
	40～49歳(N=36)	44.4	27.8	16.7	16.7	11.1	19.4	2.8
	50～59歳(N=26)	34.6	38.5	19.2	7.7	7.7	19.2	0.0
	60～69歳(N=30)	23.3	53.3	20.0	6.7	10.0	13.3	3.3
	70～79歳(N=40)	27.5	37.5	32.5	17.5	10.0	5.0	7.5
	80歳以上(N=15)	6.7	46.7	6.7	0.0	6.7	20.0	20.0
地域別	JR以南地域(N=21)	38.1	28.6	19.0	0.0	23.8	14.3	9.5
	片山・岸部地域(N=21)	28.6	38.1	19.0	23.8	9.5	28.6	0.0
	豊津・江坂・南吹田地域(N=41)	43.9	22.0	34.1	19.5	4.9	9.8	9.8
	千里山・佐井寺地域(N=33)	42.4	30.3	18.2	9.1	15.2	15.2	0.0
	山田・千里丘地域(N=34)	35.3	41.2	20.6	8.8	11.8	11.8	5.9
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=36)	19.4	41.7	25.0	11.1	5.6	13.9	2.8

問 13. 最近の地震発生による水道に関わる行動の変化

問 13. 能登半島地震や宮崎県日向灘を震源とする地震をきっかけに何か行動（水道に関わる行動）は変わりましたか。（あてはまるものすべて）

【単純集計】

「飲料水を備蓄するようになった、または備蓄量を増やした」（45%）、「災害時給水拠点及び災害時給水所の場所を確認した」（9%）、「水道部のホームページなどで防災に関する情報を確認した」（4%）などの行動変化が見られますが、「変わらない」（44%）となっています。



「その他」：台風上陸等の情報を聞き初めてトイレ用などの為に、近く備蓄量を増やす予定、お風呂に常に湯をはっている、他 16 件

【クロス集計】

○性別

「飲料水を備蓄するようになった、または備蓄量を増やした」でみると、女性（49％）は男性（40％）より10ポイント高くなっています。

○年齢別

「飲料水を備蓄するようになった、または備蓄量を増やした」でみると、50～59歳（52％）、30～39歳（49％）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

「飲料水を備蓄するようになった、または備蓄量を増やした」でみると、千里ニュータウン・万博・阪大地域（52％）、山田・千里丘地域（49％）、片山・岸部地域（49％）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問13. 最近の地震発生による水道に関わる行動の変化

		蓄飲料水を 増やした	災害時給水 拠点を確認 した	水道部のホ ームページ を確認した	変わらない	その他	無回答
合計(N=1021)		45.2	9.1	3.5	43.6	1.9	2.9
性別	男性(N=407)	39.6	7.9	4.9	48.6	2.5	2.0
	女性(N=595)	49.4	10.3	2.7	40.0	1.5	3.0
	答えたくない(N=12)	41.7	0.0	0.0	50.0	0.0	8.3
年齢別	18・19歳(N=14)	42.9	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0
	20～29歳(N=87)	42.5	3.4	2.3	47.1	3.4	1.1
	30～39歳(N=120)	49.2	7.5	2.5	44.2	0.0	1.7
	40～49歳(N=171)	43.3	5.8	3.5	49.1	0.0	1.8
	50～59歳(N=189)	52.4	3.7	2.1	41.3	2.6	1.6
	60～69歳(N=180)	45.0	15.6	4.4	41.1	2.8	2.8
	70～79歳(N=183)	41.0	14.2	6.0	43.2	3.3	2.7
80歳以上(N=73)	41.1	13.7	2.7	37.0	0.0	11.0	
地域別	JR以南地域(N=88)	31.8	5.7	1.1	56.8	3.4	3.4
	片山・岸部地域(N=144)	48.6	9.7	2.1	39.6	1.4	3.5
	豊津・江坂・南吹田地域 (N=182)	39.6	8.2	3.3	48.9	1.6	2.2
	千里山・佐井寺地域(N=177)	44.1	9.6	1.7	44.1	3.4	2.8
	山田・千里丘地域(N=232)	49.1	9.1	5.2	40.5	1.3	2.6
	千里ニュータウン・万博・阪大 地域(N=187)	52.4	11.2	5.3	39.6	0.5	1.1

V. 水道料金について

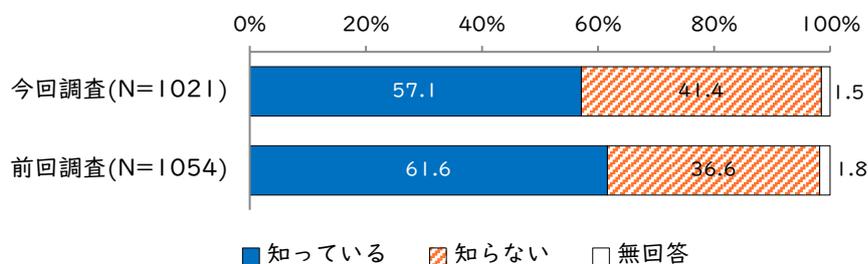
問 14. 自宅の水道料金の認知度

問 14. あなたは、2か月に1度の御家庭の水道料金をいくら払っているか知っていますか。

【単純集計】

「知っている」(57%)、「知らない」(41%)となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」は5ポイント低くなっています。



【クロス集計】

○性別

「知っている」で見ると、女性（63%）は男性（50%）より12ポイント高くなっています。

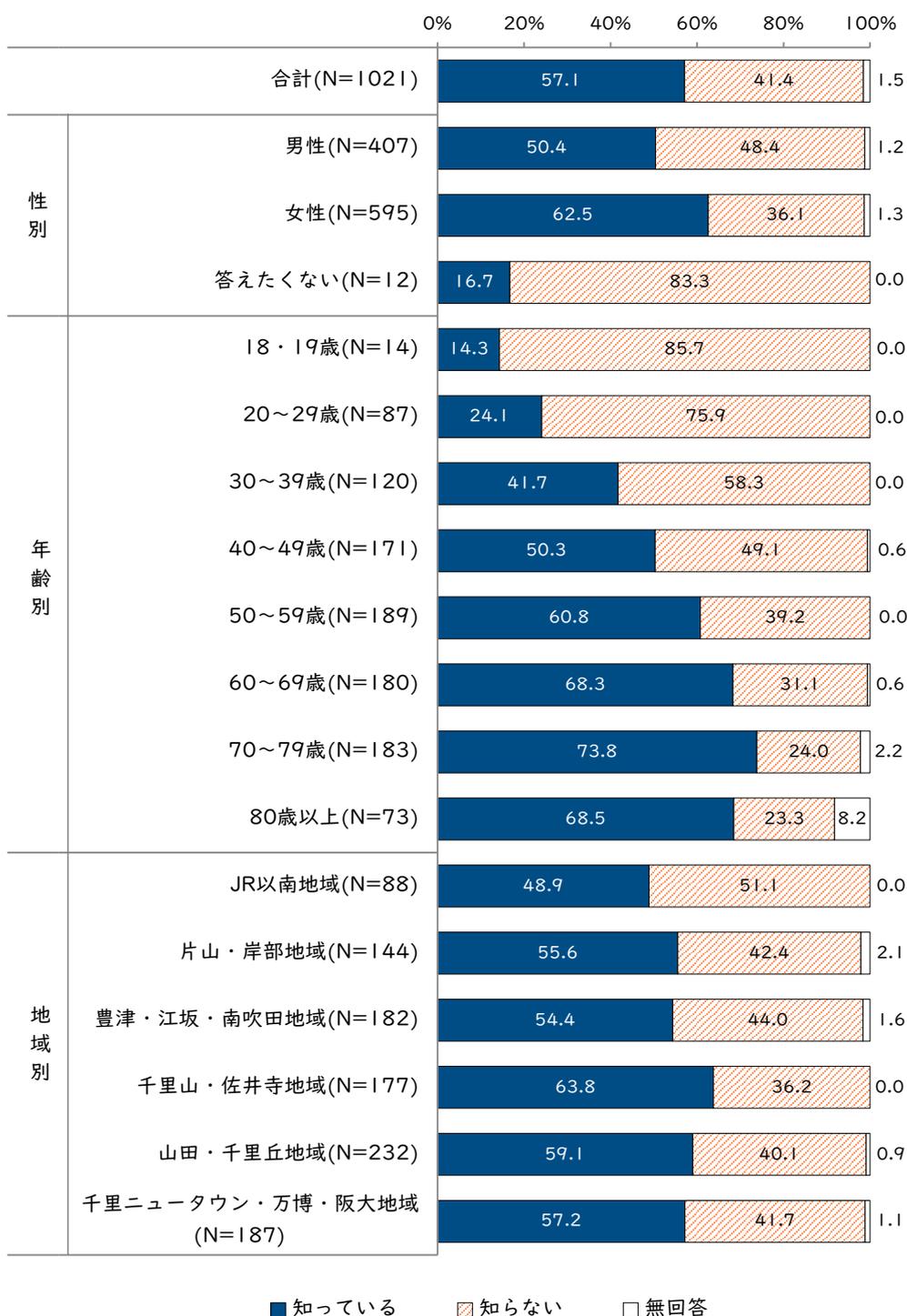
○年齢別

「知っている」で見ると、18・19歳（14%）が最も低く、年齢が高くなるに従って高くなる傾向がみられます。

○地域別

「知っている」で見ると、JR以南地域（49%）は他の地域（54～59%）より低く、千里山・佐井寺地域（64%）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問14. 自宅の水道料金の認知度

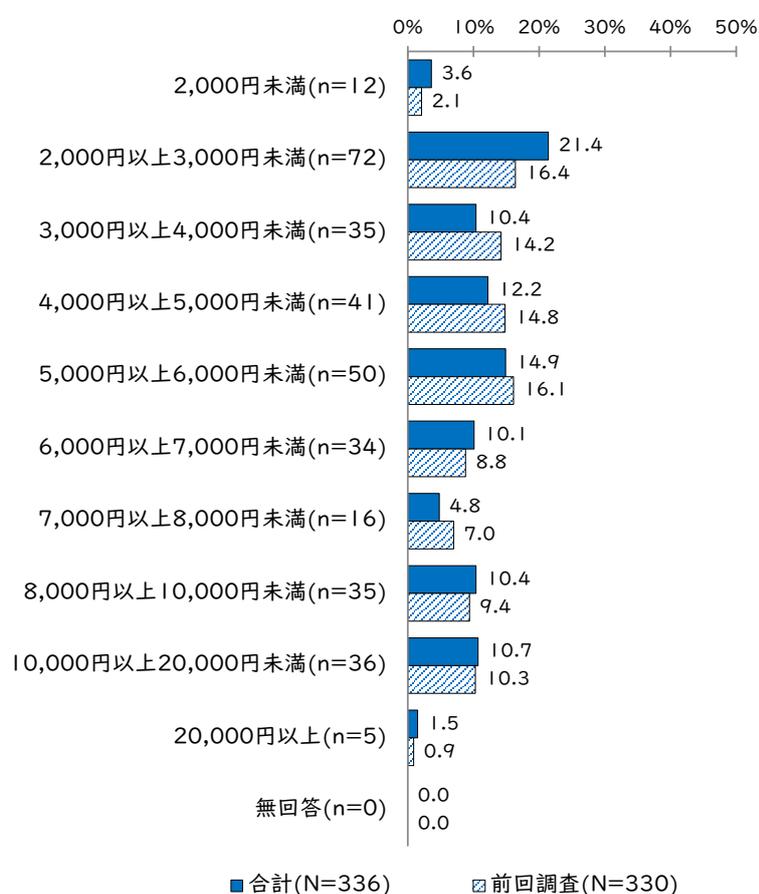


問 14-1. 自宅の上水道料金

問 14-1. 自宅の上水道料金（問 14 で「知っている」と回答し、かつ上水道料金、下水道料金とも回答した方を対象）

【単純集計】

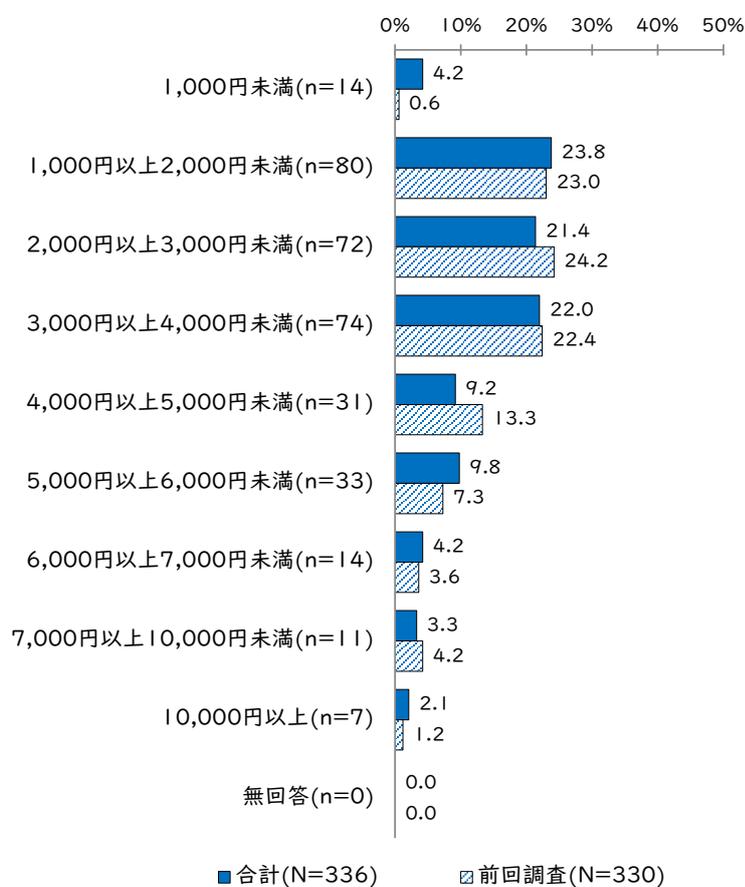
「2,000 円以上 3,000 円未満」（21%）、「5,000 円以上 6,000 円未満」（15%）、「4,000 円以上 5,000 円未満」（12%）、「10,000 円以上 20,000 円未満」（11%）となっています。



問 14-2. 自宅の下水道料金

問 14-2. 自宅の下水道料金（問 14 で「知っている」と回答し、かつ上水道料金、下水道料金とも回答した方を対象）

「1,000 円以上 2,000 円未満」（24%）、「3,000 円以上 4,000 円未満」（22%）、「2,000 円以上 3,000 円未満」（21%）となっています。

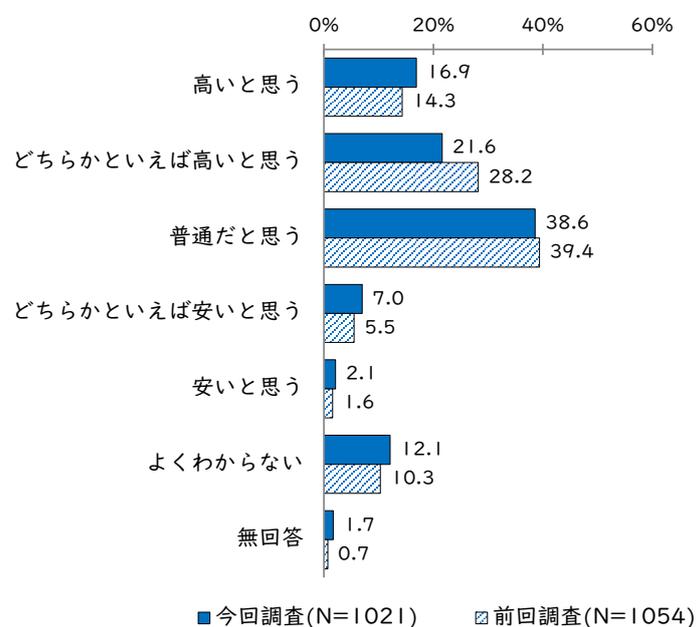


問 15. 水道料金に関する感想

問 15. あなたは、水道料金について、どのように感じていますか。

【単純集計】

「高いと思う」(17%)と「どちらかといえば高いと思う」(22%)を合わせた『高い』は39%、「どちらかといえば安いと思う」(7%)と「安いと思う」(2%)を合わせた『安い』は9%、「普通だと思う」(39%)となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

『高い』で見ると、60～69歳（44%）、40～49歳（43%）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

『高い』で見ると、千里山・佐井寺地域（43%）、千里ニュータウン・万博・阪大地域（43%）、JR以南地域（41%）、山田・千里丘地域（40%）は他の地域（32～34%）より高くなっています。

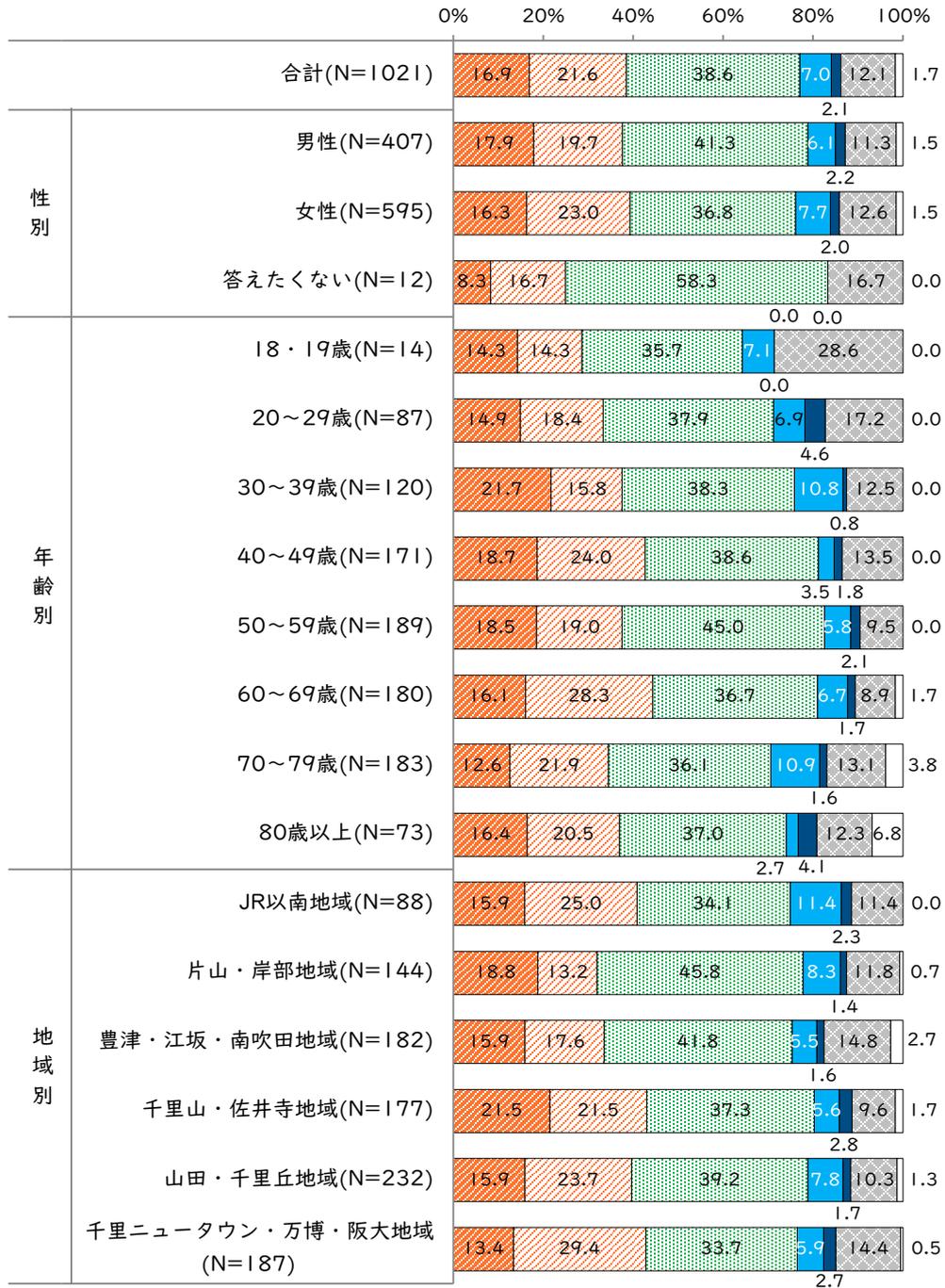
○問 9 水道施設の老朽化に関する問題意識別

『高い』で見ると、水道施設の老朽化に関する**問題意識別**には差がみられません。

○問 10 水道施設の耐震化の重要性に関する意識別

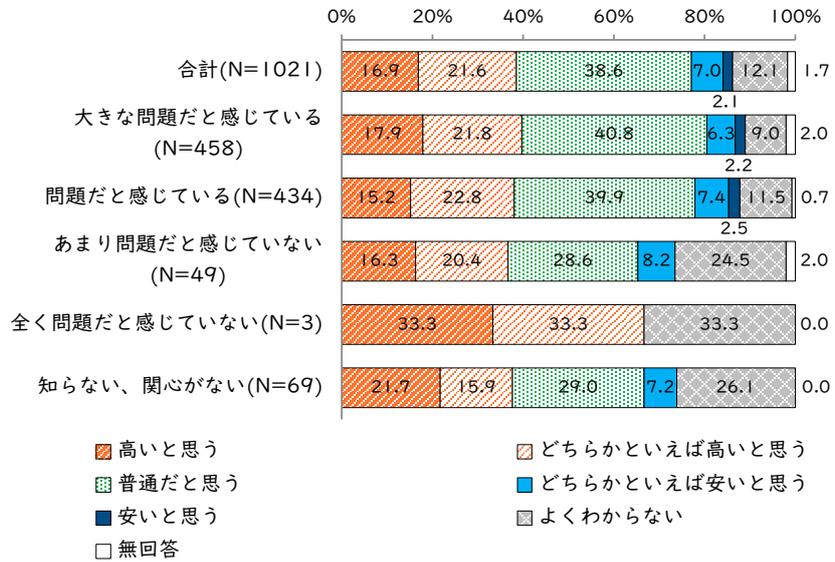
『高い』で見ると、非常に重要だと思っている、重要であると思っているは、38～39%ですが、あまり重要だとは思っていないは55%と高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問15. 水道料金に関する感想

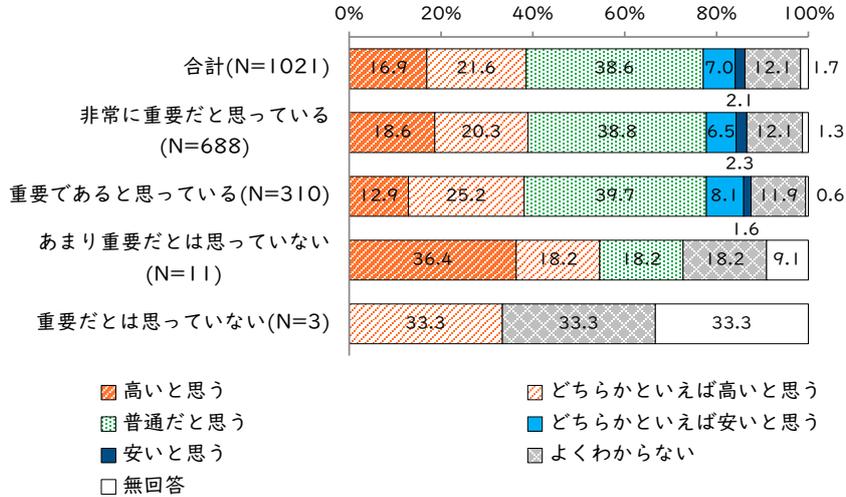


- 高いと思う
- 普通だと思う
- 安いと思う
- 無回答
- どちらかといえば高いと思う
- どちらかといえば安いと思う
- よくわからない

問 9. 水道施設の老朽化に関する問題意識×問 15. 水道料金に関する感想



問 10. 水道施設の耐震化の重要性に関する意識×問 15. 水道料金に関する感想



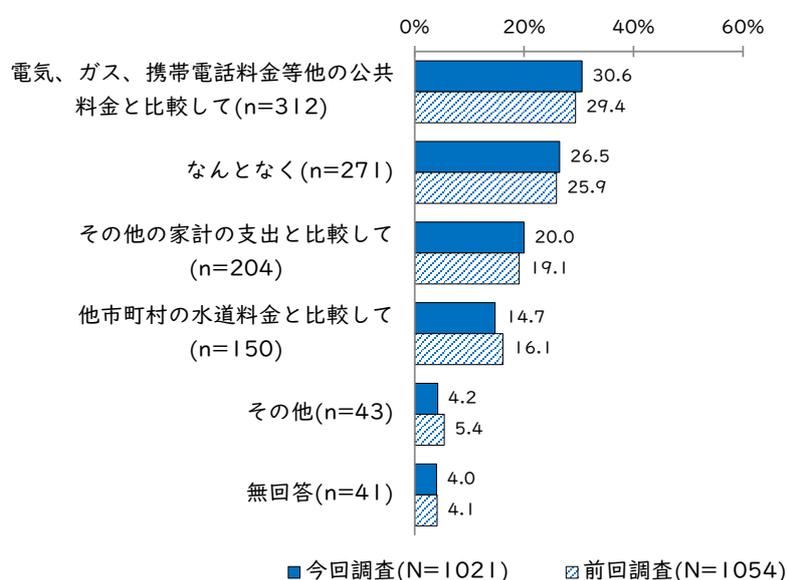
問 16. 水道料金に関する感想の比較対象

問 16. 問 15 は、何と比べてそう思いますか。

【単純集計】

「電気、ガス、携帯電話料金等の公共料金と比較して」(31%)、「なんとなく」(27%)、「その他の家計の支出と比較して」(20%)、「他市町村の水道料金と比較して」(15%)となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



「その他」：他の家庭とくらべ、参考の金額を見て、水は生命活動に必須である割に高いと思う、他 37 件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

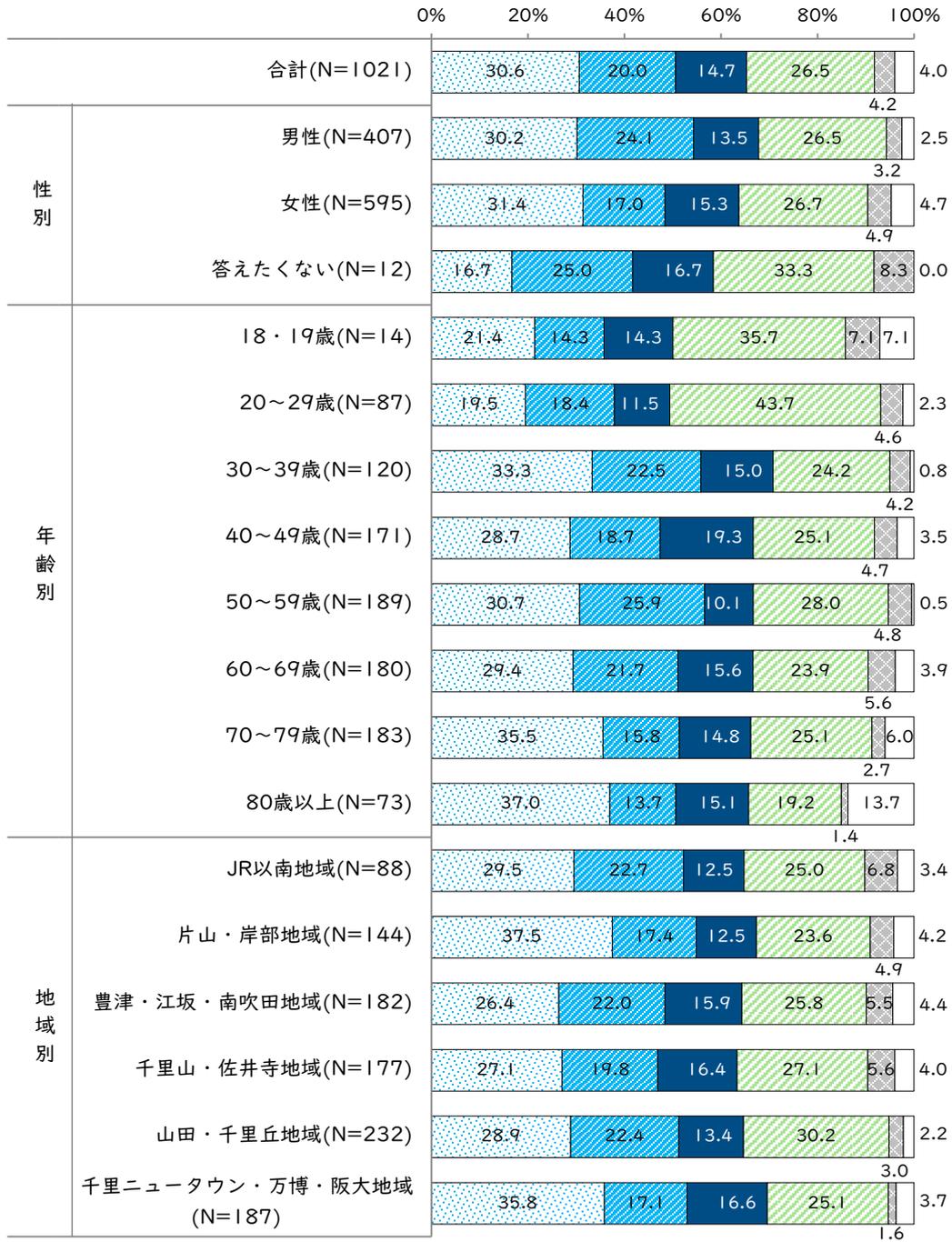
○年齢別

「電気、ガス、携帯電話料金等の公共料金と比較して」で見ると、『18～29歳』（20～21％）は他の年齢（29～37％）より低くなっています。

○地域別

「電気、ガス、携帯電話料金等の公共料金と比較して」で見ると、片山・岸部地域（38％）、千里ニュータウン・万博・阪大地域（36％）は他の地域（26～30％）より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問16. 水道料金に関する感想の比較対象



- 電気、ガス、携帯電話料金等の公共料金と比較して
- その他の家計の支出と比較して
- 他市町村の水道料金と比較して
- なんとなく
- その他
- 無回答

VI. 広報・PRについて

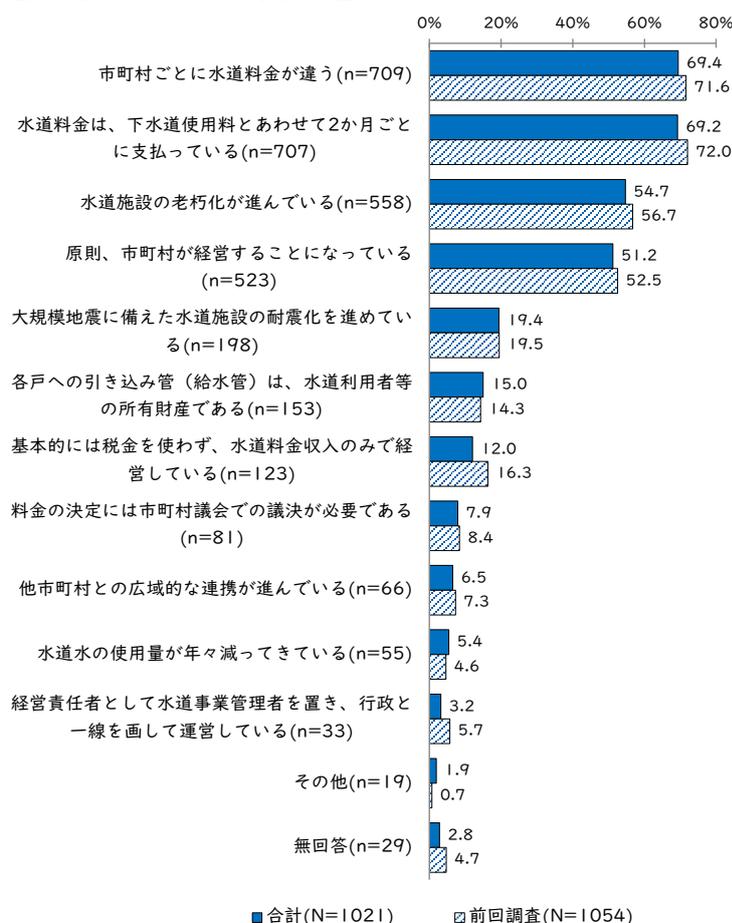
問 17. 水道事業の特徴として知っていること

問 17. あなたが、水道事業の特徴として知っていることは何ですか。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

「市町村ごとに水道料金が違う」(69%)、「水道料金は、下水道使用料とあわせて2か月ごとに支払っている」(69%)、「水道施設の老朽化が進んでいる」(55%)、「原則、市町村が経営することになっている」(51%)となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



「その他」：日本の水は安全性が高い、一部地域で外資系企業が参入してきている、知らない、他11件

【クロス集計】

○性別

「水道料金は、下水道使用料とあわせて2か月ごとに支払っている」でみると、女性（74%）は男性（63%）より11ポイント高くなっています。

「水道施設の老朽化が進んでいる」、「原則、市町村が経営することになっている」でみると、男性は女性より10~11ポイント高くなっています。

○年齢別

「市町村ごとに水道料金が違う」でみると、『18~29歳』（50~52%）は他の年齢（62~78%）より低くなっています。また、「水道料金は、下水道使用料とあわせて2か月ごとに支払っている」でみると、『18~29歳』（14~33%）は他の年齢（61~83%）より低くなっています。

「水道施設の老朽化が進んでいる」でみると、18・19歳（64%）は他の年齢（38~62%）より高くなっています。

○地域別

「水道施設の老朽化が進んでいる」でみると、千里ニュータウン・万博・阪大地域（62%）が最も高く、JR以南地域（47%）は最も低くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問17. 水道事業の特徴として知っていること

		市町村ごとに水道料金が違う	水道料金は、下水道使用料とあわせて2か月ごとに支払っている	水道施設の老朽化が進んでいる	原則、市町村が経営することになっている	大規模地震に備えた水道施設の耐震化を進めている	各戸への引き込み管(給水管)は、水道利用者等の所有財産である	基本的には税金を使わず、水道料金収入のみで経営している	料金の決定には市町村議会での議決が必要である	他市町村との広域的な連携が進んでいる	水道水の使用量が年々減ってきている	経営責任者として水道事業管理者を置き、行政と一線を画して運営している	その他	無回答
合計(N=1021)		69.4	69.2	54.7	51.2	19.4	15.0	12.0	7.9	6.5	5.4	3.2	1.9	2.8
性別	男性(N=407)	71.5	63.1	60.7	57.7	21.6	18.9	17.2	13.0	9.6	5.4	4.7	1.7	3.2
	女性(N=595)	68.7	74.1	50.9	47.1	18.0	12.4	8.6	4.5	4.5	5.4	2.4	1.8	2.4
	答えたくない(N=12)	41.7	50.0	41.7	58.3	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
年齢別	18・19歳(N=14)	50.0	14.3	64.3	42.9	28.6	0.0	0.0	0.0	7.1	14.3	0.0	0.0	7.1
	20~29歳(N=87)	51.7	33.3	37.9	31.0	13.8	2.3	3.4	1.1	1.1	5.7	1.1	2.3	2.3
	30~39歳(N=120)	67.5	60.8	43.3	35.8	14.2	8.3	10.0	5.0	5.0	4.2	1.7	2.5	1.7
	40~49歳(N=171)	62.0	70.2	56.7	44.4	19.9	10.5	12.9	5.3	6.4	8.2	1.2	1.8	3.5
	50~59歳(N=189)	70.9	75.1	59.8	52.4	17.5	14.8	9.5	7.4	5.3	4.8	3.2	1.6	1.1
	60~69歳(N=180)	75.6	77.2	62.2	58.9	22.8	21.7	14.4	7.8	7.2	5.0	2.2	2.2	1.7
	70~79歳(N=183)	77.6	83.1	56.3	65.0	21.9	21.9	15.8	12.0	9.8	4.9	7.1	1.6	3.3
	80歳以上(N=73)	76.7	67.1	50.7	63.0	23.3	20.5	16.4	19.2	8.2	2.7	6.8	1.4	6.8
地域別	JR以南地域(N=88)	62.5	63.6	46.6	48.9	21.6	22.7	10.2	11.4	4.5	2.3	3.4	3.4	4.5
	片山・岸部地域(N=144)	64.6	75.0	52.8	50.0	28.5	17.4	12.5	9.0	5.6	5.6	4.2	2.8	2.1
	豊津・江坂・南吹田地域(N=182)	70.3	61.0	56.6	56.0	17.6	15.9	7.7	7.1	8.2	6.0	3.3	2.7	4.4
	千里山・佐井寺地域(N=177)	75.7	67.2	53.1	49.2	20.9	14.7	13.6	6.8	4.0	6.2	4.0	0.6	1.7
	山田・千里丘地域(N=232)	72.4	74.6	53.9	48.7	15.9	11.6	14.2	6.0	7.8	6.0	2.6	1.3	3.0
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=187)	68.4	73.3	61.5	55.6	16.6	13.9	12.8	10.2	7.5	4.8	2.7	1.6	0.0

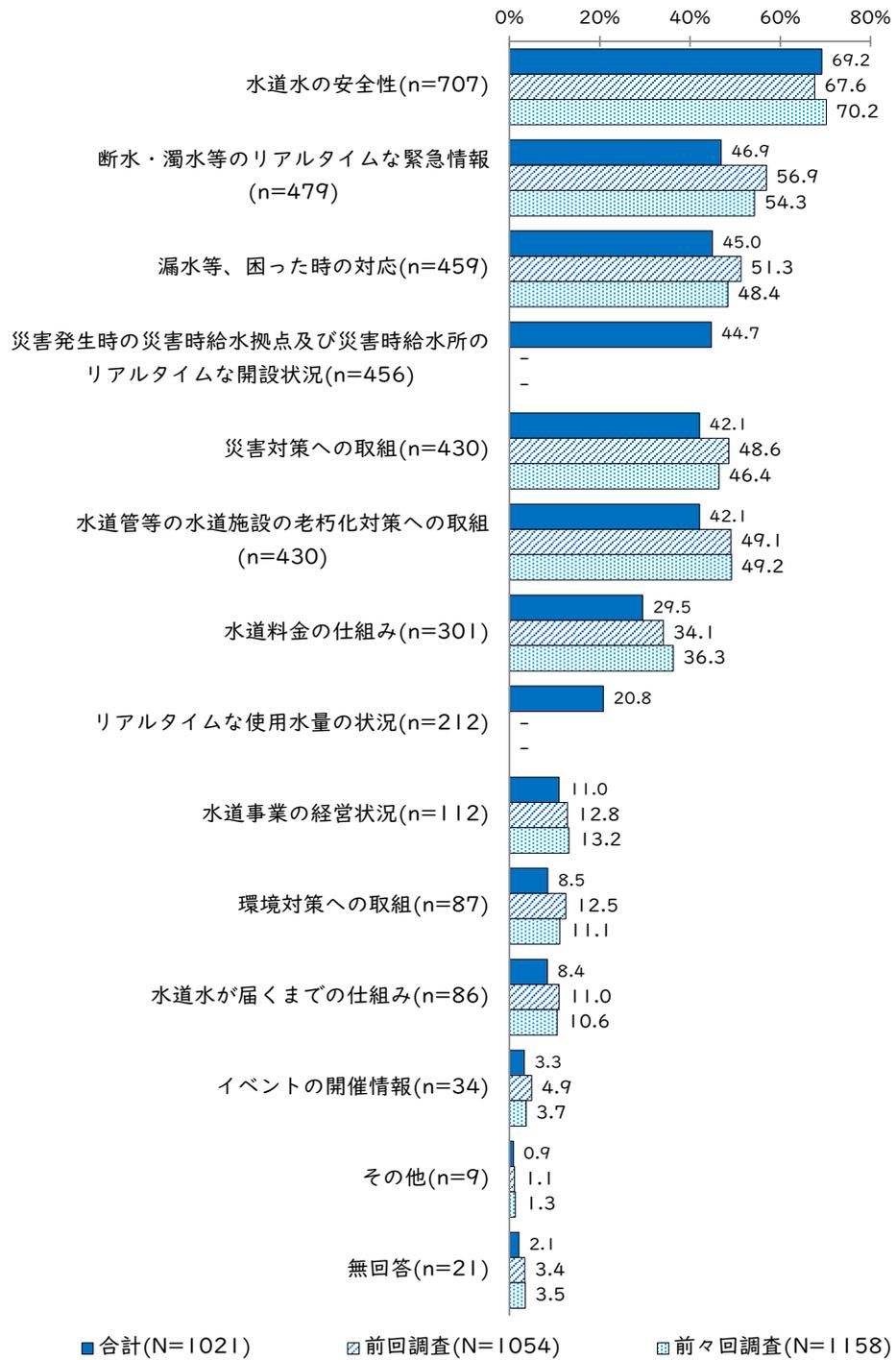
問 18. 水道に関して知りたい情報

問 18. あなたが、水道に関して知りたい情報は何か。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

「水道水の安全性」(69%)、「断水・濁水等のリアルタイムな緊急情報」(47%)、「漏水等、困った時の対応」(45%)、「災害発生時の災害時給水拠点及び災害時給水所のリアルタイムな開設状況」(45%)、「災害対策への取組」(42%)、「水道管等の水道施設の老朽化対策への取組」(42%)となっています。

前回調査と比較すると、「断水・濁水等のリアルタイムな緊急情報」、「漏水等、困った時の対応」、「災害対策への取組」、「水道管等の水道施設の老朽化対策への取組」等は低くなっています。



「その他」：水道事業の問題点や課題、水道料金、他7件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「水道水の安全性」で見ると、『18～29歳』（50～53%）を除き、他の年齢は60～77%となっています。

「断水・濁水等のリアルタイムな緊急情報」で見ると、80歳以上（29%）、20～29歳（33%）を除き、他の年齢は42～57%となっています。

○地域別

「水道水の安全性」で見ると、JR以南地域（59%）、豊津・江坂・南吹田地域（65%）を除き、他の地域は71～74%となっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問18. 水道に関して知りたい情報

		水道水の安全性	断水・濁水等のリアルタイムな緊急情報	漏水等、困った時の対応	災害発生時の災害時給水拠点及び災害時給水所のリアルタイムな開設状況	災害対策への取組	水道管等の水道施設の老朽化対策への取組	水道料金の仕組み	リアルタイムな使用水量の状況	水道事業の経営状況	環境対策への取組	水道水が届くまでの仕組み	イベントの開催情報	その他	無回答
合計(N=1021)		69.2	46.9	45.0	44.7	42.1	42.1	29.5	20.8	11.0	8.5	8.4	3.3	0.9	2.1
性別	男性(N=407)	68.3	44.2	41.0	41.3	41.3	43.2	29.5	21.6	16.2	9.1	8.1	2.5	1.5	2.2
	女性(N=595)	70.1	49.1	47.7	47.2	42.4	41.3	29.7	19.5	7.7	8.1	8.6	4.0	0.5	1.7
	答えたくない(N=12)	75.0	50.0	66.7	50.0	58.3	50.0	25.0	33.3	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=14)	50.0	57.1	28.6	50.0	50.0	28.6	21.4	21.4	0.0	14.3	0.0	7.1	0.0	7.1
	20～29歳(N=87)	52.9	33.3	33.3	34.5	37.9	24.1	28.7	26.4	3.4	8.0	8.0	2.3	1.1	0.0
	30～39歳(N=120)	60.0	49.2	45.8	38.3	37.5	33.3	30.8	26.7	11.7	5.8	11.7	5.8	0.8	0.8
	40～49歳(N=171)	77.2	49.7	45.6	36.3	35.7	40.4	33.3	29.2	11.1	7.0	11.1	5.8	2.3	0.6
	50～59歳(N=189)	70.4	56.1	51.3	51.3	46.0	40.2	32.8	20.6	11.1	8.5	4.2	4.8	0.5	1.1
	60～69歳(N=180)	73.3	51.7	51.7	55.0	50.6	53.3	30.6	16.7	8.9	11.7	8.9	1.1	0.6	0.6
	70～79歳(N=183)	71.0	42.1	41.0	45.9	43.2	50.3	23.5	12.6	14.2	7.7	7.1	0.0	0.5	4.9
	80歳以上(N=73)	75.3	28.8	38.4	41.1	35.6	42.5	24.7	15.1	17.8	11.0	12.3	4.1	0.0	5.5
地域別	JR以南地域(N=88)	59.1	36.4	44.3	35.2	37.5	34.1	31.8	10.2	10.2	5.7	8.0	4.5	1.1	3.4
	片山・岸部地域(N=144)	71.5	53.5	45.8	50.7	42.4	42.4	29.9	18.8	11.1	9.7	6.3	2.8	1.4	1.4
	豊津・江坂・南吹田地域(N=182)	64.8	37.9	44.0	33.5	40.1	40.1	24.7	19.2	6.6	5.5	7.7	3.8	1.6	2.7
	千里山・佐井寺地域(N=177)	72.9	51.4	44.6	48.0	48.0	44.6	36.2	22.0	8.5	11.9	11.3	2.3	0.0	1.7
	山田・千里丘地域(N=232)	73.7	47.8	45.3	47.0	38.4	45.7	25.9	25.4	11.6	8.6	7.3	2.6	1.3	1.3
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=187)	71.1	52.9	47.6	50.8	47.1	42.8	31.0	22.5	17.1	9.1	10.2	4.8	0.0	0.5

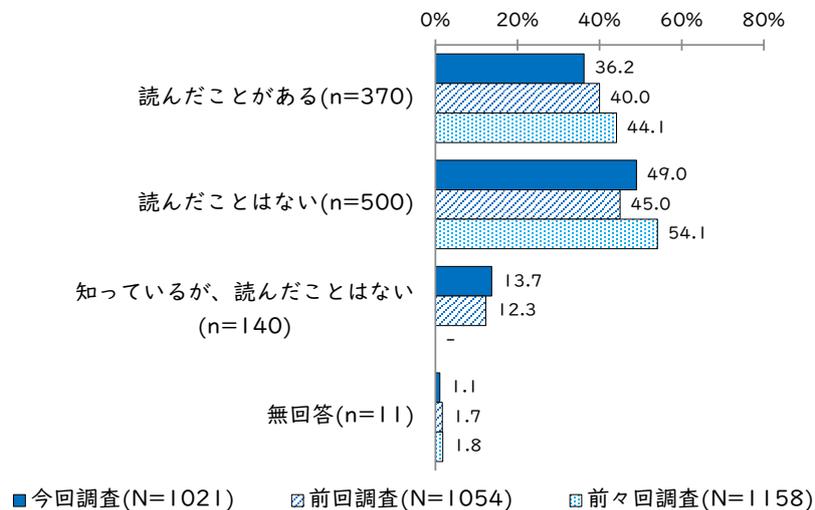
問 19. 「すいどうにゅーす」の読書経験

問 19. あなたは、水道部が年 2 回「市報すいた」と一緒に市内全戸にお届けしている広報誌「すいどうにゅーす」を読んだことはありますか。

【単純集計】

「読んだことがある」(36%)、「読んだことはない」(49%)、「知っているが、読んだことはない」(14%)となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



【クロス集計】

○性別

「読んだことがある」でみると、女性（40％）は男性（31％）より10ポイント高くなっています。

○年齢別

「読んだことがある」でみると、20～29歳（8％）から年齢が高くなるに従って高くなる傾向がみられます。

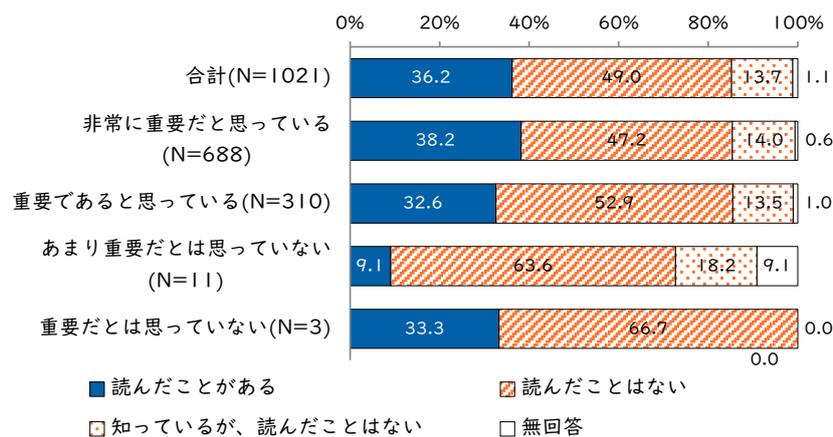
○地域別

「読んだことがある」でみると、山田・千里丘地域（42％）、千里ニュータウン・万博・阪大地域（40％）、豊津・江坂・南吹田地域（37％）は他の地域（27～35％）より高くなっています。

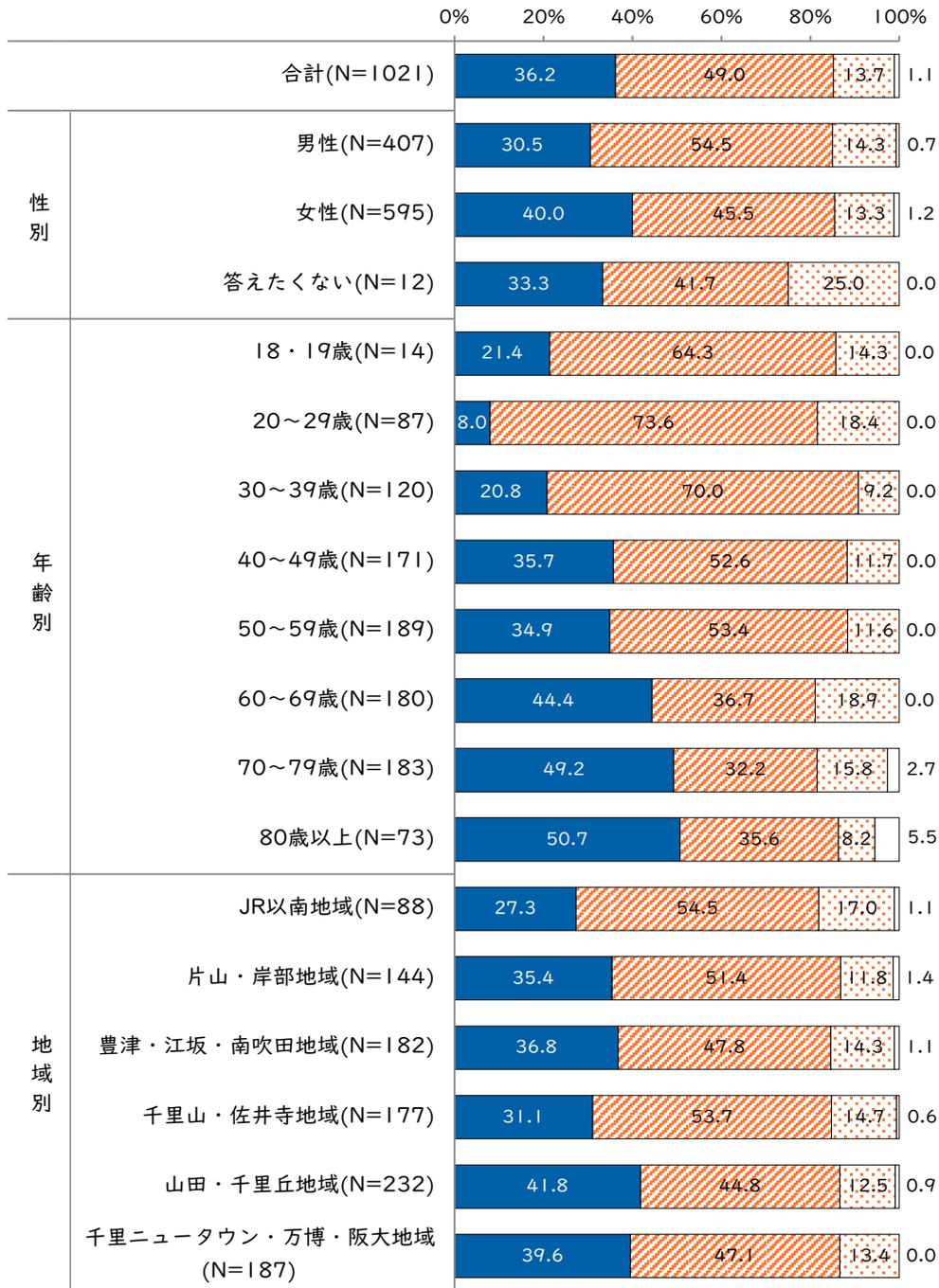
○問10 水道施設の耐震化の重要性に関する意識別

「読んだことがある」でみると、非常に重要だと思っている、重要であると思っているは33～38％ですが、あまり重要だとは思っていないは9％と低くなっています。

問10. 水道施設の耐震化の重要性に関する意識×
問19. 「すいどうにゅーす」の読書経験



問1. 2. 3. (属性) × 問19. 「すいどうにゅーす」の読書経験



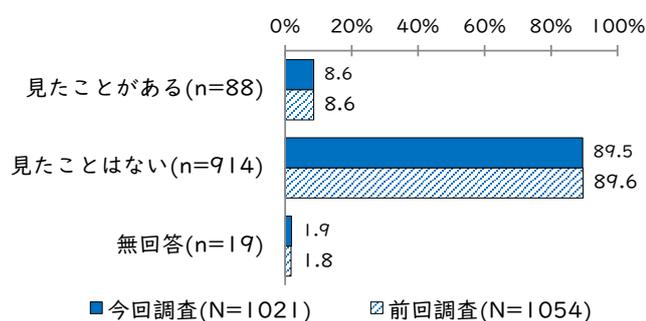
■ 読んだことがある
▨ 読んだことはないが知っている
▩ 読んだことはないが知らない
 無回答

問 20. 水道部ホームページの閲覧経験

問 20. あなたは、水道部のホームページを見たことがありますか。

【単純集計】

「見たことがある」(9%)、「見たことはない」(90%)となっています。
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

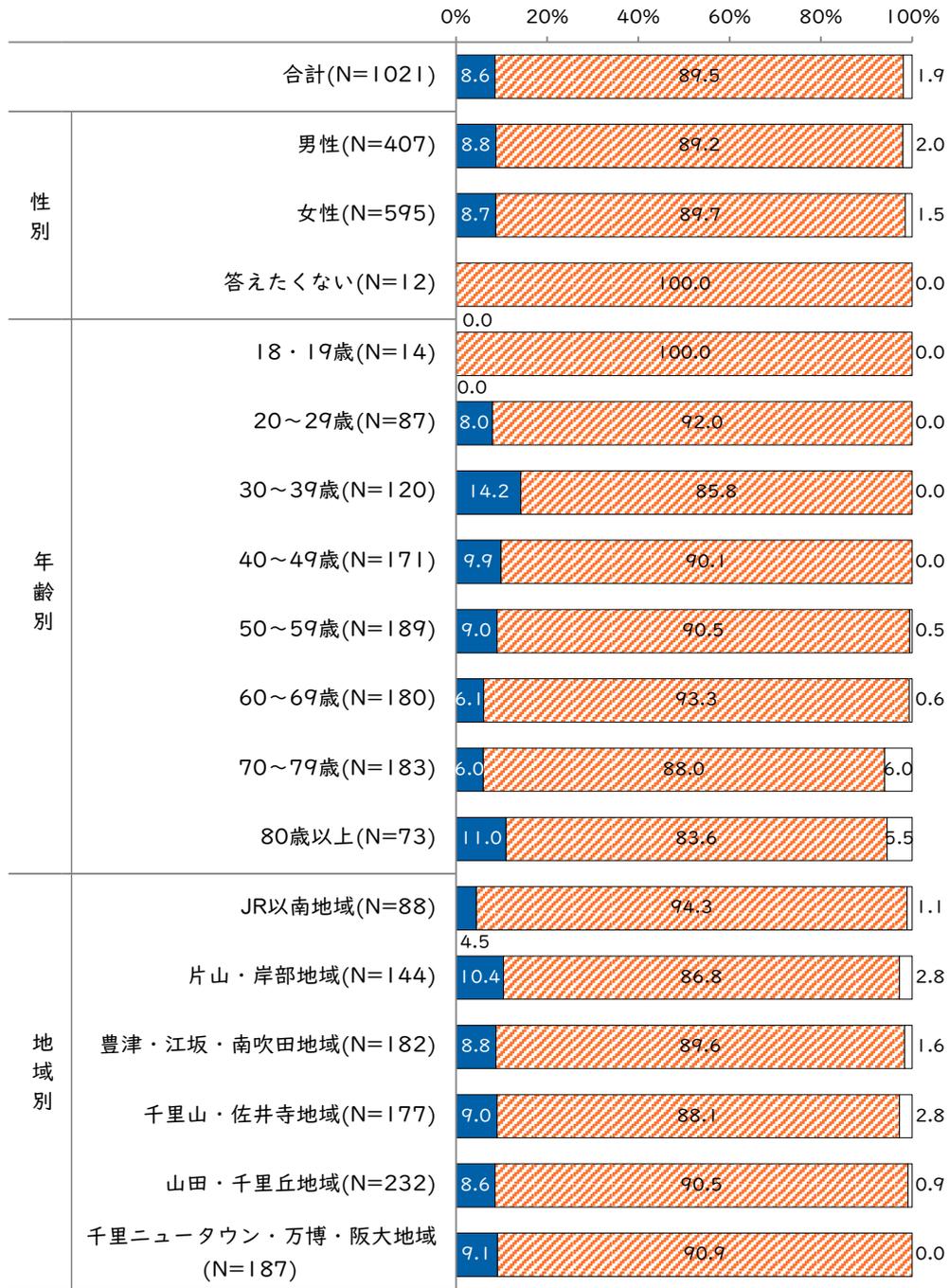
○年齢別

「見たことがある」で見ると、30～39歳(14%)は他の年齢(0～11%)より高くなっています。

○地域別

「見たことがある」で見ると、JR以南地域(5%)は他の地域(9～10%)より低くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問20. 水道部ホームページの閲覧経験



■ 見たことがある ▨ 見たことはない □ 無回答

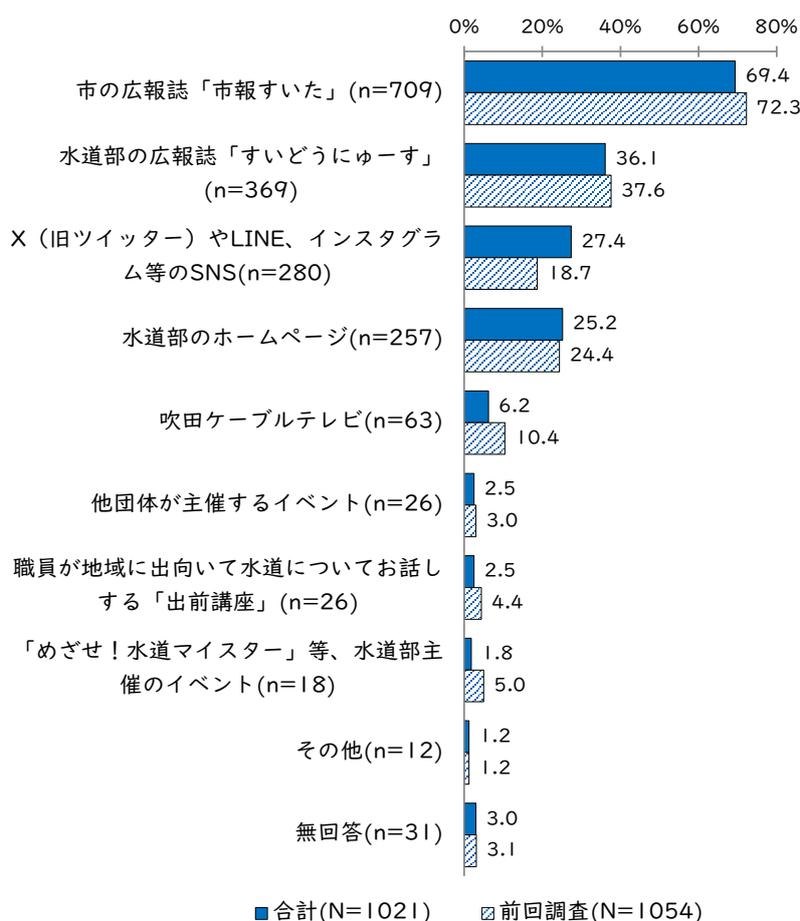
問 21. 水道部からの情報提供の方法

問 21. あなたは、水道部からの情報をお届けする方法として、どれが良いと思われますか。(あてはまるもの3つまで)

【単純集計】

「市の広報誌「市報すいた」(69%)、「水道部の広報誌「すいどうにゅーす」(36%)、「X(旧ツイッター)やLINE、インスタグラム等のSNS」(27%)、「水道部のホームページ」(25%)となっています。

前回調査と比較すると、「X(旧ツイッター)やLINE、インスタグラム等のSNS」は9ポイント高くなっており、他は大きな差はみられません。



「その他」：工事で水がにごる場合事前にポストとかに紙を入れてほしい、料金お知らせと共に配布、メーターの見方の情報、他8件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「市の広報誌「市報すいた」」でみると、『18～29歳』（40～43％）は他の年齢（60～79％）より低く、「X（旧ツイッター）やLINE、インスタグラム等のSNS」でみると、『18～29歳』（59～64％）は他の年齢（10～48％）より高くなっています。

○地域別

「市の広報誌「市報すいた」」でみると、JR以南地域（63％）は、他の地域（67～74％）より低くなっています。

○問11 「災害時給水拠点」、「災害時給水所」の認知度別

「市の広報誌「市報すいた」」でみると、「災害時給水拠点」、「災害時給水所」を知っている（74％）、聞いたことがある（78％）は、知らない（64％）より高くなっています。

○問19 「すいどうにゅーす」の読書経験別

「水道部の広報誌「すいどうにゅーす」」でみると、読んだことがある（61％）は、知っているが読んだことがない（34％）、読んだことはない（19％）より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問21. 水道部からの情報提供の方法

		市の広報誌「市報すいた」	水道部の広報誌「すいどうにゆー」	X(旧ツイッター等)やLINE、SNS	水道部のホームページ	吹田ケーブルテレビ	他団体が主催するイベント	職員が地域に出向いて水道についてお話しする「出前講座」	「めざせ！水道マイスター」等、水道部主催のイベント	その他	無回答
合計(N=1021)		69.4	36.1	27.4	25.2	6.2	2.5	2.5	1.8	1.2	3.0
性別	男性(N=407)	66.1	36.6	24.8	29.2	7.9	2.9	1.5	2.2	1.7	2.7
	女性(N=595)	72.1	35.8	29.1	22.4	5.0	2.4	3.2	1.5	0.8	3.0
	答えたくない(N=12)	58.3	41.7	41.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=14)	42.9	28.6	64.3	28.6	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0
	20～29歳(N=87)	40.2	19.5	58.6	28.7	5.7	2.3	0.0	3.4	0.0	0.0
	30～39歳(N=120)	60.0	20.8	47.5	22.5	5.0	4.2	2.5	2.5	0.8	0.8
	40～49歳(N=171)	70.8	29.2	31.0	28.1	2.3	3.5	2.9	1.8	0.6	1.8
	50～59歳(N=189)	73.5	32.3	30.2	27.0	9.5	2.1	2.6	1.1	3.2	2.1
	60～69歳(N=180)	78.3	50.0	15.0	28.3	6.7	2.2	1.7	0.6	1.1	2.8
	70～79歳(N=183)	78.7	47.0	10.4	21.9	6.6	1.6	2.7	1.6	0.5	6.6
	80歳以上(N=73)	68.5	49.3	9.6	13.7	5.5	2.7	4.1	2.7	1.4	5.5
地域別	JR以南地域(N=88)	62.5	35.2	25.0	20.5	5.7	1.1	4.5	1.1	2.3	3.4
	片山・岸部地域(N=144)	72.2	38.9	23.6	28.5	7.6	2.1	1.4	2.1	0.7	1.4
	豊津・江坂・南吹田地域(N=182)	67.0	33.0	25.3	24.2	7.1	2.7	1.6	1.1	1.1	3.8
	千里山・佐井寺地域(N=177)	70.6	29.9	32.2	31.1	5.1	2.3	4.0	1.7	1.1	1.7
	山田・千里丘地域(N=232)	70.3	38.8	30.2	23.7	6.0	3.4	1.3	1.7	0.9	3.0
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=187)	73.8	41.2	26.7	22.5	4.8	2.1	3.7	2.7	1.1	2.7

問 11. 「災害時給水拠点」、「災害時給水所」の認知度×
問 21. 水道部からの情報提供の方法

	水道部の広報誌「すいどうにゆい」	水道部のホームページ	市の広報誌「市報すいた」	吹田ケーブルテレビ	IX（旧ツイタム等）のSNS	「めざせ！水道マイスター」等、水道部主催のイベント	他団体が主催するイベント	職員が地域に出向いて水道についてお話しする「出前講座」	その他	無回答
合計(N=1021)	36.1	25.2	69.4	6.2	27.4	1.8	2.5	2.5	1.2	3.0
具体的な場所を知っている(N=214)	41.1	24.3	74.3	5.6	30.4	1.9	1.9	3.3	0.0	4.2
聞いたことはあるが、具体的な場所は知らない(N=226)	43.4	30.1	78.3	8.8	25.2	1.8	2.7	2.2	0.9	0.9
知らない(N=569)	31.6	23.9	64.3	5.4	27.6	1.8	2.8	2.5	1.8	2.6
その他(N=2)	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問19.「すいどうにゅーす」の読書経験×問21.水道部からの情報提供の方法

	水道部の広報誌「すいどうにゅーす」	水道部のホームページ	市の広報誌「市報すいた」	吹田ケーブルテレビ	X（旧ツイタ）やSNS（インスタグラム等）	「めざせ！水道マイスター」等、水道部主催のイベント	他団体が主催するイベント	職員が地域に出向いて水道についてお話しする「出前講座」	その他	無回答
合計(N=1021)	36.1	25.2	69.4	6.2	27.4	1.8	2.5	2.5	1.2	3.0
読んだことがある(N=370)	60.8	22.7	80.5	5.4	20.3	1.4	1.9	3.0	0.5	3.5
読んだことはない(N=500)	19.0	27.2	61.4	6.2	33.8	1.0	3.4	2.0	1.6	1.6
知っているが、読んだことはない(N=140)	34.3	25.7	72.9	8.6	25.7	5.7	1.4	3.6	1.4	1.4

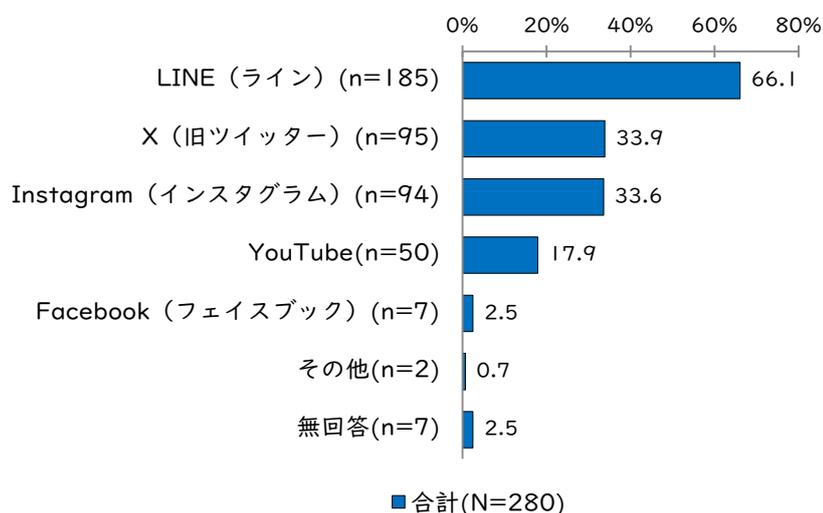
問 21-1. 情報を受け取りやすい SNS 媒体

問 21-1. 問 21 で「X (旧ツイッター) や LINE、インスタグラム等の SNS」と回答された方にお聞きします。

あなたは、どの SNS 媒体が情報を受け取りやすいですか。(あてはまるもの 2 つまで)

【単純集計】

「LINE (ライン)」(66%)、「X (旧ツイッター)」(34%)、「Instagram (インスタグラム)」(34%) となっています。



「その他」: TikTok (ティックトック)

【クロス集計】

○性別

「LINE（ライン）」では男女別には大きな差はみられません。

「X（旧ツイッター）」では男性は女性より 10 ポイント高く、「Instagram（インスタグラム）」では女性は男性より 10 ポイント高くなっています。

○年齢別

「LINE（ライン）」でみると、年齢が高くなるに従って高くなる傾向が見られます。「X（旧ツイッター）」でみると、『18～49 歳』（32～47%）は『50～79 歳』（5～30%）より高くなっています。

○地域別

「LINE（ライン）」でみると、JR 以南地域（50%）は他の地域（59～75%）より低くなっていますが、「X（旧ツイッター）」でみると、JR 以南地域（59%）は他の地域（23～41%）より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問21-1. 情報を受け取りやすいSNS媒体

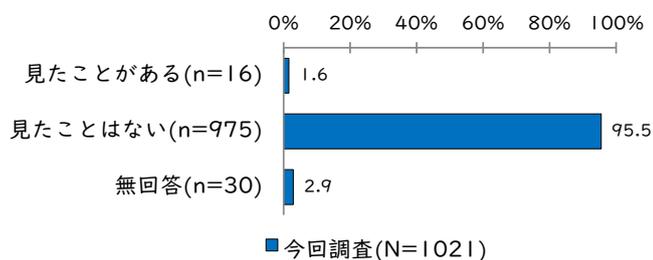
		LINE (ライン)	X (旧ツイッター)	Instagram (インスタグラム)	YouTube	Facebook (フェイスブック)	その他	無回答
合計(N=280)		66.1	33.9	33.6	17.9	2.5	0.7	2.5
性別	男性(N=101)	67.3	39.6	27.7	27.7	5.0	1.0	2.0
	女性(N=173)	65.3	29.5	37.6	12.1	1.2	0.6	2.9
	答えたくない(N=5)	60.0	80.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=9)	44.4	33.3	44.4	55.6	0.0	11.1	0.0
	20～29歳(N=51)	58.8	41.2	43.1	13.7	0.0	0.0	2.0
	30～39歳(N=57)	59.6	47.4	43.9	10.5	1.8	0.0	1.8
	40～49歳(N=53)	67.9	32.1	35.8	15.1	5.7	0.0	1.9
	50～59歳(N=57)	68.4	26.3	33.3	19.3	3.5	0.0	1.8
	60～69歳(N=27)	77.8	29.6	14.8	22.2	0.0	0.0	7.4
	70～79歳(N=19)	89.5	5.3	0.0	36.8	0.0	0.0	5.3
	80歳以上(N=7)	57.1	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
地域別	JR以南地域(N=22)	50.0	59.1	45.5	9.1	4.5	0.0	0.0
	片山・岸部地域(N=34)	73.5	41.2	17.6	17.6	0.0	0.0	2.9
	豊津・江坂・南吹田地域(N=46)	65.2	37.0	34.8	17.4	0.0	2.2	0.0
	千里山・佐井寺地域(N=57)	75.4	22.8	33.3	19.3	3.5	0.0	1.8
	山田・千里丘地域(N=70)	58.6	31.4	37.1	21.4	2.9	0.0	5.7
	千里ニュータウン・万博・阪大 地域(N=50)	68.0	32.0	34.0	16.0	4.0	2.0	2.0

問 22. 水道部の公式Instagramの閲覧経験

問 22. より多くの方に水道事業への関心を持っていただくため、水道部の公式Instagramを開設し、様々な投稿を行っています。あなたは、水道部の公式Instagramを見たことがありますか。

【単純集計】

「見たことがある」(2%)、「見たことはない」(96%)となっています。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

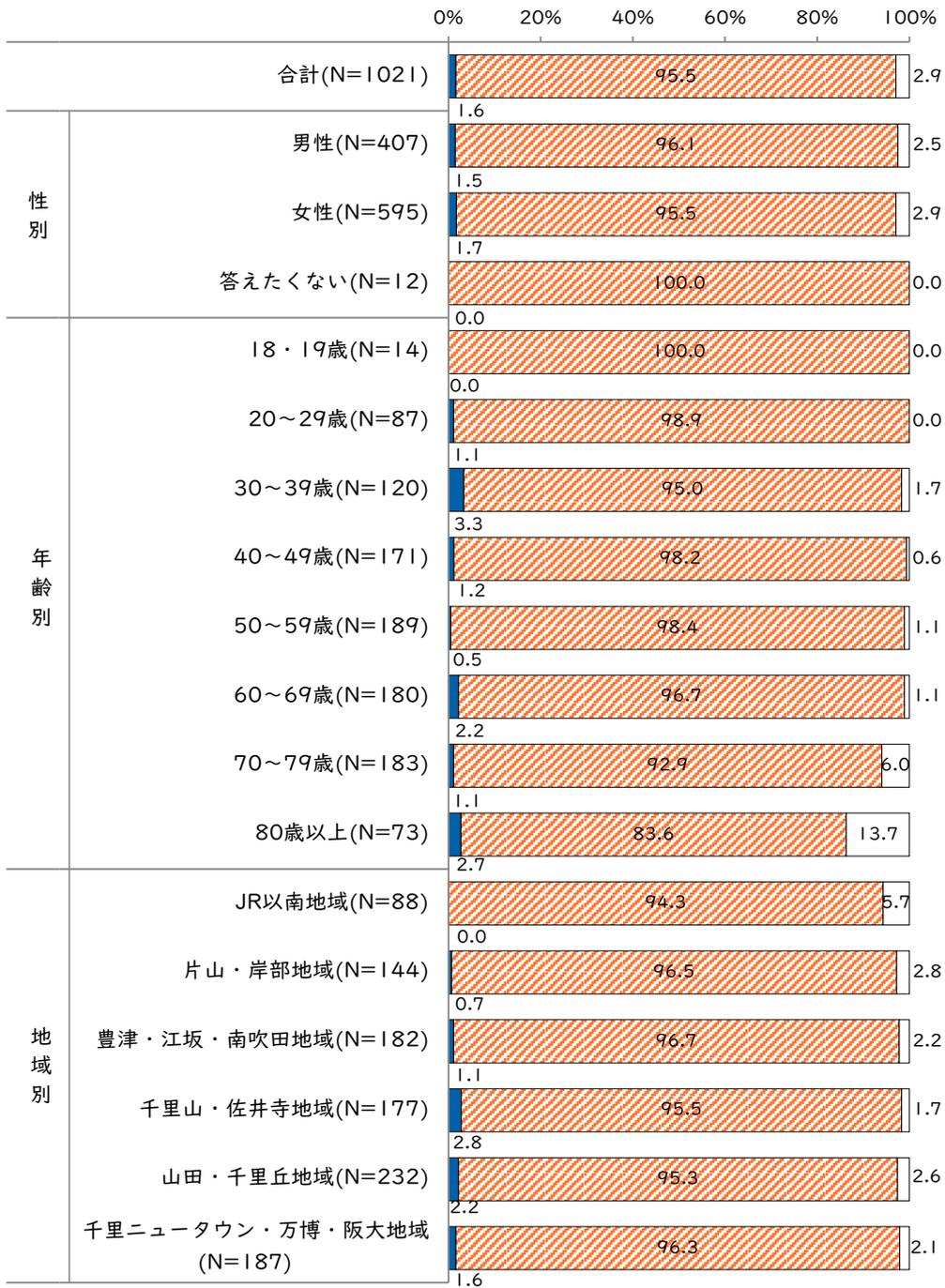
○年齢別

年齢別には大きな差はみられません。

○地域別

地域別には大きな差はみられません。

問1. 2. 3. (属性) × 問22. 水道部の公式インスタグラムの閲覧経験



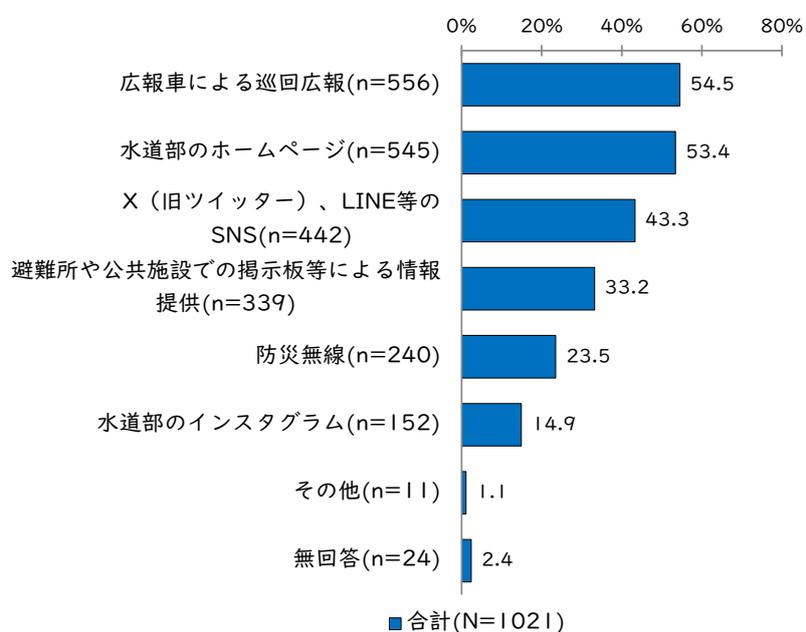
■ 見たことがある ■ 見たことはない □ 無回答

問 23. 断水・濁水に関する情報入手方法

問 23. 災害等により断水や濁水が発生した際に情報を得る方法について、あなたが有効だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

「広報車による巡回広報」(55%)、「水道部のホームページ」(53%)、「X(旧ツイッター)、LINE等のSNS」(43%)、「避難所や公共施設での掲示板等による情報提供」(33%)、「防災無線」(24%)となっています。



「その他」：吹田市のLINE、テレビにて流す、他9件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「広報車による巡回広報」で見ると、20～29歳（29%）から年齢が高くなるに従って高くなる傾向が見られます。

「水道部のホームページ」で見ると、『18～69歳』（53～65%）は5割以上ですが、『70～80歳以上』（26～40%）は4割以下となっています。

○地域別

「水道部のホームページ」で見ると、豊津・江坂・南吹田地域（62%）、千里山・佐井寺地域（58%）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問23. 断水・濁水に関する情報入手方法

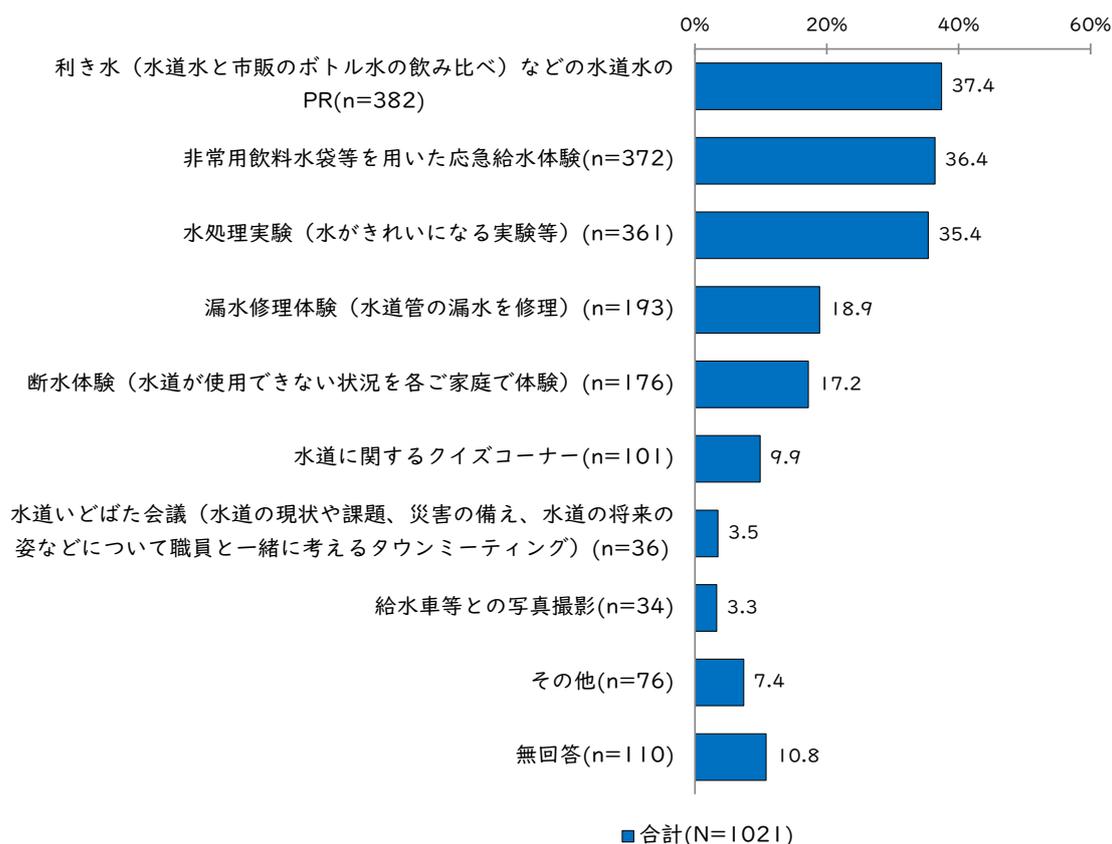
		広報車による巡回広報	水道部のホームページ	LINE(旧ツイッター)、SNS等のSNS	避難所や公共施設等での掲示	防災無線	水道部のインスタグラム	その他	無回答
合計(N=1021)		54.5	53.4	43.3	33.2	23.5	14.9	1.1	2.4
性別	男性(N=407)	53.1	58.0	42.5	31.9	24.6	13.8	1.2	2.0
	女性(N=595)	55.5	50.4	43.7	34.1	22.9	15.5	1.0	2.2
	答えたくない(N=12)	50.0	50.0	58.3	41.7	16.7	25.0	0.0	0.0
年齢別	18・19歳(N=14)	57.1	57.1	57.1	42.9	57.1	35.7	0.0	0.0
	20～29歳(N=87)	28.7	52.9	64.4	14.9	25.3	23.0	0.0	0.0
	30～39歳(N=120)	39.2	53.3	65.0	31.7	29.2	18.3	0.0	0.0
	40～49歳(N=171)	45.6	64.9	48.5	31.0	25.1	20.5	2.9	1.2
	50～59歳(N=189)	51.9	61.9	47.1	32.3	23.8	20.1	0.0	2.1
	60～69歳(N=180)	66.7	58.9	38.9	41.1	21.1	11.7	1.1	0.0
	70～79歳(N=183)	70.5	39.9	24.6	39.3	17.5	4.4	1.1	4.4
	80歳以上(N=73)	68.5	26.0	16.4	28.8	23.3	4.1	2.7	9.6
地域別	JR以南地域(N=88)	59.1	45.5	38.6	30.7	23.9	14.8	3.4	4.5
	片山・岸部地域(N=144)	57.6	52.8	41.7	31.9	22.2	16.0	1.4	3.5
	豊津・江坂・南吹田地域(N=182)	52.2	62.1	40.7	35.2	22.5	13.2	0.0	1.6
	千里山・佐井寺地域(N=177)	50.8	57.6	44.1	31.1	29.9	9.6	0.6	1.7
	山田・千里丘地域(N=232)	54.3	49.1	47.4	34.1	20.7	19.4	0.9	1.3
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=187)	57.8	52.9	45.5	35.8	23.5	15.5	1.6	0.5

問 24. 参加したい水道部のイベント

問 24. あなたが、水道部のイベントで参加したいと思う内容はどれですか。(あてはまるものすべて)

【単純集計】

「利き水（水道水と市販のボトル水の飲み比べ）などの水道水の PR」（37%）、「非常用飲料水袋等を用いた応急給水体験」（36%）、「水処理実験（水がきれいになる実験等）」（35%）、「漏水修理体験（水道管の漏水を修理）」（19%）、「断水体験（水道が使用できない状況を各ご家庭で体験）」（17%）となっています。



「その他」：水道局を信頼している、浄水場見学会、参加したいと思わない、イベントは不要、参加しない、他 28 件

【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「利き水などの水道水のPR」でみると、『18～29歳』（46～57%）は他の年齢より高く、「非常用飲料水袋等を用いた応急給水体験」では、『30～69歳』（37～48%）は他の年齢より高く、「水処理実験」では、18・19歳・『30～49歳』（43～50%）は他の年齢より高くなっています。

○地域別

「利き水などの水道水のPR」でみると、片山・岸部地域（47%）が他の地域より高くなっていますが、「非常用飲料水袋等を用いた応急給水体験」、「水処理実験」では、JR以南地域（25%、28%）が他の地域（32～40%、34～39%）より低くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問24. 参加したい水道部のイベント

		PR	利き水などの水道水の	いた応急給水袋等を用	非常用飲料水袋等を用	水処理実験	漏水修理体験	断水体験	コーナー	水道に関するクイズ	水道いどばた会議	給水車等との写真撮影	その他	無回答
合計(N=1021)		37.4	36.4	35.4	18.9	17.2	9.9	3.5	3.3	7.4	10.8			
性別	男性(N=407)	38.6	33.9	36.4	20.6	17.0	8.8	3.7	2.7	8.6	11.1			
	女性(N=595)	36.8	38.3	34.6	18.0	17.5	10.8	3.4	3.5	6.9	9.9			
	答えたくない(N=12)	33.3	41.7	50.0	16.7	16.7	8.3	8.3	16.7	0.0	8.3			
年齢別	18・19歳(N=14)	57.1	14.3	50.0	21.4	28.6	21.4	0.0	0.0	7.1	7.1			
	20～29歳(N=87)	46.0	29.9	33.3	16.1	26.4	12.6	2.3	6.9	4.6	4.6			
	30～39歳(N=120)	42.5	47.5	42.5	25.8	23.3	14.2	2.5	9.2	4.2	5.0			
	40～49歳(N=171)	37.4	38.6	46.8	21.6	18.1	7.6	4.1	7.0	3.5	7.0			
	50～59歳(N=189)	32.3	36.5	29.6	23.3	18.0	7.9	2.6	1.6	12.2	7.9			
	60～69歳(N=180)	42.2	43.9	33.3	17.2	11.1	13.9	5.6	0.6	5.0	7.8			
	70～79歳(N=183)	32.2	28.4	31.1	12.0	14.8	7.1	3.3	0.0	12.0	18.0			
	80歳以上(N=73)	30.1	27.4	28.8	15.1	11.0	5.5	4.1	1.4	8.2	30.1			
地域別	JR以南地域(N=88)	34.1	25.0	28.4	14.8	14.8	11.4	3.4	2.3	8.0	12.5			
	片山・岸部地域(N=144)	46.5	31.9	38.9	18.1	13.9	14.6	2.1	2.8	7.6	11.1			
	豊津・江坂・南吹田地域(N=182)	40.1	38.5	34.1	20.3	15.9	7.7	3.8	5.5	6.0	12.6			
	千里山・佐井寺地域(N=177)	31.1	37.3	38.4	19.2	18.1	9.0	4.5	2.3	10.7	9.0			
	山田・千里丘地域(N=232)	35.8	39.7	35.3	19.0	17.7	7.8	2.2	3.0	7.3	10.3			
	千里ニュータウン・万博・阪大地域(N=187)	38.5	39.6	35.3	20.9	21.9	11.8	4.3	3.7	5.9	7.5			

VII. 水道事業全般について

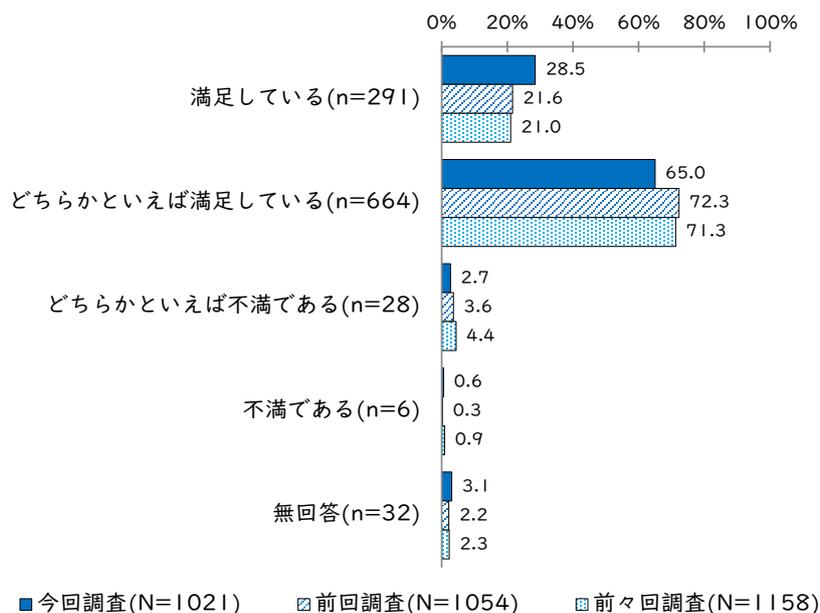
問 25. 水道事業の満足度

問 25. あなたは、本市の水道事業について満足されていますか。

【単純集計】

「満足している」(29%)と「どちらかといえば満足している」(65%)を合わせた『満足している』は94%、「どちらかといえば不満である」(3%)と「不満である」(1%)を合わせた『満足していない』は3%となっています。

前回調査と比べると、「どちらかといえば満足している」は7ポイント低くなっていますが、「満足している」は7ポイント高くなっています。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「満足している」で見ると、18・19歳（43%）から60～69歳までは年齢が高くなるに従って低下する傾向が見られます。しかし、『70～80歳以上』（32～34%）は60～69歳（24%）より高くなっています。

○地域別

地域別には大きな差はみられません。

○給水方式・住宅形態別

「満足している」で見ると、直結直圧（34%）、集合住宅（5階建て以下）（31%）は他（21～27%）より高くなっています。

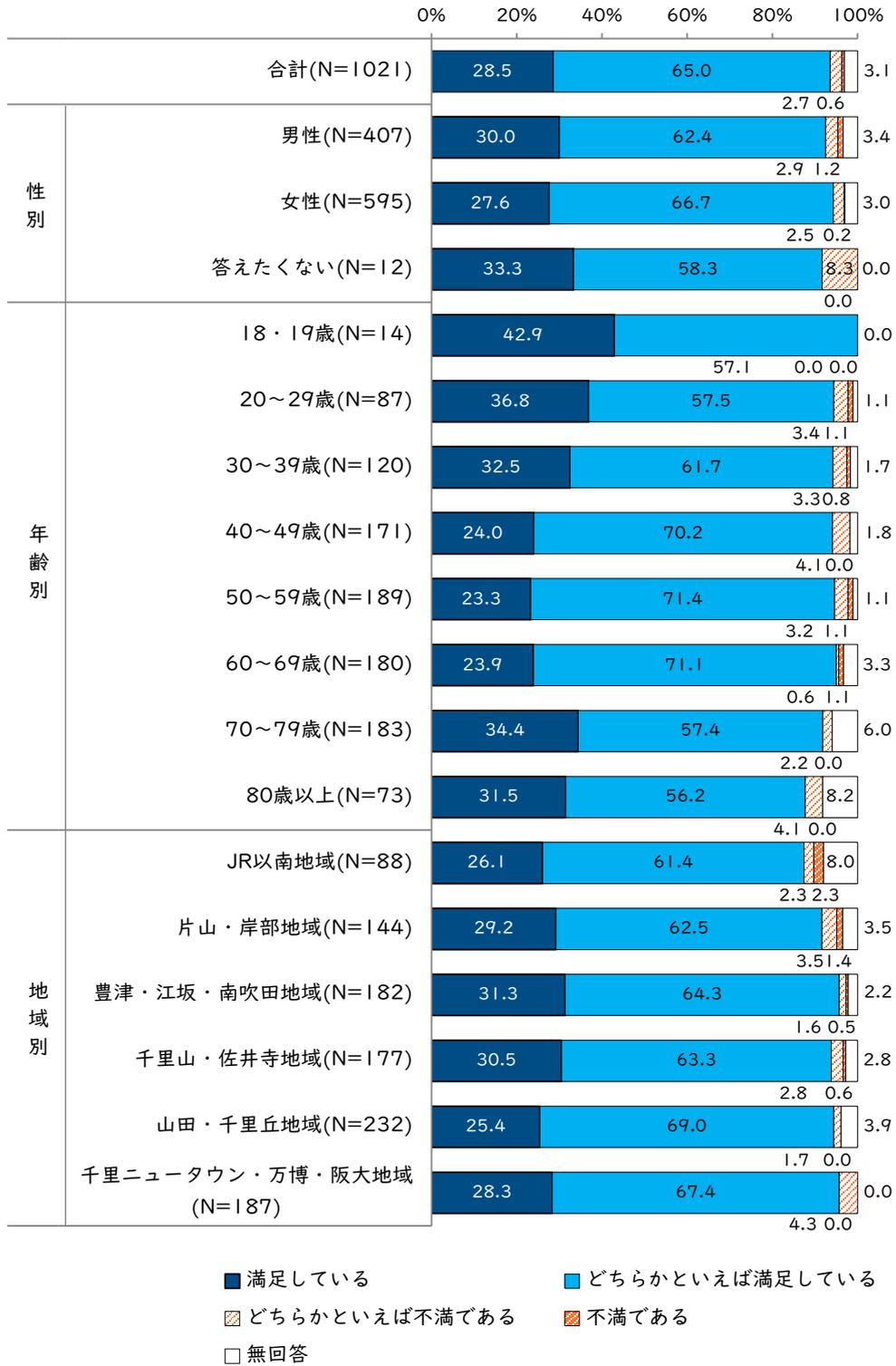
○問7 飲用で使う水の種類別

「満足している」で見ると、水道水をそのまま（35%）は浄水器（22%）、ウォーターサーバー（23%）より高くなっています。

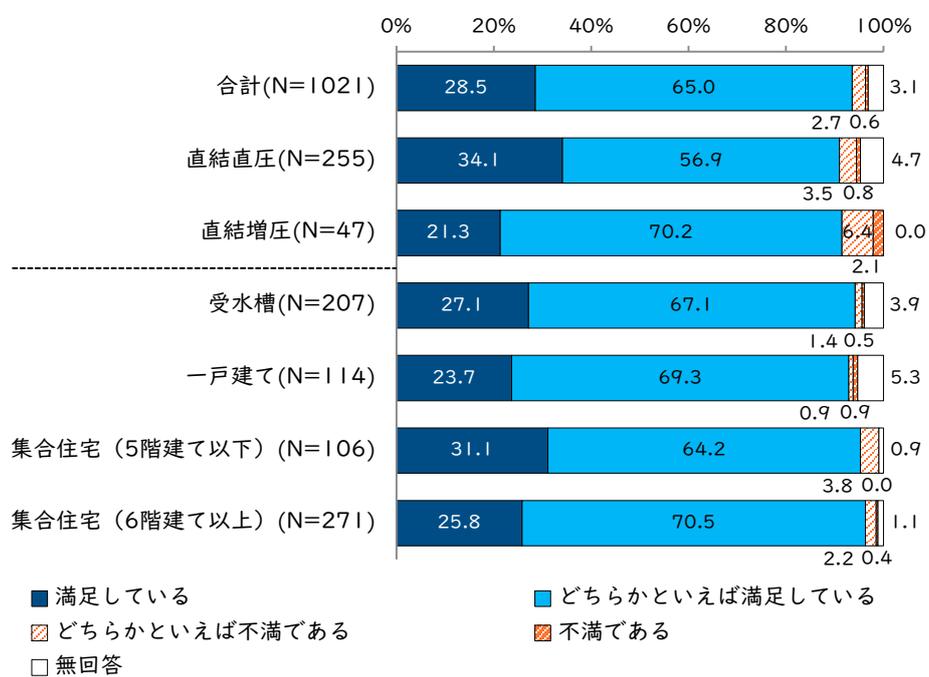
○問15 水道料金に関する感想別

「満足している」で見ると、水道料金を安いと思うほど高くなっています。

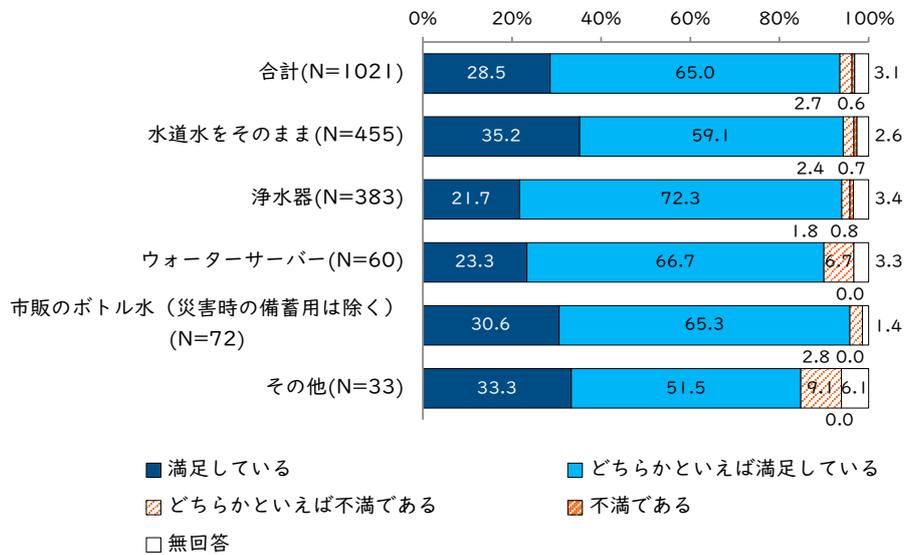
問1. 2. 3. (属性) × 問25. 水道事業の満足度



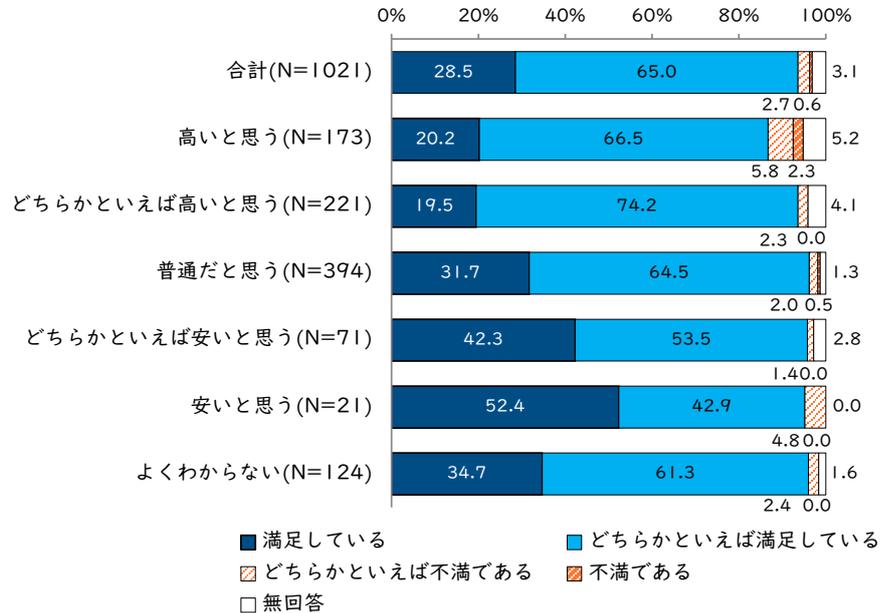
問 5. 住まいの給水方式・問 5-1. 住まいの形態×問 25. 水道事業の満足度



問 7. 飲用で使う水の種類×問 25. 水道事業の満足度



問 15. 水道料金に関する感想×問 25. 水道事業の満足度



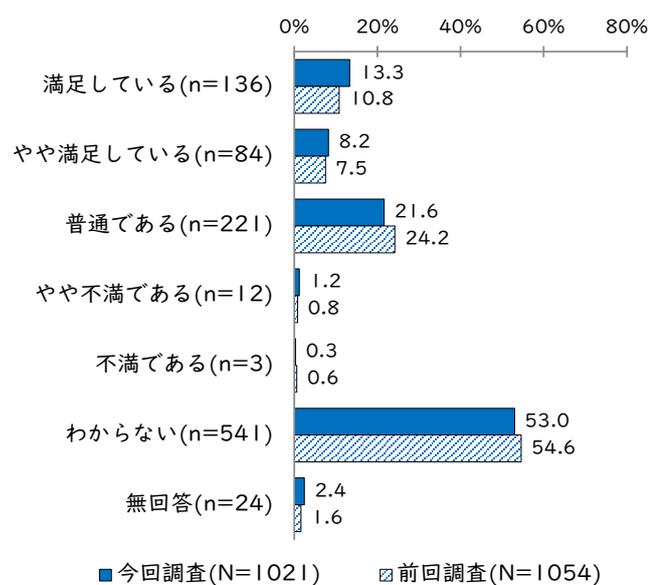
問 26. 水道部職員の応対の満足度

問 26. あなたは、電話や窓口等で水道部職員（検針員等の委託業者を含む）の応対についてどのように感じていますか。

【単純集計】

「満足している」（13%）と「やや満足している」（8%）を合わせた『満足している』は22%、「やや不満である」（1%）と「不満である」（1%未満）を合わせた『満足していない』は2%、「普通である」（22%）となっています。

前回調査と比べると、大きな差はみられません。



【クロス集計】

○性別

男女別には大きな差はみられません。

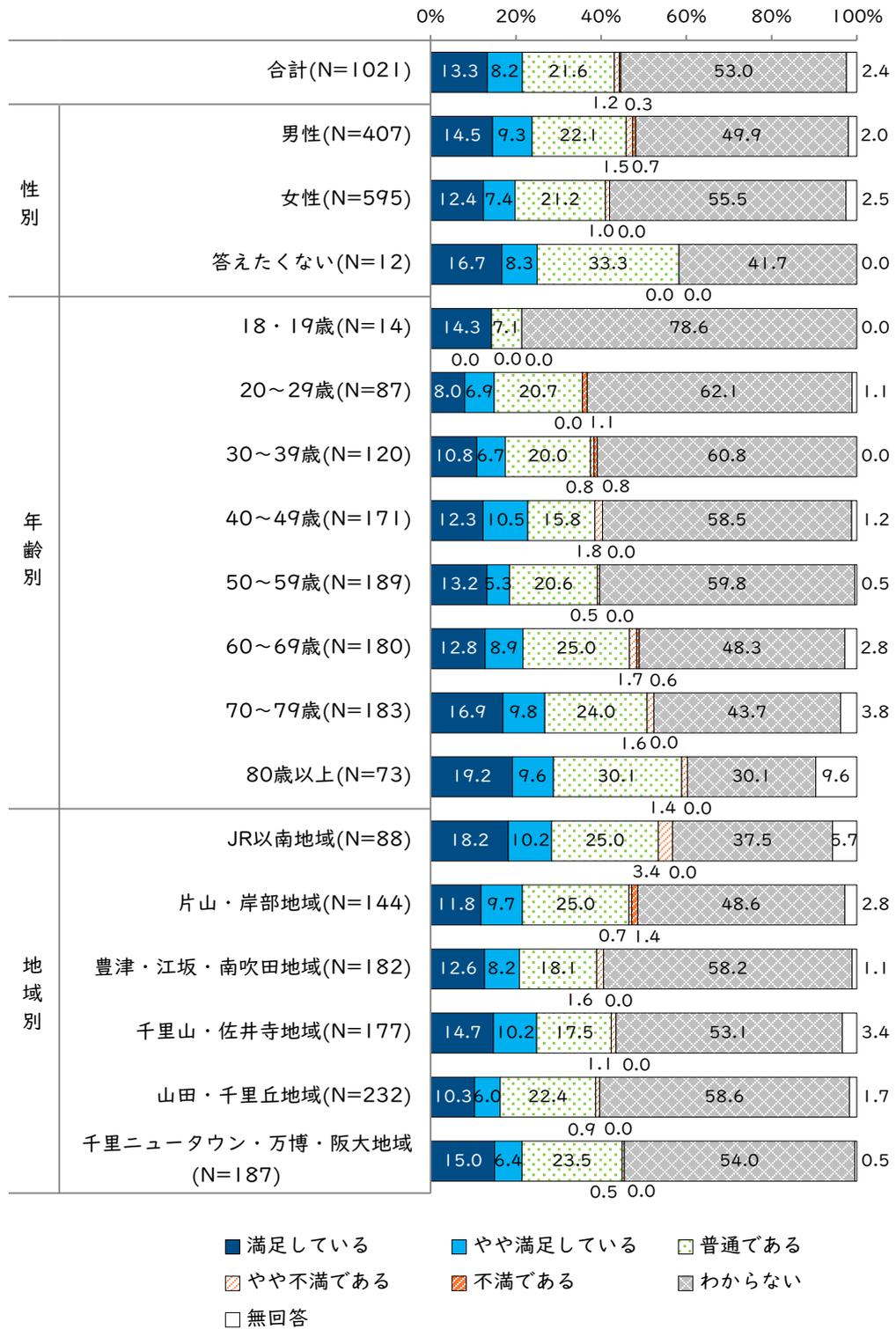
○年齢別

『満足している』でみると、18～19歳（14%）からおおむね年齢が高くなるに従って緩やかに高くなる傾向がみられます。

○地域別

『満足している』でみると、JR以南地域（28%）、千里山・佐井寺地域（25%）は他の地域より高くなっています。

問1. 2. 3. (属性) × 問26. 水道部職員の対応の満足度



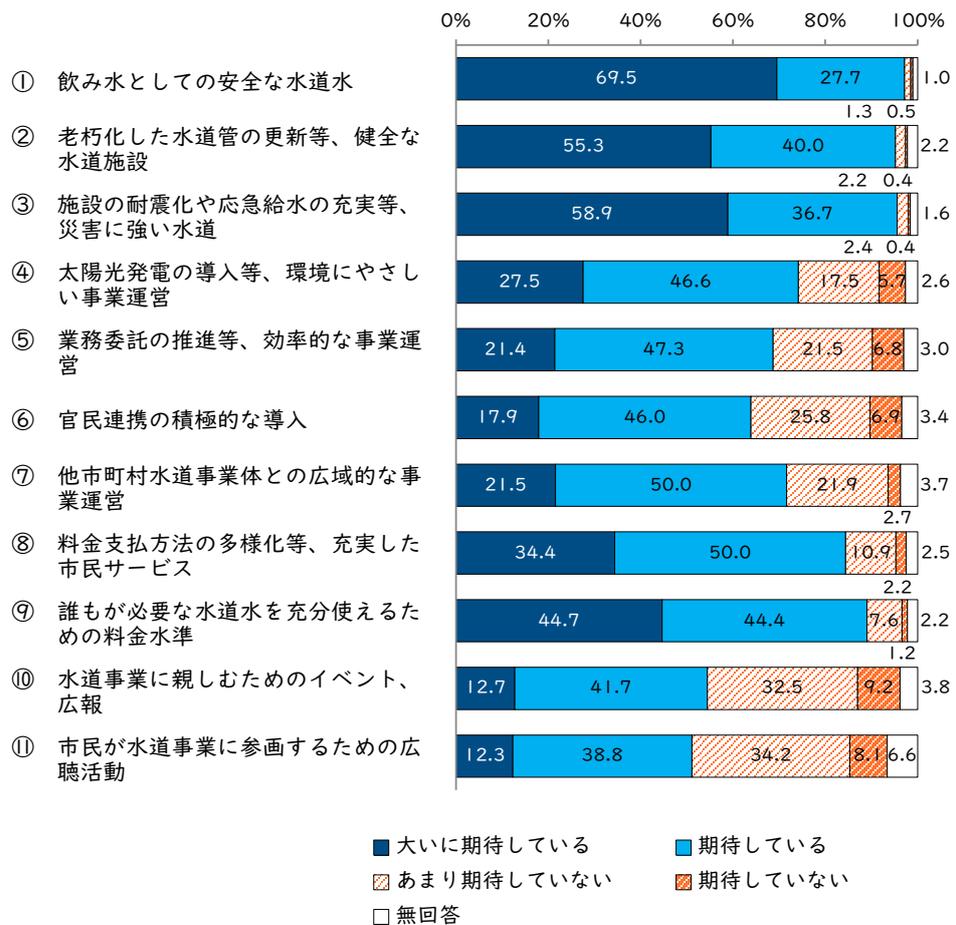
問 27. 水道事業の施策・取組に対する期待度

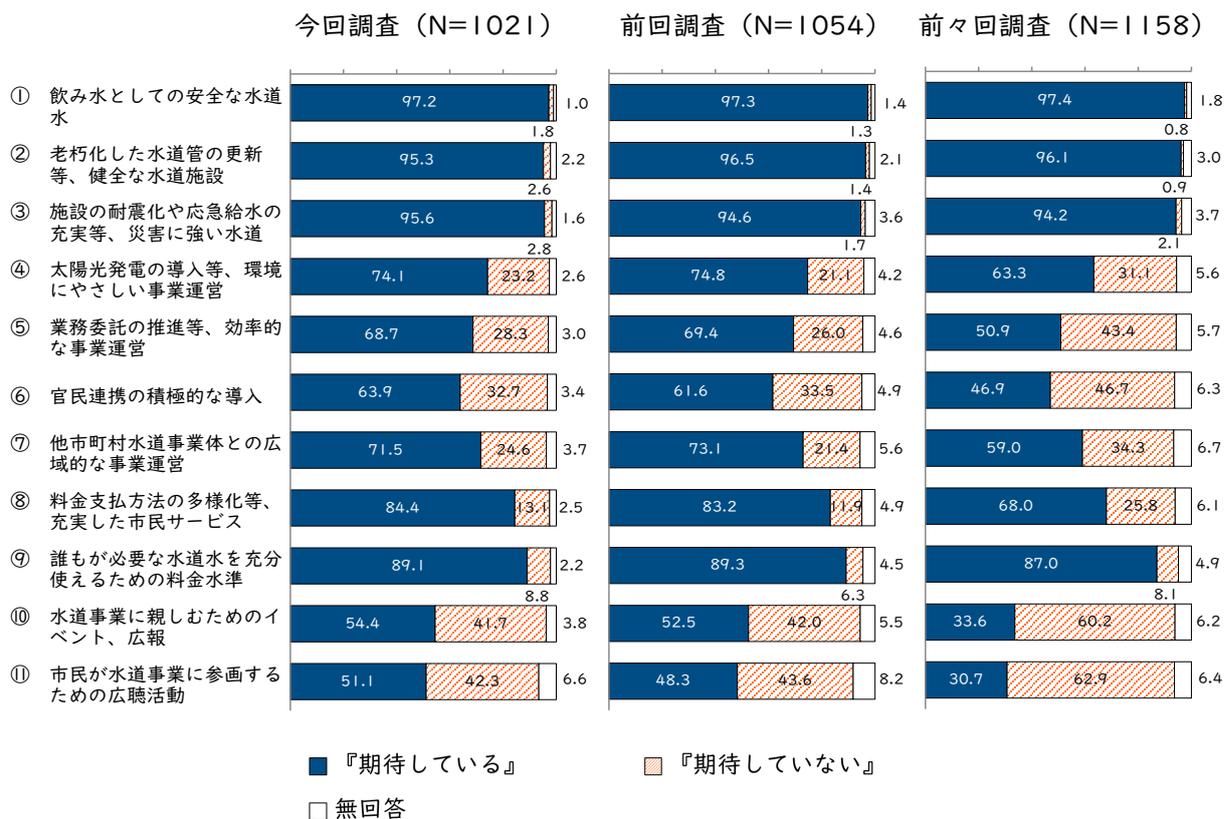
問 27. あなたは、これからの本市の水道事業の施策・取組に対して、どの程度期待されていますか。(各項目それぞれについて1つだけ)

【単純集計】

「大いに期待している」でみると、「①飲み水としての安全な水道水」(70%)、「③施設の耐震化や応急給水の充実等、災害に強い水道」(59%)、「②老朽化した水道管の更新等、健全な水道施設」(55%)、「⑨誰もが必要な水道水を充分使えるための料金水準」(45%)、「⑧料金支払方法の多様化等、充実した市民サービス」(34%)となっています。

前回調査と比べると、大きな差はみられません。





※ 『期待している』は「大いに期待している」と「期待している」の合計
『期待していない』は「あまり期待していない」と「期待していない」の合計

【「大いに期待していること」での上位4項目のクロス集計】

(第1位) ①飲み水としての安全な水道水

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「大いに期待している」でみると、18・19歳(86%)は他の年齢(64~72%)より高くなっています。

○地域別

「大いに期待している」でみると、JR以南地域(64%)は他の地域(68~73%)より低くなっています。

(第2位) ③施設の耐震化や応急給水の充実等、災害に強い水道

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「大いに期待している」でみると、30～39歳(64%)、60～69歳(63%)は他の年齢(50～60%)より高くなっています。

○地域別

「大いに期待している」でみると、JR以南地域(50%)は他の地域(56～63%)より低くなっています。

(第3位) ②老朽化した水道管の更新等、健全な水道施設

○性別

男女別には大きな差はみられません。

○年齢別

「大いに期待している」でみると、18・19歳(64%)、60～69歳(62%)、30～39歳(60%)は他の年齢(51～56%)より高くなっています。

○地域別

地域別には大きな差はみられません。

(第4位) ⑨誰もが必要な水道水を充分使えるための料金水準

○性別

「大いに期待している」でみると、女性(47%)は男性(41%)より6ポイント高くなっています。

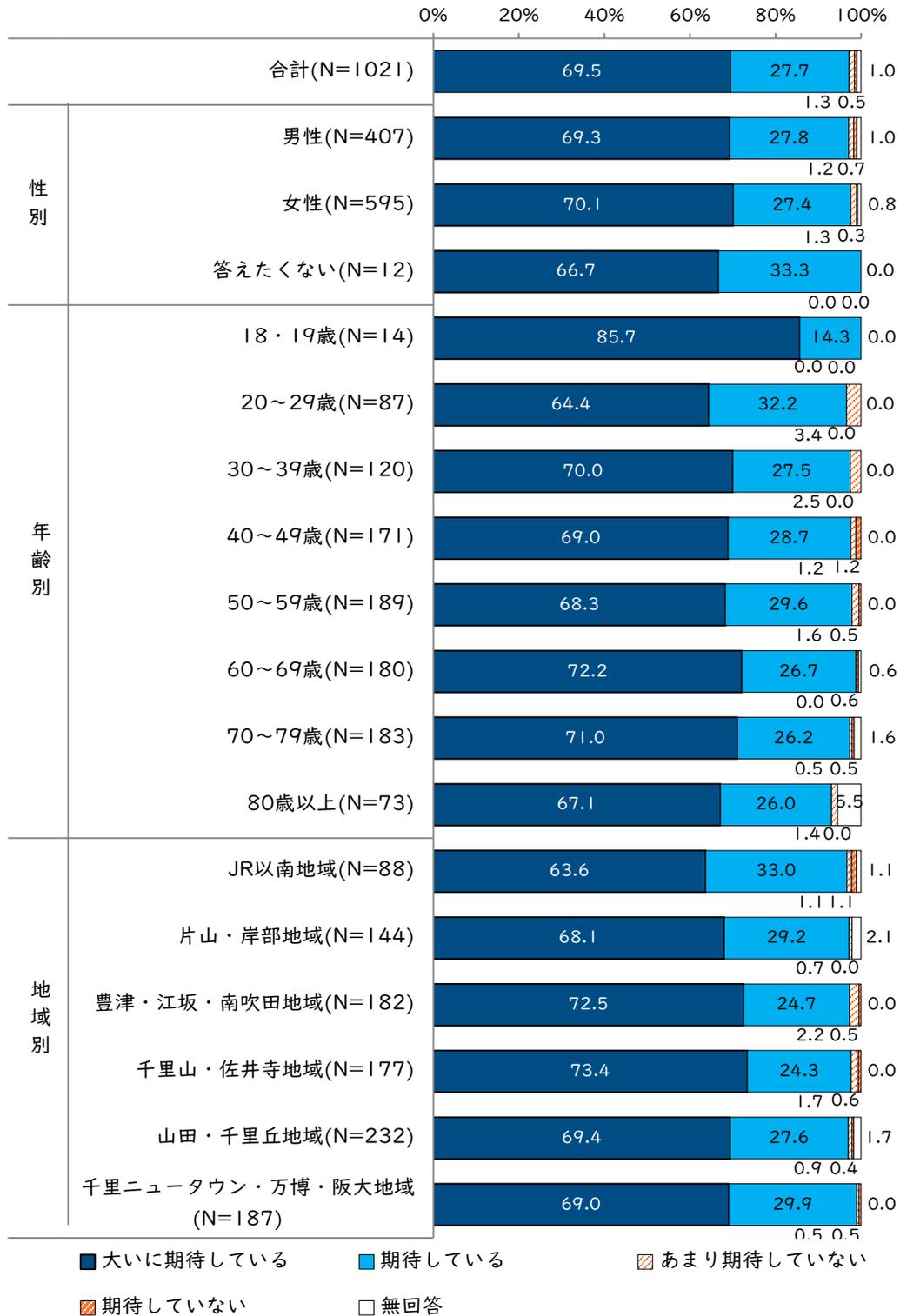
○年齢別

「大いに期待している」でみると、30～39歳(56%)は他の年齢(37～52%)より高くなっています。

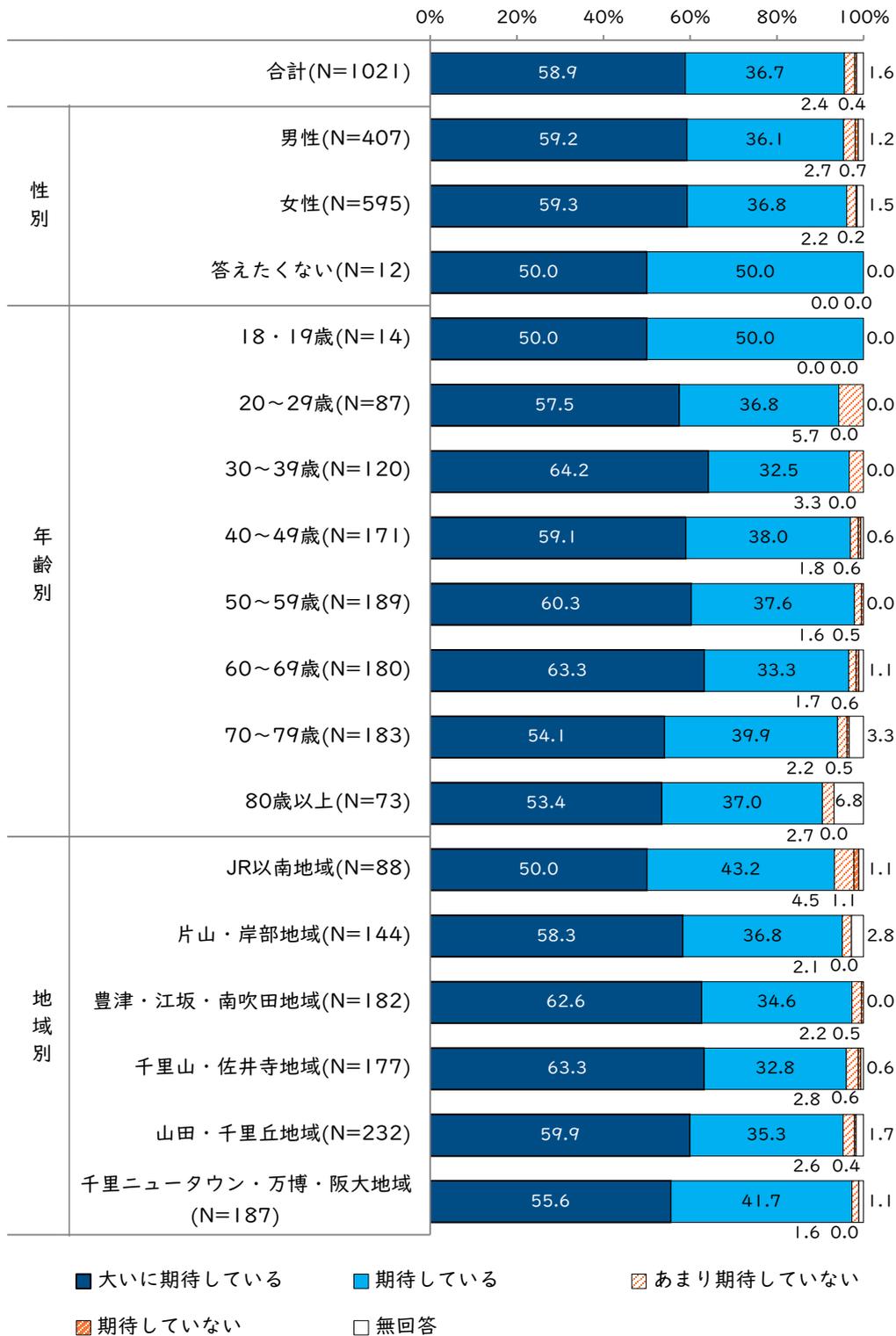
○地域別

「大いに期待している」でみると、千里山・佐井寺地域(51%)は他の地域(42～45%)より高くなっています。

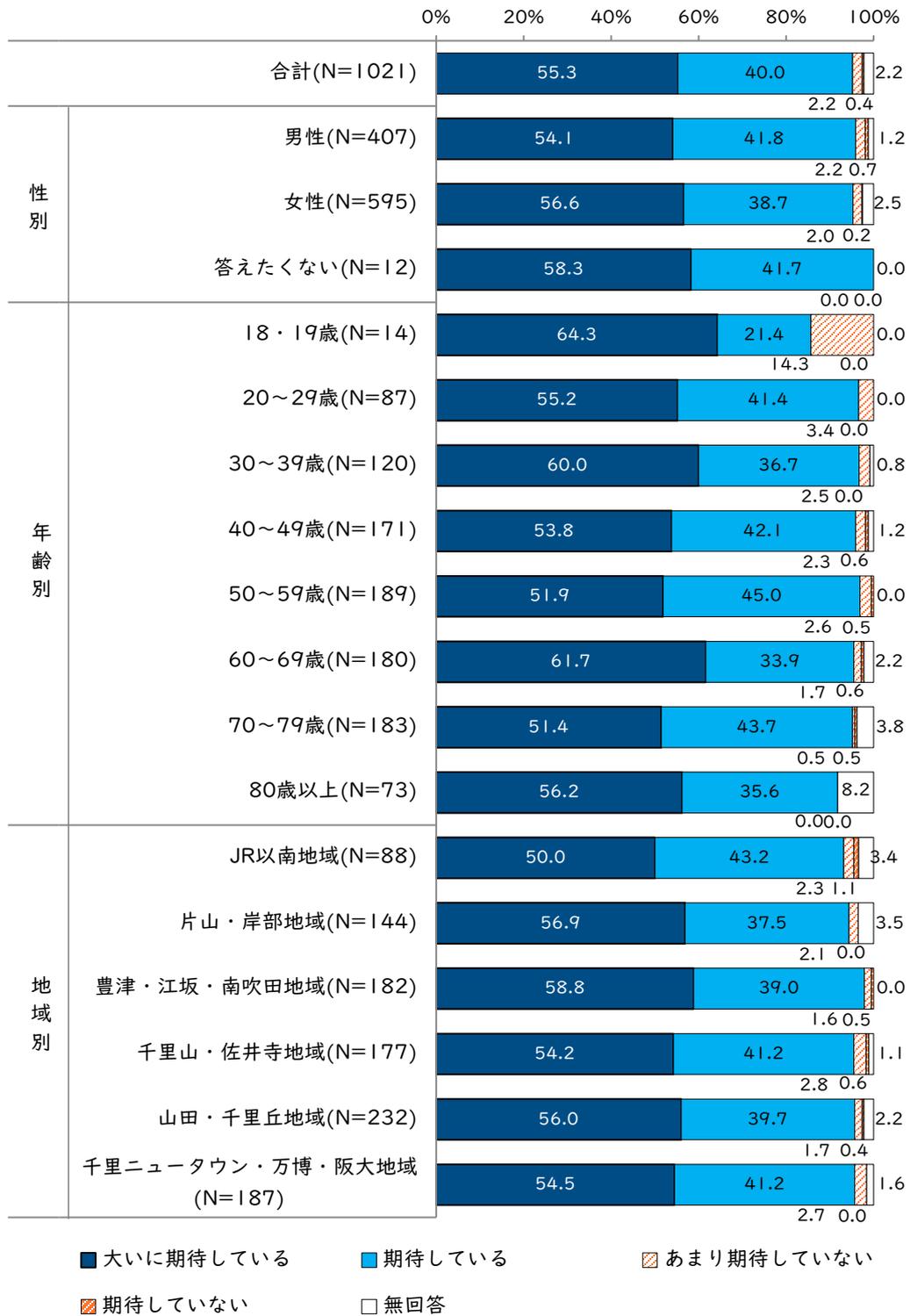
問1. 2. 3. (属性) × 問27. 水道事業の施策・取組に対する期待度
(第1位 ①飲み水としての安全な水道水)



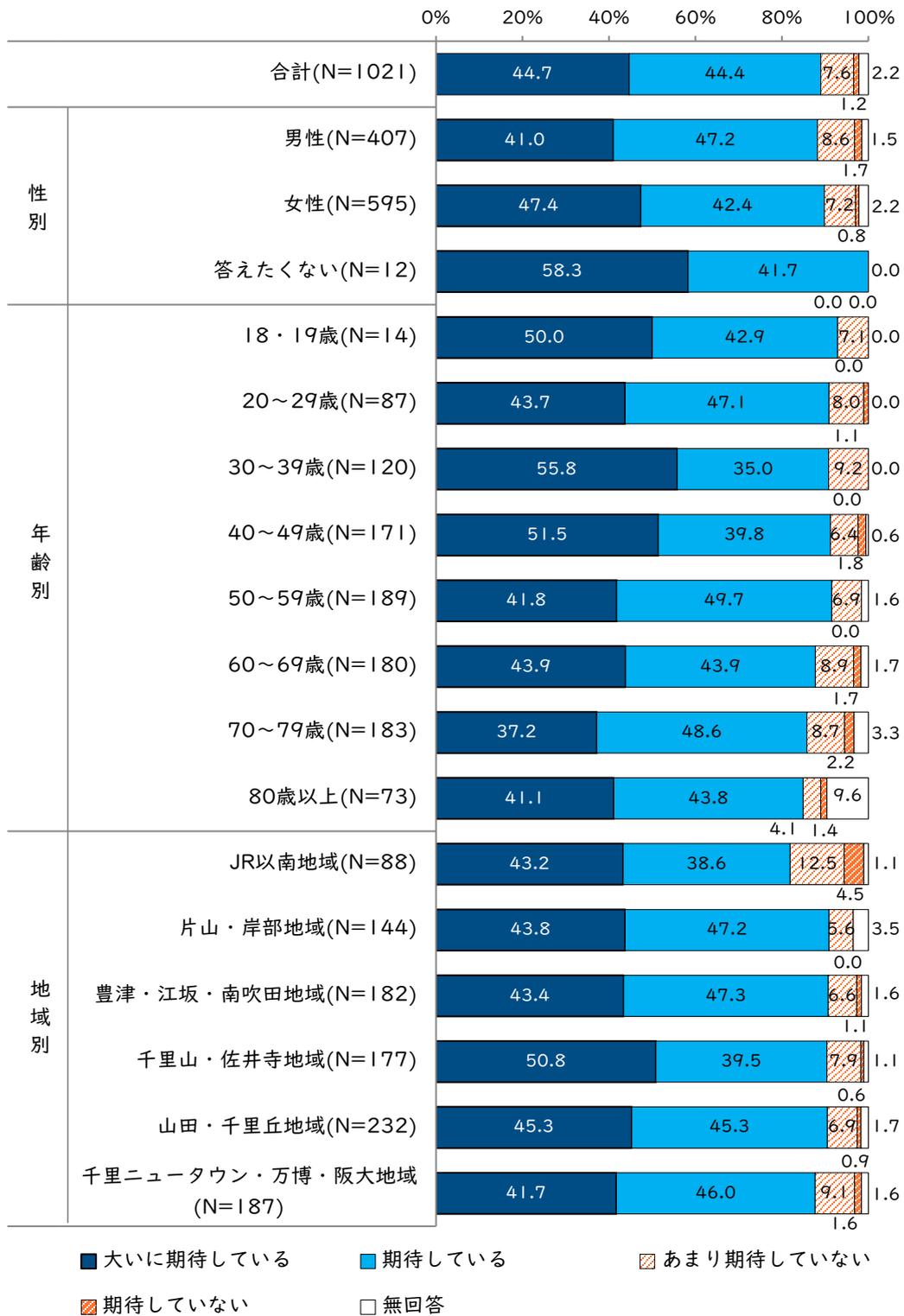
問1. 2. 3. (属性) × 問27. 水道事業の施策・取組に対する期待度
 (第2位 ③施設の耐震化や応急給水の充実等、災害に強い水道)



問1. 2. 3. (属性) × 問27. 水道事業の施策・取組に対する期待度
 (第3位 ②老朽化した水道管の更新等、健全な水道施設)



問1. 2. 3. (属性) × 問27. 水道事業の施策・取組に対する期待度
 (第4位 ⑦誰もが必要な水道水を充分使えるための料金水準)



【クロス集計】

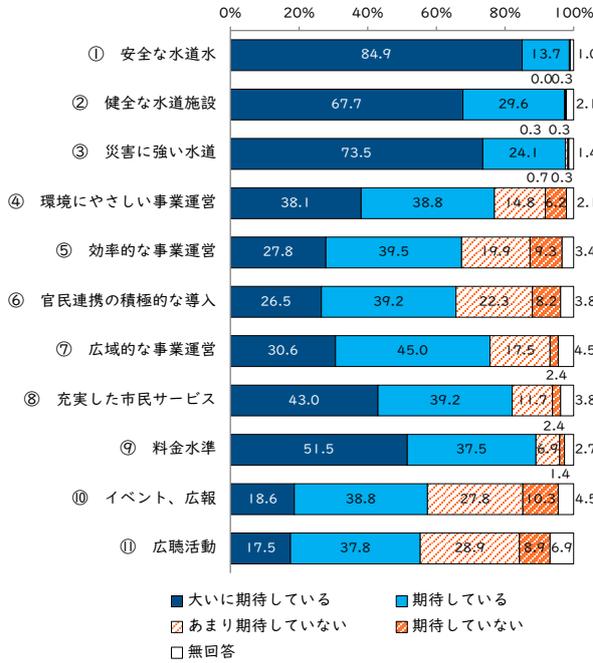
○問 25 水道事業の満足度別

「水道事業について満足している」と回答した方と「水道事業についてどちらかといえば満足している」と回答した方を比較すると、「飲み水としての安全な水道水」では85%と65%、「老朽化した水道管の更新等、健全な水道施設」では68%と52%、「施設の耐震化や応急給水の充実等、災害に強い水道」では74%と54%となっています。

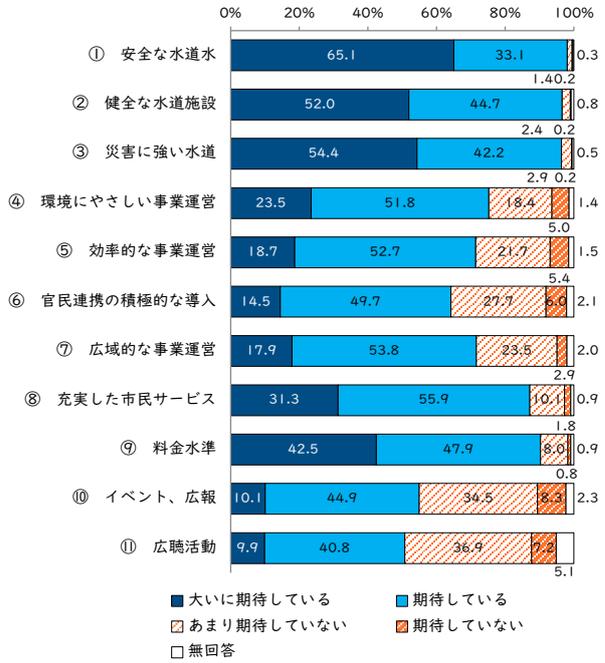
また、「水道事業についてどちらかといえば満足している」と回答した方と「水道事業についてどちらかといえば不満である」と回答した方を比較すると、「飲み水としての安全な水道水」では65%と50%、「老朽化した水道管の更新等、健全な水道施設」では52%と46%、「施設の耐震化や応急給水の充実等、災害に強い水道」では54%と46%となっています。

以上のように、水道事業について満足度が高いほど、水道事業の施策・取組への期待は高くなっている傾向がみられます。

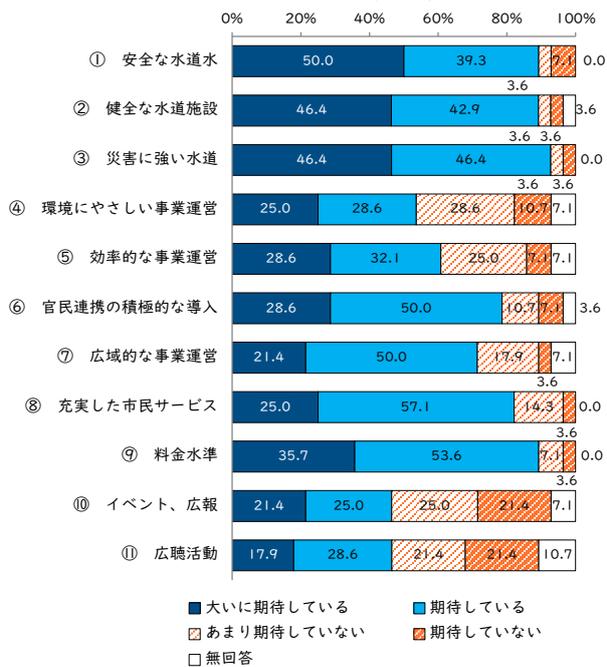
問 25. 水道事業に「満足している」×
問 27. 水道事業の施策・取組に対する
期待度 (N=291)



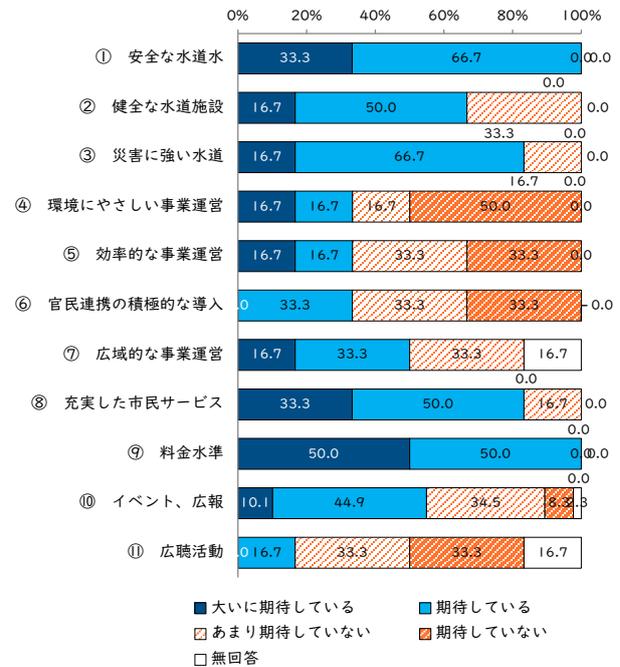
問 25. 水道事業に「どちらかといえば満足している」×問 27. 水道事業の施策・取組に対する期待度 (N=664)



問 25. 水道事業に「どちらかといえば不満である」×問 27. 水道事業の施策・取組に対する期待度 (N=28)



問 25. 水道事業に「不満である」×問 27. 水道事業の施策・取組に対する期待度 (N=6)



問 27-1. 水道事業に大いに期待すること（文章）

問 27-1. 大いに期待されることがあれば、回答用紙の②の欄に簡潔にお書きください。

117の回答者から133件の期待することを頂きました。

項目別には、「安心安全な水道水」（43%）、「料金の値下げ」（14%）、「美味しい水道水」（9%）、「災害対策」（8%）、「広報・イベント」（6%）、「その他」（6%）となっています。

表 水道事業に大いに期待すること

	項目	意見件数	構成比 (%)
1	安心安全な水道水	57	42.9
2	料金の値下げ	18	13.5
3	美味しい水道水	12	9.0
4	災害対策	10	7.5
5	広報・イベント	8	6.0
6	その他	8	6.0
7	安定した事業運営	6	4.5
8	老朽化対策	4	3.0
9	行政による事業運営	3	2.3
10	断水対策	3	2.3
11	耐震化対策	2	1.5
12	検針業務の改善	2	1.5
	合計	133	100.0

問 28. 意見・要望等（文章）

問 28. 最後に、その他水道事業や水道部について、御意見・御要望等がありましたら、簡潔に御記入ください。（回答用紙に御記入ください。）

183 の回答者から 195 件の意見・要望を頂きました。

項目別には、「安心安全な水道水」（29%）、「広報・イベント」（15%）、「激励・感謝」（11%）、「水道事業経営」（11%）、「その他」（7%）となっています。

表 意見・要望等

	項目	意見件数	構成比 (%)
1	安心安全な水道水	56	28.7
2	広報・イベント	30	15.4
3	激励・感謝	22	11.3
4	水道事業経営	22	11.3
5	その他	13	6.7
6	料金に関して	12	6.2
7	美味しい水道水	11	5.6
8	災害対策	11	5.6
9	老朽化対策	8	4.1
10	耐震化対策	4	2.1
11	検針業務の改善	3	1.5
12	節水対策	2	1.0
13	断水対策	1	0.5
	合計	195	100.0

【項目別の主な意見】

1. 安心安全な水道水

- ・毎日、安心して水を利用させていただいています。
- ・日常生活の必需品ですので安全な水これからもお願いします。
- ・水道水の安全性を高めてほしい。
- ・水道事業を考えるきっかけになりました。これからも安全安心な水道水をお願いします。
- ・吹田市の水は安心して使用、飲用できていることに感謝しています。
- ・飲用するのに安全な水を供給してください。
- ・安全、安心の水道事業をお願いします。
- ・安心、安全な水を期待します。老朽化した水道管では不安です。
- ・PFOS・PFOA問題が不安です。安心して飲めるお水を供給して下さい。

2. 広報・イベント

- ・同封の「すいすいビジョン」を見て初めて知る事が多く勉強になりました。SDGsの取り組み、目標がわかり易く広報等で多くの市民の方々に啓発することで水道事業の課題を身近に感じて頂けるのではないかと思います。
- ・水の大切さは十分に知っているつもりでしたが、当たり前にもあると思っていた部分もあり、もう少し情報に気をつけて市政ニュース等アンテナを張りたい。
- ・上水道、下水道と生活には必要不可欠なもの。日々、有難みを感じています。水の重要性等を積極的にアピールされてはどうでしょうか。
- ・子どもは小学校からの社会見学で水道の施設へ行って学んできて水道水は安心と思えたと思う。親子社会見学にして親世代も一緒に学べたらいいのと思った。
- ・アンケートを通じて初めて近所の災害給水所を知りました。
- ・アンケートがきっかけで吹田市の取り組みがよく分かりました。
- ・「すいどうにゅーす」は分かりやすく、読みやすいです。
- ・アンケートに同封されていた紙のパンフレットはもったいない。水道部のHP掲載&リンクの案内でもいいのではと思った。

3. 激励・感謝

- ・命の水です。水道関係者のみなさん頑張って下さい。
- ・必要な時に水道水が蛇口をまわせば出てくることに感謝しています。
- ・水の大切さがわかりました。
- ・現場で作業をしている方に感謝しております。
- ・これからも市民の為、企業努力をお願いします。

4. 水道事業経営

- ・命の水なので、税金を投入してでも、民営化する事なく運営することが望ましい。
- ・水道水のような生命に直結する事業は民間に委託すべきでない。事業の効率化など考えないで欲しい。
- ・水道は最も基本的インフラであり税金を導入してでも「官」の事業として運営すべき。
- ・上下水道との一体化の充実。
- ・市民にとって必要不可欠なインフラなので市民が安全で安心できる水道事業の運営をお願いします。

5. その他

- ・江坂染の井公園の水飲場の止水栓付近から水漏れがあり公園の係に電話したが未だに改善されていない。
- ・マンホールのふたの開け方。掃除がしたい。
- ・普段、何気なく使用している水道に関して、今回のアンケート調査に協力することで水道について自分の中での意識づけになった。

6. 料金に関して

- ・他の市町村の水道料金は知りませんが年金生活には公共料金が重くのしかかっている事は事実です。
- ・水道料金を極力上げないことをよろしくをお願いします。
- ・安くするための努力をお願いします。
- ・この物価高の中で絶対必要な水を出来るだけ料金が安価になるとうれしい。老朽化等、課題はたくさんあると思うが節水の努力はするので、がんばって頂きたい。
- ・ひとり親世帯への水道料金減額を検討してほしい。

7. 美味しい水道水

- ・大阪市レベルの美味しい水の提供。
- ・生水は臭いが強く、沸かしてから飲むようにしています。
- ・吹田市の水はおいしいと思う。
- ・吹田の水は浄水器がなくても、おいしいので、その品質を保って行って欲しい。
- ・よりおいしい水道水にして欲しい。

8. 災害対策

- ・災害に強く安定して供給されることに期待しています。
- ・災害の時に給水所まで行けない人の為に巡回して給水してほしい。給水缶とか袋も用意していない人用に備蓄してほしいです。
- ・災害にも強い水道管をお願いしたい。安心、安全な水道水を守ってほしいと思います。
- ・安定供給、災害時の早い復旧のための準備をお願いします。

9. 老朽化対策

- ・早めの老朽化対応。
- ・水道管の老朽を改善して下さい。
- ・今後、税金を投入する必要があるのではないか。老朽化問題の解消の為に。

10. 耐震化対策

- ・地震に強い水道管で安心して水の供給ができるようにしていただきたいです。
- ・最近水道管の耐震工事をよく見ます。市民としてありがたいなと思っています。

11. 検針業務の改善

- ・水道をどれだけ使用しているかをアプリで確認できるようにしてほしい。節水、節約につながると思う。
- ・マンションの為、個別の検針ではなくなり水道料金、使用量が本当にその料金、量なのかわかりづらい。マンションでも個別の検針員の方が調べた使用量で支払いたいが、どうしたらいいのか。

1 2. 節水対策

- ・節水をしようと思いつく事をやったがあまり効果がなかった。節水の方法があれば教えてほしい。

1 3. 断水対策

- ・断水の際は、早く復旧を。情報を早く住民に知らせてください。

3. 資料編

I. 調査票

吹田市水道事業に関する市民アンケート調査（御協力をお願い）

平素より本市水道事業に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、吹田市水道部では、市内にお住まいの18歳以上85歳未満の2,000人の皆様を対象に吹田市水道事業に関する市民アンケート調査を実施させていただきます。

この調査は、本市水道事業が、市民の皆様に身近な「地域の水道」として信頼される健全な水道事業運営を推進していくため、市民の皆様の水道に対する考え、ニーズ並びに水道部の取組に対する満足度等を把握し、水道事業の各施策に反映させることを目的として実施するものです。

調査対象となる方々は無作為抽出の方法にて選ばせていただき、御協力をお願いしています。

御回答いただきました内容は、全体として集計した結果を使用させていただきますので、回答者個人が特定されることはなく、御迷惑をおかけすることはありません。

つきましては、突然のお願いで誠に恐縮ですが、調査の目的を御理解の上、御協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、参考資料としまして本市の水道事業の基本計画である「すいすいビジョン2029」の概要版を同封しましたので、御一読いただきましたら幸いです。集計結果につきましては、令和7年3月頃に水道部ホームページにて掲載する予定です。

令和6年9月吉日
吹田市水道部

～御記入にあたってのお願い～

- (1) 御回答は、必ず宛名の御本人にお願いいたします。
 - (2) 「いずれか1つ」「あてはまるもの3つまで」「あてはまるものすべて」等、回答数の指定がある設問については、その指定にしたがって御回答ください。
 - (3) 設問によっては、御回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印やことわり書きの指示にしたがって御回答ください。
 - (4) 御回答は下記の2つの方法のいずれかをお選びください。
 - ①御回答を同封の『薄ピンク色の回答用紙』に御記入いただき、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**令和6年10月10日（木）**までに投函してください。
 - ②パソコンやスマートフォンから、下記のURL（または2次元コード）から『薄ピンク色の回答用紙』の上部に記載のIDとパスワードで回答ページにログインし、御回答ください。（IDとパスワードは御本人とは紐づけられていませんので、特定されることはありません。）
- 【URL】 <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/suitasuidou/shimin6/>
- ※回答期限は**令和6年10月11日（金）午前0時まで**

2次元コード



【問合せ先】

吹田市水道部 総務室総務グループ
〒564-8551 吹田市南吹田3丁目3番60号
TEL 06 (6384) 1252 / FAX 06 (6338) 3192
Email w-soum@city.suita.osaka.jp

I あなた御自身のことについてお聞きします。

問1. あなたの令和6年9月1日現在の満年齢は。(いずれか1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 4. 40～49歳 | 7. 70～79歳 |
| 2. 20～29歳 | 5. 50～59歳 | 8. 80歳以上 |
| 3. 30～39歳 | 6. 60～69歳 | |

問2. あなたの性別は。(いずれか1つ)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

問3. あなたがお住まいの地域は。(いずれか1つ)

- | |
|---|
| 1. JR以南地域
朝日町、内本町、川岸町、川園町、寿町、幸町、昭和町、吹東町、未広町、清和園町、高城町、高浜町、中の島町、西御旅町、東御旅町、日の出町、平松町、南正雀、南清和園町、南高浜町、目俵町、元町 |
| 2. 片山・岸部地域
朝日が丘町、片山町、上山手町、岸部北、岸部中、岸部南、岸部新町、芝田町、天道町、出口町、西の庄町、原町、藤が丘町、山手町 |
| 3. 豊津・江坂・南吹田地域
泉町、江坂町1～4丁目、江の木町、金田町、垂水町、豊津町、広芝町、穂波町、南金田、南吹田、芳野町 |
| 4. 千里山・佐井寺地域
江坂町5丁目、春日、佐井寺、佐井寺南が丘、五月が丘北、五月が丘西、五月が丘東、五月が丘南、千里山霧が丘、千里山高塚、千里山竹園、千里山月が丘、千里山西、千里山虹が丘、千里山東、千里山星が丘、千里山松が丘、竹谷町、円山町 |
| 5. 山田・千里丘地域
青葉丘北、青葉丘南、櫻切山、清水、尺谷、新芦屋上、新芦屋下、千里丘上、千里丘北、千里丘下、千里丘中、千里丘西、長野西、長野東、山田市場、山田北、山田西、山田東、山田南 |
| 6. 千里ニュータウン・万博・阪大地域
青山台、上山田、佐竹台、千里万博公園、高野台、竹見台、津雲台、藤白台、古江台、桃山台、山田丘 |
| 7. 町名が見つからない場合は町名を御記入ください。(回答用紙に御記入ください。) |

注) 江坂町は、「1～4丁目」と「5丁目」で地域が異なります。

問4. 現在、一緒に住んでいるあなたを含めた御家族の人数は。(いずれか1つ)

- | | | |
|--------------|-------|---------|
| 1. 1人(あなただけ) | 3. 3人 | 5. 5人 |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. 6人以上 |

問5. あなたのお住まいの給水方式は。(いずれか1つ)

1. 直結直圧 (市の水道管の水圧により、御家庭まで給水)
2. 直結増圧 (加圧ポンプを接続し、市の水道管の水圧に圧力をかけて御家庭まで給水)
3. 受水槽 (水道水を受水槽に受けてから、加圧ポンプや高置水槽により御家庭まで給水)
4. わからない ⇒問5-1へ

問5-1. 問5で「4.」と回答された方にお聞きします。

あなたのお住まいの形態は。(いずれか1つ)

1. 一戸建て
2. 集合住宅 (5階建て以下)
3. 集合住宅 (6階建て以上)
4. その他 (回答用紙に御記入ください。)

II 水道水の安全性・信頼性や利用についてお聞きします。



水道部イメージキャラクター

水道部では、市民の皆様安心して水道水をお使いいただくため、水源から蛇口までの徹底した水質管理と事故時の対応方法を定めた「水安全計画」に基づき、24時間体制で水質監視を行っています。

問6. あなたは、水道水を安心して利用していますか。(いずれか1つ)

1. 安心して利用している
2. どちらかといえば安心して利用している
3. やや不安である ⇒問6-1へ
4. 不安である ⇒問6-1へ

問6-1. 問6で「3.」または「4.」と回答された方にお聞きします。

不安の理由は。(あてはまるものすべて)

1. 水源の水質に不安を感じているから
2. 水質に関する情報が不足しているから
3. 国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから※
4. 受水槽の管理が十分かどうか分からないから
5. 浄水器や市販のボトル水、ウォーターサーバーが売れているから
6. 水道施設 (浄水所や水道管等) が安全かどうか分からないから
7. その他 (回答用紙に御記入ください。)

※有機フッ素化合物であるPFOS及びPFOAについて、水道部では、水道水、その原水である淀川や地下水の測定頻度を増やし監視を強化しています。測定の結果、国の定める暫定目標値を大幅に下回っておりますので、水道水を安心してご利用いただけます。なお、測定結果は、都度、ホームページでお知らせしています。PFOS及びPFOA以外の有機フッ素化合物について、暫定目標値等は定められていませんが、定期的に測定を行い、水質の状況把握に努めています。



水道部ホームページ

問 7. あなたが、コーヒーやお茶・紅茶を淹れる場合を含み、飲用で使う水はどれですか。(いずれか1つ)

1. 水道水をそのまま	⇒問7-1へ
2. 浄水器	⇒問7-2へ
3. ウォーターサーバー	⇒問7-2へ
4. 市販のボトル水（災害時の備蓄用は除く）	⇒問7-2へ
5. その他（回答用紙に御記入ください。）	⇒問7-2へ

問 7-1. 問 7 で「1.」と回答された方にお聞きします。

その理由は。(あてはまるものすべて)

1. 水道水は安全だから	6. 浄水器やウォーターサーバーはメンテナンスが大変だから
2. 水道水の味に不満はないから	7. 市販のボトル水は購入・持ち運びが大変だから
3. 水道水は安価だから	8. 特に理由はない
4. 水道水を使う方が環境に良いから	9. その他（回答用紙に御記入ください。）
5. 自分のライフスタイルに合っているから	

問 7-2. 問 7 で「2.」「3.」「4.」「5.」のいずれかを回答された方にお聞きします。

その理由は。(あてはまるものすべて)

1. 水道水の安全性に不安があるから
2. 国内各地の水源等から高濃度の有機フッ素化合物が検出されたとの報道を見たから※
3. 水道水がおいしくないと感じるから
4. マンション等が受水槽からの給水であり、衛生面に不安があるから
5. 災害時に備蓄水として使えるから
6. 入居したときに既に浄水器等が設置されていたから
7. 自分のライフスタイルに合っているから
8. 知り合いに勧められたから
9. なんとなく使っている
10. その他（回答用紙に御記入ください。）

※問 6-1 の欄外参照

問 8. 普段何気なく利用している水（淡水）は、地球の水資源の 0.01%であり、限りある資源です。あなたは、日頃節水に取り組んでいますか。(いずれか1つ)

1. 節水のことは意識せずに使っている
2. 節水は必要だと思いつつも、特に節水はしていない
3. ある程度意識しながら、節水している ⇒問 8-1 へ
4. 意識して節水している ⇒問 8-1 へ

問 8-1. 問 8 で「3.」または「4.」と回答された方にお聞きします。

「節水」の目的は。(いずれか1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 水道料金等を抑えるため | 3. 省エネや CO2 削減につながると思うから |
| 2. 水は限りある資源だと思うから | 4. その他(回答用紙に御記入ください。) |

Ⅲ 水道施設の老朽化についてお聞きします。



すいすいくん

全国の水道事業体では、浄水所や水道管等、水道施設の老朽化が進行しており、老朽化した水道施設の更新が重要な課題となっています。本市水道部でも施設の老朽化は大きな問題となっており、特に水道管のうち、古い水道管が占める割合を表す指標(法定耐用年数超過管路率)は39.1%(令和5年度末)と、全国的に見ても高い状況となっています。

問 9. 近年、「水道施設の老朽化」がテレビや新聞等で、大きな社会問題として報じられていますが、あなたはどのように感じていますか。(いずれか1つ)

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 大きな問題だと感じている | ⇒問 9-1 へ |
| 2. 問題だと感じている | ⇒問 9-1 へ |
| 3. あまり問題だと感じていない | ⇒問 9-2 へ |
| 4. 全く問題だと感じていない | ⇒問 9-2 へ |
| 5. 知らない、関心がない | ⇒問 10 へ |

問 9-1. 問 9 で「1.」または「2.」と回答された方にお聞きします。

「問題」と感じている理由は。(あてはまるもの3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 水道水が自由に使えなくなるおそれがあるから |
| 2. 水道水の安全性が損なわれるおそれがあるから |
| 3. 水道施設の更新に莫大な費用が必要となるから |
| 4. 水道施設の更新費用確保のために水道料金の値上げが予想されるから |
| 5. 水道管の漏水事故等により、浸水や道路陥没等のおそれがあるから |
| 6. その他(回答用紙に御記入ください。) |

問 9-2. 問 9 で「3.」または「4.」と回答された方にお聞きします。

「問題」と感じていない理由は。(あてはまるもの3つまで)

- | |
|------------------------------|
| 1. この先も、これまでどおり水道水は使えると思うから |
| 2. 現在、特に不都合がなく、将来考えれば良いと思うから |
| 3. 水道水が自由に使えなくなっても困らないと思うから |
| 4. 老朽化の認識はあるが、実感がないから |
| 5. 老朽化について情報が不足しているから |
| 6. その他(回答用紙に御記入ください。) |

IV 災害対策についてお聞きします。



近年多発する大規模地震や風水害等の自然災害によって、水道施設の安全を脅かす危機が顕在化しています。今年起きた能登半島地震においても被災地の水道施設では甚大な被害が生じました。本市では、南海トラフ地震や上町断層帯地震等の発生に備え、10年間に300億円を超える規模の浄水所や水道管の耐震化等の整備を進めています。また、災害時等に迅速な対応が可能となるよう応急給水や応急復旧の体制強化に努めています。

問10. 大規模地震や風水害等に備えた水道施設の耐震化の重要性に関して、あなたはどのように思っていますか。(いずれか1つ)

- | | |
|-------------------|---------|
| 1. 非常に重要だと思っている | ⇒問10-1へ |
| 2. 重要であると思っている | ⇒問10-1へ |
| 3. あまり重要だとは思っていない | ⇒問10-2へ |
| 4. 重要だとは思っていない | ⇒問10-2へ |

問10-1. 問10で「1.」または「2.」と回答された方にお聞きします。

「重要」と思っている理由は。(あてはまるもの3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 飲み水が不十分だと生命に危険が及ぶから |
| 2. 病院での治療や避難所での生活に支障が出るから |
| 3. 水道が使えないと火災発生時の消火活動に支障が出るから |
| 4. 水道が使えないと不衛生になり、伝染病が流行するおそれがあるから |
| 5. 断水期間が長くなると大きなストレスとなるから |
| 6. 会社や学校等の社会活動に影響が出るから |
| 7. 社会全体の復旧・復興に影響が出るから |
| 8. その他(回答用紙に御記入ください。) |

問10-2. 問10で「3.」または「4.」と回答された方にお聞きします。

「重要」と思っていない理由は。(あてはまるもの3つまで)

- | |
|------------------------------|
| 1. 当面の飲み水は自ら備蓄しているから |
| 2. ボトル水等が配られると思うから |
| 3. 被災していない親類や友人のお世話になれると思うから |
| 4. 給水車が回ってくると思うから |
| 5. 断水期間が長くなっても我慢できると思うから |
| 6. 耐震化に多額の費用が必要と思うから |
| 7. その他(回答用紙に御記入ください。) |

問11. 水道部では、大規模災害時等において、水道管等の破損により断水や濁り水が発生した際に、応急的に市民の皆様へ水道水をお配りする「災害時給水拠点(※1)」8か所及び「災害時給水所(※2)」37か所を整備しています。

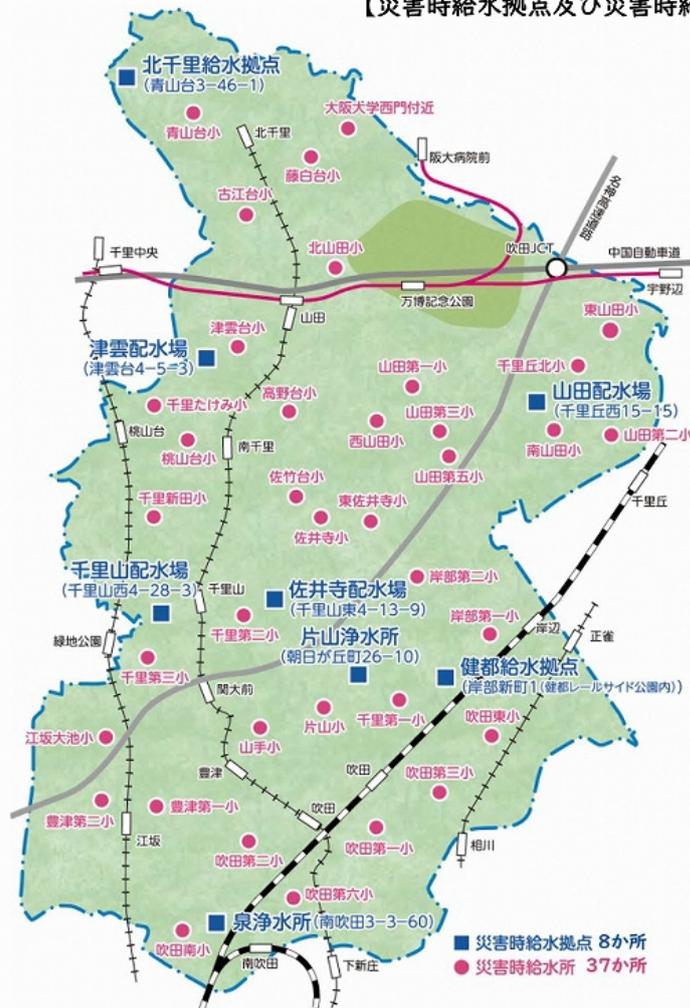
あなたは、お近くの「災害時給水拠点」または「災害時給水所」を知っていますか。(いずれか1つ)

1. 具体的な場所を知っている	3. 知らない
2. 聞いたことはあるが、具体的な場所は知らない	4. その他(回答用紙に御記入ください。)

※1 災害に備えて、応急給水設備を整備し飲料水袋等を備蓄している水道施設

※2 災害時給水拠点よりも身近に応急給水を受けることができるよう組立式給水タンクや応急給水栓を配備した小学校(避難所)等の施設

【災害時給水拠点及び災害時給水所位置図】



問 12. 地震直後や風水害時の停電による断水に備え、1人あたり1日3リットルの飲料水を、3日分(9リットル)以上備蓄する必要があるとお知らせしています。あなたは、災害等に備え、飲料水を備蓄していますか。(いずれか1つ)

1. 十分(1人1日3リットルを3日以上)に備蓄している
2. 十分ではないが、ある程度備蓄している
3. 備蓄していない ⇒問 12-1 へ
4. その他(回答用紙に御記入ください。)

問 12-1. 問 12 で「3.」と回答された方にお聞きします。

あなたが、飲料水を備蓄していない理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

1. あまり心配していないから
2. 面倒だから
3. 確保する場所がないから
4. 費用がかかるから
5. 避難所等へ行けば誰かが配ってくれると思うから
6. その他(回答用紙に御記入ください。)

問 13. 能登半島地震や宮崎県日向灘を震源とする地震をきっかけに何か行動(水道に関わる行動)は変わりましたか。(あてはまるものすべて)

1. 飲料水を備蓄するようになった、または備蓄量を増やした
2. 災害時給水拠点及び災害時給水所の場所を確認した
3. 水道部のホームページなどで防災に関する情報を確認した
4. 変わらない
5. その他(回答用紙に御記入ください。)

V 水道料金についてお聞きします。



水道事業は、税金に頼ることなく、ほぼすべての費用を市民の皆様からいただく水道料金で賄っています。水道料金は、2か月ごとに水道メーターを検針し、下水道使用料と合わせて請求させていただいています。

問 14. あなたは、2か月に1度の御家庭の水道料金をいくら払っているか知っていますか。(いずれか1つ)

1. 知っている(支払金額を回答用紙に御記入ください。)
2. 知らない

問 15. あなたは、水道料金について、どのように感じていますか。(いずれか1つ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 高いと思う | 4. どちらかといえば安いと思う |
| 2. どちらかといえば高いと思う | 5. 安いと思う |
| 3. 普通だと思う | 6. よくわからない |

参考 世帯人員別1か月あたり水道料金標準支払い額(税込)(※概算、下水道使用料を除く)

・単身世帯(月 6 m ³ 使用) ⇒約 1,000 円	・3人世帯(月 20 m ³ 使用) ⇒約 2,800 円
・2人世帯(月 10 m ³ 使用) ⇒約 1,200 円	・4人世帯(月 30 m ³ 使用) ⇒約 5,000 円

問 16. 問 15 は、何と比べてそう思いますか。(いずれか1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 電気、ガス、携帯電話料金等他の公共料金と比較して |
| 2. その他の家計の支出と比較して |
| 3. 他市町村の水道料金と比較して |
| 4. なんとなく |
| 5. その他(回答用紙に御記入ください。) |

VI 広報・PR についてお聞きします。



水道部では、水道事業に関する情報をお伝えするため、広報誌「すいどうにゅーす」を年2回発行するとともに、ホームページや各種イベント活動等により、広報・PR 活動に努めています。

問 17. あなたが、水道事業の特徴として知っていることは何ですか。(あてはまるものすべて)

- | |
|--|
| 1. 原則、市町村が経営することになっている |
| 2. 基本的には税金を使わず、水道料金収入のみで経営している |
| 3. 市町村ごとに水道料金が違う |
| 4. 料金の決定には市町村議会での議決が必要である |
| 5. 大規模地震に備えた水道施設の耐震化を進めている |
| 6. 水道施設の老朽化が進んでいる |
| 7. 水道水の使用量が年々減ってきている |
| 8. 水道料金は、下水道使用料とあわせて2か月ごとに支払っている |
| 9. 各戸への引き込み管(給水管)は、水道利用者等の所有財産である |
| 10. 経営責任者として水道事業管理者を置き、行政と一線を画して運営している |
| 11. 他市町村との広域的な連携が進んでいる |
| 12. その他(回答用紙に御記入ください。) |

問 18. あなたが、水道に関して知りたい情報は何ですか。(あてはまるものすべて)

1. 水道水の安全性
2. 水道料金の仕組み
3. リアルタイムな使用水量の状況
4. 災害対策への取組
5. 水道管等の水道施設の老朽化対策への取組
6. 断水・濁水等のリアルタイムな緊急情報
7. 漏水等、困った時の対応
8. 水道事業の経営状況
9. 水道水が届くまでの仕組み
10. イベントの開催情報
11. 環境対策への取組
12. 災害発生時の災害時給水拠点及び災害時給水所のリアルタイムな開設状況
13. その他(回答用紙に御記入ください。)

問 19. あなたは、水道部が年 2 回「市報すいた」と一緒に市内全戸にお届けしている
広報誌「すいどうにゅーす」を読んだことはありますか。(いずれか 1 つ)

1. 読んだことがある
2. 読んだことはない
3. 知っているが、読んだことはない

問 20. あなたは、水道部のホームページを見たことがありますか。(いずれか 1 つ)

1. 見たことがある
2. 見たことはない

問 21. あなたは、水道部からの情報をお届けする方法として、どれが良いと思われま
すか。(あてはまるもの 3 つまで)

1. 水道部の広報誌「すいどうにゅーす」
2. 水道部のホームページ
3. 市の広報誌「市報すいた」
4. 吹田ケーブルテレビ
5. X(旧ツイッター)や LINE、インスタグラム等の SNS ⇒問 21-1 へ
6. 「めざせ!水道マイスター」等、水道部主催のイベント
7. 他団体が主催するイベント
8. 職員が地域に出向いて水道についてお話する「出前講座」
9. その他(回答用紙に御記入ください。)

問 21-1. 問 21 で「5.」と回答された方にお聞きします。

あなたは、どの SNS 媒体が情報を受け取りやすいですか。(あてはまるもの 2 つまで)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. X (旧ツイッター) | 4. Facebook (フェイスブック) |
| 2. LINE (ライン) | 5. YouTube |
| 3. Instagram (インスタグラム) | 6. その他 (回答用紙に御記入ください。) |

問 22. より多くの方に水道事業への関心を持っていただくため、水道部の公式インスタグラムを開設し、様々な投稿を行っています。あなたは、水道部の公式インスタグラムを見たことがありますか。(いずれか 1 つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 見たことがある | 2. 見たことはない |
|------------|------------|

問 23. 災害等により断水や濁水が発生した際に情報を得る方法について、あなたが有効だと思うものは何ですか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 水道部のホームページ | 5. 広報車による巡回広報 |
| 2. 水道部のインスタグラム | 6. 避難所や公共施設での掲示板等による情報提供 |
| 3. X (旧ツイッター)、LINE 等の SNS | 7. その他 (回答用紙に御記入ください。) |
| 4. 防災無線 | |

問 24. あなたが、水道部のイベントで参加したいと思う内容はどれですか。(あてはまるものすべて)

- | |
|--|
| 1. 水道に関するクイズコーナー |
| 2. 水処理実験 (水がきれいになる実験等) |
| 3. 利き水 (水道水と市販のボトル水の飲み比べ) などの水道水の PR |
| 4. 給水車等との写真撮影 |
| 5. 非常用飲料水袋等を用いた応急給水体験 |
| 6. 漏水修理体験 (水道管の漏水を修理) |
| 7. 断水体験 (水道が使用できない状況を各ご家庭で体験) |
| 8. 水道いどばた会議 (水道の現状や課題、災害の備え、水道の将来の姿などについて職員と一緒に考えるタウンミーティング) |
| 9. その他 (回答用紙に御記入ください。) |

VII 水道事業全般についてお聞きします。



水道部では、水道事業の基本計画となる「すいすいビジョン 2029」(令和元年 9 月策定)に基づき、「安全で安心できる水道水の供給」「災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築」「将来にわたり持続可能な水道事業の経営」「吹田らしさを活かした市民に身近な水道事業の運営」に取り組んでいます。

問 25. あなたは、本市の水道事業について満足されていますか。(いずれか1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 満足している | 3. どちらかといえば不満である |
| 2. どちらかといえば満足している | 4. 不満である |

問 26. あなたは、電話や窓口等で水道部職員（検針員等の委託業者を含む）の対応についてどのように感じていますか。(いずれか1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 満足している | 4. やや不満である |
| 2. やや満足している | 5. 不満である |
| 3. 普通である | 6. わからない |

問 27. あなたは、これからの本市の水道事業の施策・取組に対して、どの程度期待されていますか。(各項目それぞれについて1つだけ) また、このほか大いに期待されることがあれば、回答用紙の⑫の欄に簡潔にお書きください。

	大いに期待 している	期待している	あまり期待し ていない	期待してい ない
① 飲み水としての安全な水道水	1.	2.	3.	4.
② 老朽化した水道管の更新等、健全な水道施設	1.	2.	3.	4.
③ 施設の耐震化や応急給水の充実等、災害に強い水道	1.	2.	3.	4.
④ 太陽光発電の導入等、環境にやさしい事業運営	1.	2.	3.	4.
⑤ 業務委託の推進等、効率的な事業運営	1.	2.	3.	4.
⑥ 官民連携の積極的な導入	1.	2.	3.	4.
⑦ 他市町村水道事業者との広域的な事業運営	1.	2.	3.	4.
⑧ 料金支払方法の多様化等、充実した市民サービス	1.	2.	3.	4.
⑨ 誰もが必要な水道水を充分使えるための料金水準	1.	2.	3.	4.
⑩ 水道事業に親しむためのイベント、広報	1.	2.	3.	4.
⑪ 市民が水道事業に参画するための広聴活動	1.	2.	3.	4.
⑫ 大いに期待すること (回答用紙に御記入ください。)				

問 28. 最後に、その他水道事業や水道部について、御意見・御要望等がありましたら、簡潔に御記入ください。(回答用紙に御記入ください。)

以上で終わりです。御協力ありがとうございました。



薄ピンク色の回答用紙のみを返信用封筒(切手不要)に入れて、投函してください。

水道事業に関する市民アンケート調査報告書

発行年月：令和7年（2025年）3月

発行：吹田市水道部 総務室

〒564-8551 吹田市南吹田3丁目3番60号

電話 06-6384-1252 / FAX 06-6338-3192

Email:w-soum@city.suita.osaka.jp